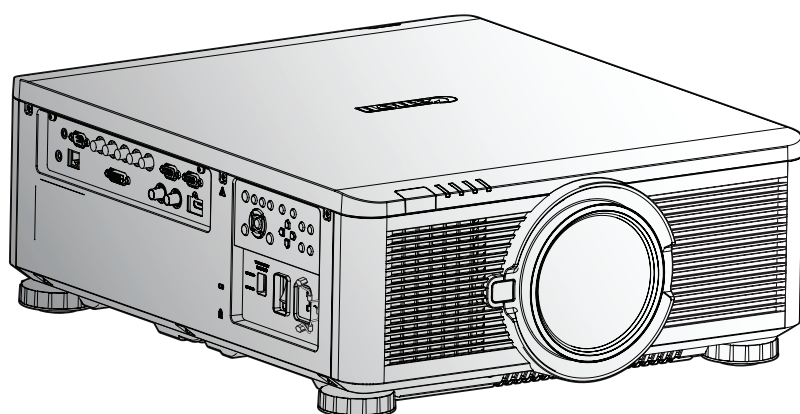




# MULTIMEDIA PROJECTOR LX-MU800Z / LX-MU600Z 使用説明書



ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。  
特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。  
またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。  
本製品は日本国内用に設計されております。  
電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

## 商標について



Kensington は、ACCO Brand Corporation がアメリカで登録した商標であり、世界中の他の国においても登録済みあるいは申請中です。



HDMI、HDMI Logo、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



HDBaseT は、HDBaseT Alliance の登録商標です。



Crestron Connected および Crestron のロゴは、米国およびその他の国々における Crestron Electronics, Inc の登録商標です。

- Ethernet は、Xerox Corporation の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7、Windows 8、および Aero は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
- Mac、Mac OS、Macintosh は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。
- PLink は、日本、米国、およびその他の国と地域における登録商標あるいは申請中の商標です。
- AMX は、AMX Corporation の商標です。

本使用説明書で使用されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者に帰属し、法的に承認されています。

## 著作権に関する注意

営利目的または公衆に視聴させることを目的として、画面の圧縮、引き伸ばし等を行うと、著作権法で保護されている著作権者の権利を侵害する恐れがありますので、注意してください。

### ◆ プロジェクターの取り付けについて

- 排気口の周辺には、少なくとも 50 cm の空間を確保してください。
- 排気口から出る熱風が吸気に取り込まれる事がないようにしてください。
- プロジェクターを閉鎖空間で使用する場合は、プロジェクターの動作中、周囲空気の温度が動作温度を超えないようにしてください。また、吸気口と排気口を塞ぐ障害物がない事を確かめてください。

### ◆ 設置場所の確認事項

- 高地でご使用される場合は、高地モードを固定にしてください。
- ブラケットを取り付ける際には、重量制限を超えておらず、しっかりと固定されている事を確認してください。
- ホコリの多い場所や、高温になる場所への設置は避けてください。
- 赤外線干渉による誤作動を避けるため、製品を蛍光灯に近づけないでください。
- 電源コードと信号ケーブルを接続してから、プロジェクターの電源を ON にしてください。プロジェクターの動作中は、プロジェクターが故障する恐れがあるため、信号ケーブルや電源コードの挿入 / 取り外しを行わないでください。

### ◆ ネットワークのセキュリティについてのご注意

ネットワークのセキュリティ対策に関しては、お客様ご自身の責任で行ってください。不正アクセスなどネットワークのセキュリティ上の問題により発生した直接、間接の障害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

＜対策例＞

- イン트라ネット環境で使用する。
- プライベート IP アドレスで運用する。
- ファイアウォールが設定された環境で運用する。
- パスワードを定期的に変更する。

---

## ◆ 冷却に関する注意

### 排気口

- 27 ページの「[換気に関する注意事項](#)」を参照してください。
- 映像が乱れるのを防ぐため、他のプロジェクターのレンズの前に排気口がこないようにしてください。
- 排気口は、他のプロジェクターの吸気口から 50 cm 以上離してください。

### 吸気口

- 吸入口から 30 cm 以内に物を置かないようにしてください。
- 吸気口を他の熱源に近づけないでください。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所は避けてください。

## ◆ 電源について

- 付属の電源コードのみを使用してください。
- 電源コードの上に物を置かないでください。電源コードを人が歩行する場所に設置しないでください。
- 壁付きコンセントが、装置の電源要件を満たしていることを確認してください。
- Voltage Select スイッチをご使用する地域の電圧に合わせてください。
- 誤った電圧を選択すると故障の原因になります。不明な点は販売店かキヤノンお客様相談センターにお問い合わせください。

## 本使用説明書について

本書は、設置業者およびエンドユーザー向けであり、DLP プロジェクターの設置および操作について説明します。関連情報（取り付けおよびその説明等）は、できるだけ同じページに記載しています。印刷を行う場合は、必要なページのみ印刷することをお勧めします。

---

# 目次

安全に使用していただくために .....	1
はじめに .....	13
付属品の確認 .....	13
プロジェクターの各部の確認 .....	14
前面 .....	14
背面 .....	15
底面 .....	15
接続端子 .....	16
コントロールパネル .....	17
パワーパネル .....	18
リモコンの使い方 .....	19
リモコン操作範囲 .....	21
Remote ID をプロジェクターに設定する .....	21
Remote ID の削除 .....	21
プロジェクターおよびリモコンのボタン .....	22
設定および操作 .....	23
リモコンへの電池の入れ方 .....	23
レンズの取り付け .....	23
レンズ用盗難防止ねじの使用 .....	25
プロジェクター部品および機能 .....	25
投写口の位置 .....	25
インターロックスイッチ .....	26
プロジェクターを設置する際の注意事項 .....	27
プロジェクターの設置および設定 .....	27
換気に関する注意事項 .....	27
ポートレート投写(縦置き操作) .....	28
プロジェクターの接続 .....	29
PC と接続 .....	29
AV 機器と接続 .....	29
制御装置と接続 .....	30
スクリーントリガーと接続 .....	30
HDBaseT 伝送機器と接続 .....	31
3G-SDI と接続 .....	31
外部モニターと接続 .....	32
プロジェクターの電源を入れる / 切る .....	32
プロジェクター高さの調整 .....	33
フォーカスとズームの調整 .....	34
キーストーンの調整 .....	34
レンズシフトの調整 .....	35
垂直レンズシフト .....	35
水平レンズシフト .....	37
LX-IL01UW (超短焦点ズームレンズ) についての水平レンズシフト .....	38
メニューの設定 .....	39
OSD メニューコントロール .....	39
OSD メニューのナビゲート .....	39
OSD 言語の設定 .....	40
OSD メニュー一覧 .....	41
表示メニュー .....	45
3D メニュー .....	46
映像調整メニュー .....	47
色メニュー .....	48
VGA セットアップメニュー .....	49



レーザーメニュー .....	50
調整メニュー .....	51
レンズ制御メニュー .....	52
レンズ メモリ メニュー .....	53
ジオメトリメニュー .....	54
ブレンディングメニュー .....	60
ジオメトリとエッジブレンディングの使用可能な組み合わせ .....	64
制御メニュー .....	65
ネットワークメニュー .....	66
Control ID メニュー .....	75
サービスメニュー .....	76
温度情報メニュー .....	78
<b>メンテナンスおよびセキュリティ .....</b>	<b>79</b>
レンズの交換 .....	79
プロジェクターのお手入れ .....	79
レンズのお手入れ .....	79
Kensington® ロックの使用 .....	80
<b>天井取り付け金具の組み立て方 .....</b>	<b>81</b>
同梱品 .....	81
延長用パイプ RS-CL08/RS-CL09（別売） .....	82
取り付け位置 .....	83
取り付け寸法 .....	83
天井からレンズ中心までの距離(ℓ) .....	83
天井取り付け金具 .....	84
組み立てと設置 .....	84
普通の天井への取り付け .....	84
高い天井への取り付け .....	86
投写角度の調整 .....	89
水平方向の投写角度(ひずみ)を調整する .....	89
垂直方向の投写角度(ひずみ)を調整する .....	89
画面の傾きを調整する .....	89
仕様 .....	90
RS-CL15 .....	90
<b>困ったときには .....</b>	<b>91</b>
映像に関する問題 .....	91
リモコンに関する問題 .....	91
保証とアフターサービス .....	92
<b>仕様 .....</b>	<b>93</b>
製品仕様 .....	93
寸法図 .....	95
画像サイズと投影距離の関係 .....	96
レンズシリーズ .....	98
LED インジケータの表示について .....	99
POWER インジケータ .....	99
STATUS インジケータ .....	99
LIGHT インジケータ .....	99
TEMP インジケータ .....	99
対応入力信号 .....	100
コンピューター .....	100
3D 信号入力モード .....	100
3G-SDI .....	101
投写モードの説明 .....	102


---

付録.....	103
Canon LX-MU800Z / LX-MU600Z プロトコルコマンド .....	103
インターフェイスおよび要件 (Ver 1.0) .....	103
TCP/IP インターフェイス.....	103
HDBaseT によるシリアルおよび TCP/IP インターフェイス.....	103
システムオペレーションコマンド .....	103
システムオペレーションコマンド .....	103

# 安全に使用していただくために

## 安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

 <b>警告</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、死亡または傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 <b>注意</b>	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、傷害が発生する可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 感電注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合に、感電の可能性が想定される内容を示しています。安全にお使いいただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
 分解禁止  接触禁止  水ぬれ禁止  ぬれ手禁止	これらの記号は、行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。
 禁止	この記号は、その他の行ってはいけない行為（禁止事項）を示しています。
 注意	この記号は、必ず守っていただきたい行為や内容を示します。
	この記号は、使用規定を正しく守らない場合に目がレーザー照射により損傷を受ける危険性があることを示しています。

## 電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

## 使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。

### 警告

設置する際は、電源プラグをすぐに抜けるようにするか、または配線用遮断装置を手の届くところに設置してください。

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店へご連絡ください。



- 煙が出ている。
- 変なおいや音がする。
- 水など液体が本機に入った。
- 金属類や異物が本機に入った。
- 本機を倒したり、落したりしてキャビネットを破損した。

電源コードの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



- 電源コードの上に重い物を載せたり、本機の下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードを敷物などで覆わないでください。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、また巻いたり、束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを熱器具に近づけたり加熱したりしないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。電源コードが破損した場合は販売店にご相談してください。
- 付属している電源コードは、本製品専用です。他の製品では使用できません。

## ⚠ 警告

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁 止



感電注意



ぬれ手禁止



感電注意



注 意



感電注意



注 意

- 表示された電源電圧(AC100V) 以外の電圧で使用しないでください。
- VOLTAGE SELECT スイッチが 115V になっていることを確認してください。
- 電源プラグやコネクタを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグやコネクタを持って抜いてください。電源コードが破損します。
- 電源プラグやコネクタの接点部に金属類を差し込まないでください。
- ぬれた手で電源プラグやコネクタを抜き差ししないでください。
- 電源プラグやコネクタは根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
- コンセント付き延長コードを使う場合は、延長コードの定格容量を超えない範囲でお使いください。
- 電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。
- 本機はレーザーモジュールを内蔵しています。分解・改造は危険ですので行わないでください。
- 使用説明書に記載した手順で操作や調整を行ってください。間違った手順で操作や調整を行うと危険なレーザー光にさらされることになります。

## 設置および取り扱い上のご注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



水ぬれ禁止



感電注意



接触禁止



感電注意



電源プラグをコンセントから抜く



感電注意

- 水や雨のかかるおそれのある室外や風呂、シャワー室などで使用しないでください。
- 本機の上に液体の入った容器を置かないでください。
- 雷が鳴り出したら、本機、電源コード、ケーブルに触れないでください。
- 本機を移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間のケーブル類を外してから行ってください。
- 本機のお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。
- レンズユニットを取り付け・交換するときは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。感電やけがの原因になります。

## ⚠ 警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはけがの原因になります。



禁止



分解禁止



禁止



注意

- キャビネットを外したり本機を分解しないでください。内部には電圧の高い部分および温度の高い部分があります。内部の点検・整備・修理は販売店にご相談してください。
- 本機（消耗品を含む）・リモコンを改造しないでください。
- 使用中は排気口をのぞかないでください。
- 吸気口や排気口等の穴から物などを差し込まないでください。
- 排気口の前にはスプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧力が上がり、爆発の原因となります。
- 本機はレンズシフト機能により、モーターでレンズが上下左右に動きます。レンズが動いているときは、レンズに触れないでください。けがの原因となることがあります。
- レンズユニットを交換する際は、本機の電源を切った後、45 分以上経過し、本体が十分に冷えたことを確認してから行ってください。やけどやけがの原因となることがあります。
- 本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
- 使用中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。特に小さなお子様にはご注意ください。
- 子供が本機に近づいたり触れたりする可能性がある場合は、必ず大人の管理・監督のもとで使用してください。
- 投写光が通る範囲に光学機器（ルーペ、反射鏡、メガネ等）をかざしたり、設置しないでください。投写光が屈折または反射した光が目に入ると、目を傷めるなどの原因になります。
- 本機を高いところに置いて使用する場合は、必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 天吊り設置についての注意は、専用の天吊り金具（別売品）に同梱している「組立・設置説明書」を見てください。
- 本機を天井から吊るしている場合は、本機を床や作業台に下ろしてからレンズユニットの取り付け・交換を行ってください。部品等が落下し、けがや故障の原因になることがあります。



## ⚠ 警告

### リモコンの電池に関するご注意

電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因となります。



禁止

- 電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないでください。
- 付属の電池は充電しないでください。



注意

- 電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外してください。
- 電池を交換するときは 2 本いっしょに交換してください。また、種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。
- + と - の向きを正しく入れてください。
- 万一、液漏れなどで内部の液体が体についたときは、水でよく洗い流してください。

## ⚠ 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



電源プラグをコンセントから抜く



禁止

- 長期間、機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグやコンセントにほこりがたまり、火災の原因となることがあります。
- 投写中は排気口周辺や排気口上部のキャビネットが高温になります。やけどの原因となることがありますので手で触れたりしないでください。特に小さいお子様にはご注意ください。また、排気口周辺や上部に金属を置かないでください。高温になり、事故やけがの原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 投写中、レンズの前に物をおかないでください。火災の原因となることがあります。
- 投写中、本機の前で発表する場合は、スクリーンに発表者の影が映らない位置など、まぶしさを感じない位置で行ってください。
- 本製品を持ち上げる際は、けがを防ぐ為に、必ず 2 名以上で作業するか、適当な機械設備を利用してください。

## 注意

3D 視聴については、以下の点にご注意ください。



禁 止

- 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患がある人、妊娠中の女性、高齢者、重い病気にかかっている方、てんかんの発作が起きやすい方は、3D 映像の視聴を控えてください。病状悪化の原因となることがあります。
- 体調不良や、疲れた状態での 3D 視聴を控えてください。他に、睡眠不足、酒気を帯びているときも、3D 映像の視聴を控えてください。
- 以下のような症状が出た場合は、すぐに 3D 視聴を中止し、症状が軽減されるまで休憩してください。
  - 3D 映像を見ている時に、映像が二重に見えたときや、立体感を感じにくいとき。
  - 3D 映像を見ている時に、疲労感や不快感などの体調変化を感じたとき、使用を中止してください。
- 長時間の使用は、目の疲れの原因になることがありますので、適度に休憩をとってください。長時間の使用や映像を斜めから見ると、眼精疲労などを引き起こす要因となります。
- お子様の 3D 視聴には保護者様が付き添ってください。お子様は、3D 視聴による不快感が生じて、適切に伝えられないことがあるので、保護者様が付き添ってご使用ください。3D 映像の視聴年齢については、およそ 6 歳以上を目安にしてください。
- 3D 映像を見る際は、画面正面の適正な距離ご覧ください。画面正面のなるべく適正な距離（画面縦寸法の約 3 倍以上が目安）から、表示面の水平と両目の水平が近い状態でご覧ください。



注 意



## 注意

本機を持ち運ぶ際は、以下の点にご注意ください。



注意

- 本機は精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。故障の原因となることがあります。
- ご購入時の梱包材や緩衝材にダメージがある場合は、本機の運搬、輸送に再利用しないで下さい。ダメージがある梱包材、緩衝材では十分保護できなかつたり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
- レンズユニット取り付け後に本機を運んだり持ち上げたりするとき、レンズ部を絶対に持たないでください。レンズユニットの故障の原因となります。
- ご購入時の梱包材や緩衝材を本機の運搬、輸送に再利用しないでください。使用済みの梱包材、緩衝材では十分保護できなかつたり、また、緩衝材の破片などが本機内部に入り込んで故障の原因となることがあります。
- 本機の輸送が必要になったときは、本機からレンズユニットを取り外して輸送して下さい。輸送時に本機へ過度の衝撃がかかり、レンズユニットの故障の原因になることがあります。  
なお、レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず設置業者、販売店に依頼するか、キヤノンお客さま相談センターにお問い合わせください。
- 本機の接続ケーブルを外してください。ケーブルを取り付けたまま運ぶと、事故の原因となることがあります。
- 移動時に調整脚が出たまま移動すると破損の恐れがありますので、調整脚をおさめてください。

## 注意

設置または使用に関して以下の点に注意してください。



注意

- レンズを素手で触らないでください。画質を損なう原因となることがあります。
- 低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときは、本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。
- 高温、低温になる場所に設置しないでください。故障の原因となることがあります。使用温度については「製品の仕様」を参照してください。
- 熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。
- 高圧電線や電力源の近くに設置しないでください。
- カーペットやスポンジマットなどの柔らかい面の上で本機を使用しないでください。内部に熱がこもり、本機の故障の原因となることがあります。
- 冷却ファンの吸気口および排気口をふさがないでください。
- 本機を誤った方向に設置すると、故障や事故の原因となることがあります。立てたり左右に傾けて設置しないでください。
- 本機の吸気口、排気口を壁などから離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。
- 湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズやミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因となることがあります。
- 投写中にレンズキャップを装着したり、レンズの前に物を置かないでください。やけどや火災、本機の故障の原因になることがあります。一時的に映像を中断する場合は、本機の「BLANK」機能をご使用ください。



注意

### 本機を廃棄する場合

- 分解を行わず、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

## 天井取り付け時の注意事項

## 警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。



注意



禁止

- 取り付け作業は設置場所の安全を確保してから行ってください。
- プロジェクターの電源プラグやコネクタは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 天吊り金具のネジは確実に締め、ゆるめたり取り外したりしないでください。
- プロジェクターの投写の調整中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。
- プロジェクターの動作中に、レンズの前に物をおかないでください。

## 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。



- 設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因となることがあります。
- AC 電源コード(付属品)をしっかりと差し込み、本体側は AC 電源フックでプラグを固定してください。

### レーザー使用上のご注意

- 本製品は IEC/EN60825-1:2014、JIS C6802:2014 に基づくクラス 1 レーザ製品であることを確認しています。(IEC/EN60825-1:2007 ではクラス 3R が適用されます)
- 本製品の投写光は IEC62471-5:2015 に基づくリスクグループ 2 (RG2) に分類されます。



#### 注意：

- 本製品はレーザーモジュールを使用しています。
- レーザー光を目に直接被ばくしないように注意してください。
- レーザー光を他の人に向けたりまたは物体に反射させないでください。
- 照射光と散乱光は目を傷める原因になります。
- この使用説明書に従わない場合はレーザー光が目には被ばくされる危険につながります。

#### レーザーパラメータ：

青レーザーダイオード波長：	450nm ～ 460nm
運転モード：	フレーム数によるパルス方式
パルス幅：	0.74ms
レーザーの繰り返し周波数：	240Hz
最大レーザー エネルギー：	0.376mJ
合計内部電力：	240W
見かけの光源サイズ：	>10mm (レンズ固定部)
偏差：	>100 ミリラジアン

製品ラベル

製造者 ID ラベル

LX-MU800Z

DDE300001A

Mfg Date:YYYY.MM

Canon DATA PROJECTOR

프로젝터 數據投影机 LX-MU800Z

100~130V~ 50/60Hz 9.5A  
CAN ICES-3 (A)/NIMB-3(A)

100V~ 9.5A (P) CANON INC.  
50/60Hz

APPARATEN SKALL ANSLUTAS TILL JORDAT UTTAG.  
APPARATET MÅ TILKOPLES JORDET STIKKONTAKT.  
LAITE ON LIITETTÄVÄ SUOJAKOSKETTIMILLA VARUSTETTUUN PISTORASIAAN.  
APPARATETS STIKKPROPP SKAL TILSLUTTES EN STIKKONTAKT MED JORD, SOM GIVER  
FORBINDELSE TIL STIKKPROPPENS JORD.  
此产品必须连接地线插座。  
주의: 전원 코드 및 케이블 콘센트에 꽂아 주십시오.  
必ず接地接続を行ってください。

200~240V~ 50/60Hz 4.5A

CE ENE

ZU10002-16002  
MSIP-REM-DVP-LX-MU800Z

A/S 문의: 케노 코리아 컨슈머이미징부 1588-8133(한국)  
제조사: Delta Video Display System (WUJIANG) Limited  
제조국: 중국

IS 13252 (Part 1)  
IEC 60950-1

R-41016187

ONLY QUALIFIED SERVICE PERSONNEL IS ALLOWED TO REMOVE THE MAIN BODY COVERS. CONTACT WITH VERY HOT AND HIGH-VOLTAGE INTERNAL PARTS CAN CAUSE SERIOUS INJURIES.

WARNING

SEUL LE PERSONNEL DE MAINTENANCE QUALIFIÉ EST HABILITÉ À RETIRER LES BOITIERS DE PROTECTION PRINCIPAUX. TOUT CONTACT AVEC LA PARTIE INTERNE TRÈS CHAUDES/SOUS HAUTE TENSION PEUT ENTRAÎNER DE GRAVES BLESSURES.

AVERTISSEMENT

NUR QUALIFIZIERTE KUNDENDIENSTMITARBEITER DÜRFEN DIE HAUPTTEILE DES GEHÄUSES ENTFERNEN. BEI KONTAKT MIT DEM SEHR HEISSEN INNEREN HOCHSPANNUNGSTEIL KÖNNEN SIE SICH ERNSTERE VERLETZUNGEN ZUZIEHEN.

WARNUNG

只有合格的服务人员才能拆卸主体外壳。  
由于接触极热/极高压的内部部件，可能导致严重人身伤害。

除服務人員外請勿擅自拆卸外殼。內部高溫、高電壓過多，不小心觸碰容易造成危險。

서비스맨 이외의の方はキャビ닛を外さないでください。  
内部には高温・高電圧部分が数多くあり、万が一さわると危険です。

警告

자격을 있는 서비스 기사만 본체 커버를 제거할 수 있습니다.  
초고온/초고압의 내부 부품과 접촉하면 심각한 부상을 입을 수 있습니다。

LX-MU600Z

DEE300001A

Mfg Date:YYYY.MM

Canon DATA PROJECTOR

프로젝터 數據投影机 LX-MU600Z

100~130V~ 50/60Hz 9.5A  
CAN ICES-3 (A)/NIMB-3(A)

100V~ 9.5A (P) CANON INC.  
50/60Hz

APPARATEN SKALL ANSLUTAS TILL JORDAT UTTAG.  
APPARATET MÅ TILKOPLES JORDET STIKKONTAKT.  
LAITE ON LIITETTÄVÄ SUOJAKOSKETTIMILLA VARUSTETTUUN PISTORASIAAN.  
APPARATETS STIKKPROPP SKAL TILSLUTTES EN STIKKONTAKT MED JORD, SOM GIVER  
FORBINDELSE TIL STIKKPROPPENS JORD.  
此产品必须连接地线插座。  
주의: 전원 코드 및 케이블 콘센트에 꽂아 주십시오.  
必ず接地接続を行ってください。

200~240V~ 50/60Hz 4.5A

CE ENE

ZU10002-16002  
MSIP-REM-DVP-LX-MU600Z

A/S 문의: 케노 코리아 컨슈머이미징부 1588-8133(한국)  
제조사: Delta Video Display System (WUJIANG) Limited  
제조국: 중국

IS 13252 (Part 1)  
IEC 60950-1

R-41016187

ONLY QUALIFIED SERVICE PERSONNEL IS ALLOWED TO REMOVE THE MAIN BODY COVERS. CONTACT WITH VERY HOT AND HIGH-VOLTAGE INTERNAL PARTS CAN CAUSE SERIOUS INJURIES.

WARNING

SEUL LE PERSONNEL DE MAINTENANCE QUALIFIÉ EST HABILITÉ À RETIRER LES BOITIERS DE PROTECTION PRINCIPAUX. TOUT CONTACT AVEC LA PARTIE INTERNE TRÈS CHAUDES/SOUS HAUTE TENSION PEUT ENTRAÎNER DE GRAVES BLESSURES.

AVERTISSEMENT

NUR QUALIFIZIERTE KUNDENDIENSTMITARBEITER DÜRFEN DIE HAUPTTEILE DES GEHÄUSES ENTFERNEN. BEI KONTAKT MIT DEM SEHR HEISSEN INNEREN HOCHSPANNUNGSTEIL KÖNNEN SIE SICH ERNSTERE VERLETZUNGEN ZUZIEHEN.

WARNUNG

只有合格的服务人员才能拆卸主体外壳。  
由于接触极热/极高压的内部部件，可能导致严重人身伤害。

除服務人員外請勿擅自拆卸外殼。內部高溫、高電壓過多，不小心觸碰容易造成危險。

서비스맨 이외의の方はキャビ닛を外さないでください。  
内部には高温・高電圧部分が数多くあり、万が一さわると危険です。

警告

자격을 있는 서비스 기사만 본체 커버를 제거할 수 있습니다.  
초고온/초고압의 내부 부품과 접촉하면 심각한 부상을 입을 수 있습니다。

安全警告ラベル、危険警告記号と開口部ラベル

LASER RADIATION  
AVOID DIRECT EYE EXPOSURE  
CLASS 3R LASER PRODUCT  
Emitted wavelength: 450-460 nm  
Max. Pulse energy: 0.376 mJ, Pulse duration: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

LASERSTRALHUNG  
Direkte BESTRAHLUNG DER AUGEN VERMEIDEN  
Laser Klasse 3R  
Emittierte Wellenlänge: 450-460 nm  
Max. Pulsennergie: 0.376 mJ, Pulsdauer: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

레이저 방사  
직접 눈 노출을 피하십시오  
클래스 3R 레이저 제품  
방출 된 파장: 450-460 nm  
최대 펄스 에너지: 0.376 mJ, 맥박 내구: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

激光辐射  
避免眼睛受到直接照射  
3R类激光产品  
波长: 450-460 nm  
最大脉冲能量: 0.376 mJ, 脉衝時間: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

RAYONNEMENT LASER  
EXPOSITION DIRECTE DANGEREUSE POUR LES YEUX  
APPAREIL A LASER DE CLASSE 3R  
Longueur d'onde: 450-460 nm  
Longue énergie de impulsion: 0.376 mJ, durée de impulsion: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

레이저放射  
目への直接照射を避けること  
クラス3Rレーザ製品  
波長: 450-460 nm  
最大出力: 0.376 mJ, /パルス持続時間: 0.74 ms  
IEC/EN 60825-1:2007

激光辐射  
避免眼睛受到直接照射  
3R类激光产品  
波长: 450-460 nm  
最大脉冲能量: 0.376 mJ, 脉衝時間: 0.74 ms  
GB 7247.1-2012

LASER APERTURE  
激光辐射窗口  
OUVERTURE LASER

Complies with FDA performance standards for laser products except for deviations pursuant to Laser Notice No. 50, dated June 24, 2007

CLASS 1 LASER PRODUCT  
IEC/EN 60825-1:2014

PRODUIT LASER DE CLASSE 1  
IEC/EN 60825-1:2014

LASERPRODUKT DER KLASSE 1  
IEC/EN 60825-1:2014

1 类激光产品  
IEC/EN 60825-1:2014

1 등급 레이저 제품  
IEC/EN 60825-1:2014

1 類激光產品  
IEC/EN 60825-1:2014年

クラス1レーザ製品  
JIS C 6802: 2014

RG2

RISK GROUP 2  
CAUTION  
Possibly hazardous optical radiation emitted from this product.  
Do not stare at operating lamp. May be harmful to the eyes.

GROUP 2 DE RISQUE 2  
ATTENTION  
Ce produit peut émettre des rayonnements optiques dangereux.  
Ne pas fixer la lampe en fonctionnement. Peut être nocif pour les yeux.

GROUP 2 DE RISQUE 2  
VORSICHT  
Möglicherweise gefährliche optische Strahlung von diesem Produkt emittiert.  
Nicht auf starren Betrieb der Lampe. Es kann schädlich für die Augen emittiert.

リスクグループ 2  
製品から強い光が放射されるため、動作中のランプを凝視しないでください。  
目に悪影響を与えるおそれがあります。

RISK GROUP 2  
주의  
이 제품에서 방출 하므로 위험한 광 방사선.  
운영 램프에 응시하지 마십시오. 눈에 유해 할 수 있습니다.

風險等級 2  
注意事項  
本产品可能会发出有害的辐射。  
請勿直視投影光。可能會損傷您的眼睛。

風險等級 2  
注意事項  
本产品可能會發出有害的光學輻射。  
請勿直視投影光線。可能會損傷您的眼睛。

WARNING  
DO NOT LOOK INTO THE EXHAUST VENT DURING OPERATION.  
NE REGARDEZ PAS PAR L'ORIFICE D'ÉVACUATION D'AIR DURANT LE FONCTIONNEMENT.

AVERTISSEMENT  
SCHAUEN SIE NICHT IN DEN LUFTAUSSLASS, WENN SIE DIESE OPERATION DURCHFÜHREN

警告  
操作期間不要朝排氣口內看。

警告  
使用中請勿窺視排氣口。

경고  
작동 중에 배출구 안을 들여다보지 마십시오.

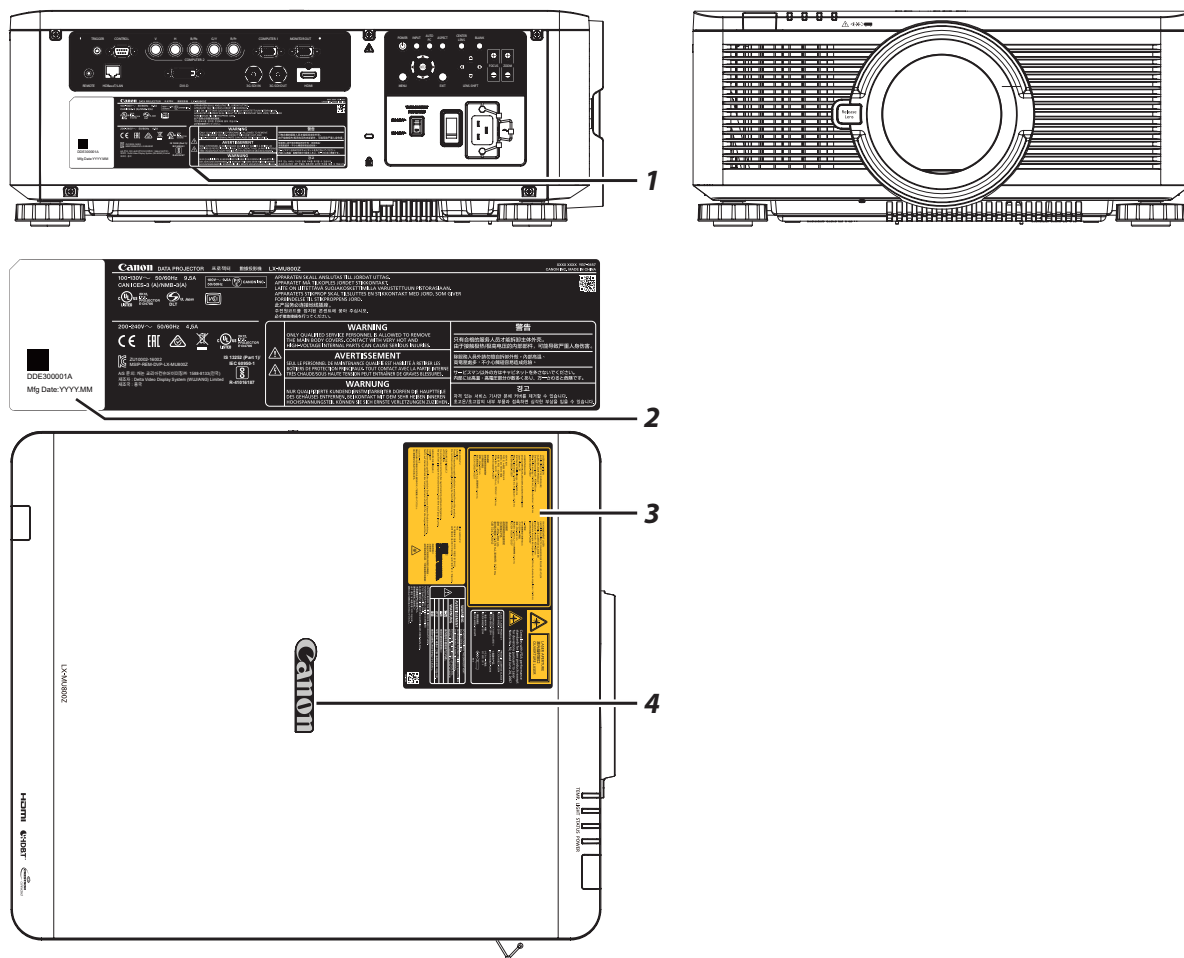
警告  
使用中は排氣口をのぞかないでください。

DO NOT BLOCK THE AIR INTAKE AND EXHAUST VENT.  
N'OBSTRUEZ PAS L'ORIFICE D'ARRIVÉE ET D'ÉVACUATION D'AIR.  
BLOCKIEREN SIE NICHT DEN LUFTENINLASS ODER-AUSLASS.  
不要堵塞进气口及排氣口。  
請勿堵住吸氣口及排氣口。  
공기 흡입 및 배출구를 막지 마십시오.  
吸氣口および排氣口をふさがないようにください。

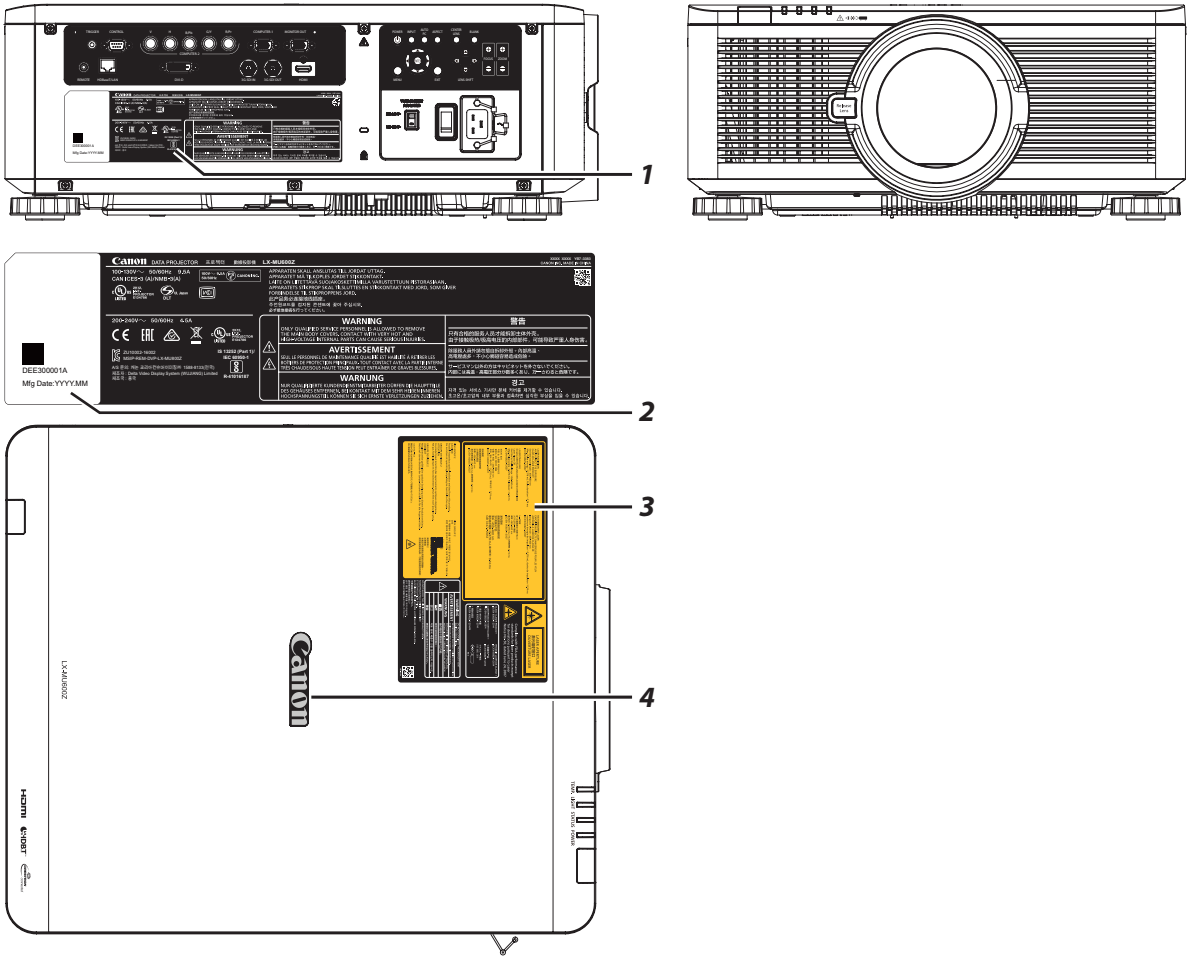
10

◆ 添付位置

LX-MU800Z



番号	説明
1	製造者 ID ラベル
2	シリアル番号ならびに製造年月日ラベル
3	安全警告と注意ラベル
4	商標名プレート・ラベル

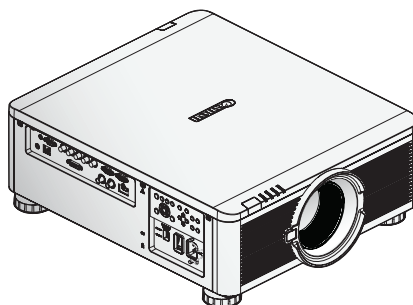


番号	説明
1	製造者 ID ラベル
2	シリアル番号ならびに製造年月日ラベル
3	安全警告と注意ラベル
4	商標名プレート・ラベル

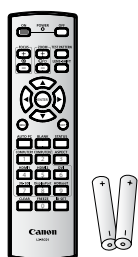
# はじめに

## 付属品の確認

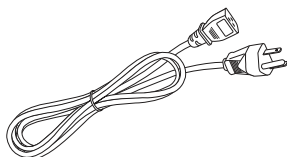
次の付属品が揃っていることを確認してください。



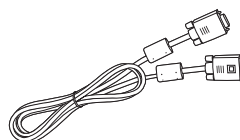
プロジェクター



リモコン  
(品番: LX-RC01)  
(単三電池 x 2)



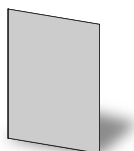
電源コード  
(2.5m)



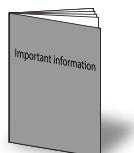
コンピューターケーブル(1.8m)  
(ミニ D-sub15/  
ミニ D-sub15 ピン用)



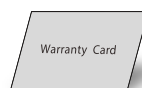
使用説明書  
(CD-ROM)



かんたんガイド



重要なお知らせ



保証書



レンズ用盗難防止ねじ  
M4 x 0.7 x 70 mm

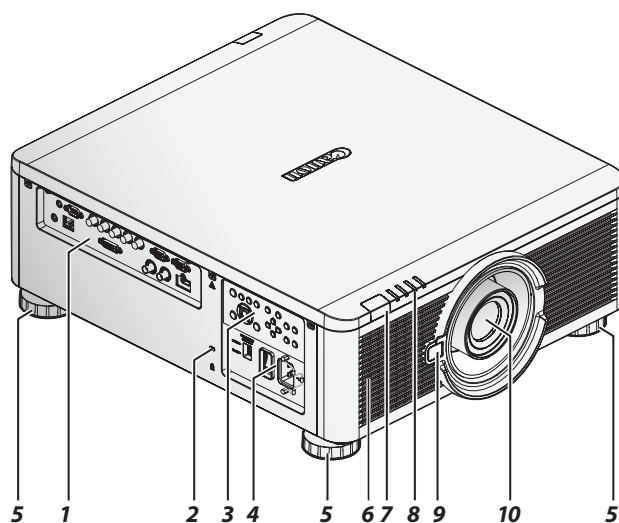


ダストキャップ

いずれかが欠けている、損傷している、あるいは正しく動作しない等の場合は、直ぐに販売店にお問い合わせください。

## プロジェクターの各部の確認

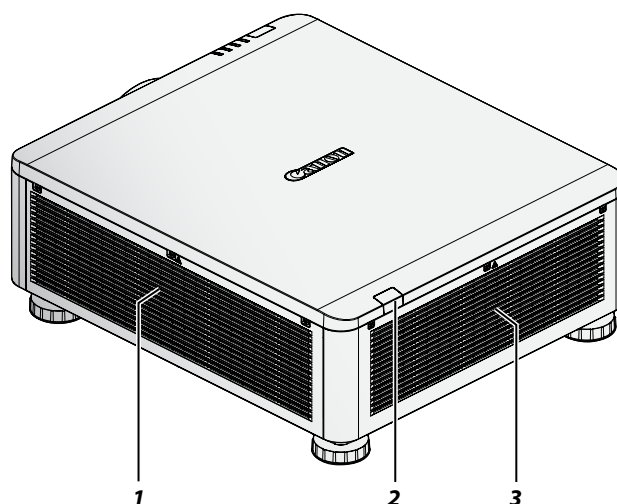
### 前面



番号	名称	説明
1	接続端子	他の装置に接続する際に使用します。
2	Kensington ロック	Kensington® ロックシステムにより、固定物にプロジェクターを固定します。
3	コントロールパネル	プロジェクターの操作をする際に使用します。
4	パワーパネル	電源コードを接続する際や、入力電圧を切り替える際に使用します。
5	調整脚	投写角度の水平度を調整します。
6	吸気口	プロジェクターの冷却用空気の取り込み口です。
7	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
8	LED インジケータ	プロジェクターのステータスを表示します。
9	レンズリリースボタン	レンズを本体から取り外す際に使用します。
10	レンズ	投写レンズです。(オプション)



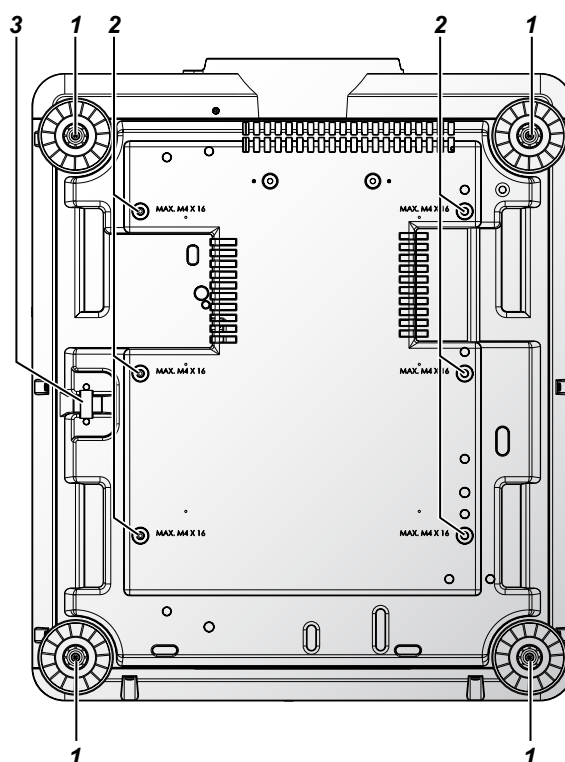
## 背面



番号	名称	説明
1	吸気口	プロジェクター冷却用空気の取り込み口です。
2	リモコン受光部	リモコンからの赤外線信号を受信します。
3	排気口	プロジェクターの排熱用空気の排出口です。排気口が汚れていない事を確認してください。

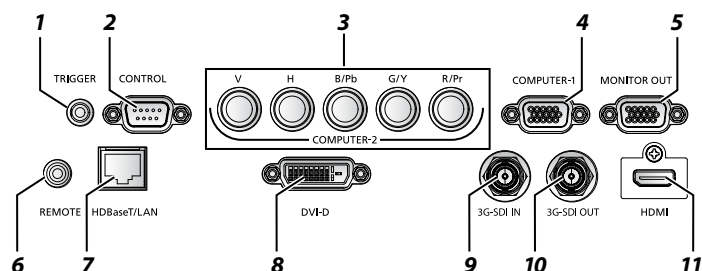
## 底面

天井取り付け用に、プロジェクターの底面には 6 つの固定用ねじ穴 (M4 x 0.7 x 16 mm) があります。



番号	名称	説明
1	調整脚	投写角度の水平度を調整します。
2	固定用ねじ穴	天井取り付け用のねじ穴です。
3	セキュリティバー	市販の盗難防止用ワイヤーケーブルをかけることができます。

## 接続端子

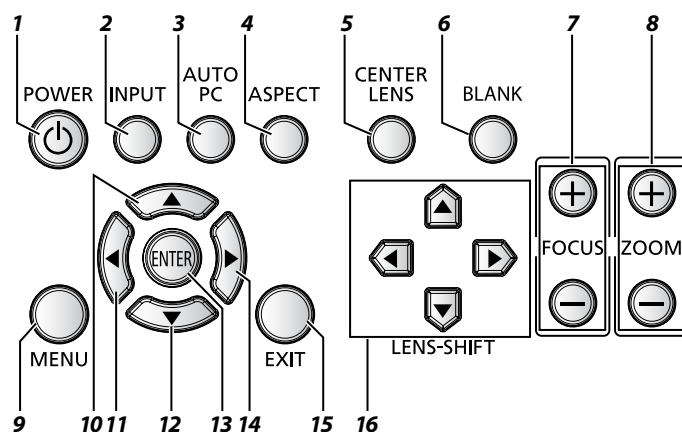


番号	名称	説明
1	TRIGGER	スクリーンを操作するための信号出力端子(12 ± 1.5V)です。
2	CONTROL	システムメンテナンス、プロジェクターメンテナンス時およびユーザーコマンド使用時に PC へ接続します。
3	COMPUTER-2	アナログ信号 (COMPUTER-2) の入力端子です。BNC タイプ出力コネクタを RGB、YPbPr/YCbCr 出力信号映像装置に接続します。
4	COMPUTER-1	アナログ PC 信号の入力端子です。
5	MONITOR-OUT	外部モニターと接続し、アナログ信号 (COMPUTER-1) を出力します。
6	REMOTE	リモコンケーブルを有線で接続する際に使用する端子です。有線リモコンの 3.5mm ステレオミニジャックを接続します。
7	HDBaseT/LAN (*)	デジタル映像信号とデジタル音声信号を含 HDBaseT の入力端子です。映像と音声 LAN ケーブル (シールドタイプ) で入力できます。ネットワークに接続することもできます。ただし、プロジェクターからは音声はできません。
8	DVI-D	デジタル信号 (デジタル PC) の入力端子です。
9	3G-SDI IN	SDI 信号を入力する端子です。
10	3G-SDI OUT	SDI IN 端子に接続されている信号を出力する端子です。
11	HDMI	デジタルビデオ信号 (HDMI) を入力する端子です。

### (\*) HDBaseT の注意点

- CAT5e 以上のシールド付ケーブルを使用してください。  
最大伝送距離は 100 m です。  
ただし、ご使用の環境によっては 100 m 未満になる可能性もあります。
- コイル状もしくは束になっている LAN ケーブルを使用しないでください。
- 投写中に LAN ケーブルを挿入したり抜いたりすると、ノイズが生じる恐れがあります。
- 一部の HDBaseT 伝送機器を経由して、入力機器をプロジェクターに接続した場合、正常に表示できないことがあります。

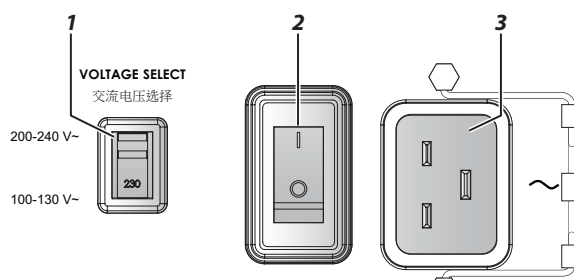
## コントロールパネル



番号	名称	説明
1	POWER	プロジェクターの電源を ON/OFF にする際に押します。
2	INPUT	投写する入力信号を選択する際に押します。
3	AUTO PC	アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。
4	ASPECT	映像の縦横比(アスペクト) を切り換えます。
5	CENTER LENS	レンズ(ズーム、フォーカス、レンズシフト) をセンタリングする際に押します。 <b>注意</b> レンズを交換した後は必ず「センターレンズ」を実行してください。
6	BLANK	映像の表示 / 非表示を切り替えます。
7	FOCUS	投写された画像のピントを調整する際に押します。
8	ZOOM	投写された画像のサイズを調整する際に押します。
9	MENU	一つ前に戻る、あるいは OSD メニューを表示 / 非表示する際に押します。
10	▲	OSD の設定で上方向を指定します。
11	◀	OSD の設定で左方向を指定します。
12	▼	OSD の設定で下方向を指定します。
13	ENTER (*)	メニューなどで選んだ項目を確定します。
14	▶	OSD の設定で右方向を指定します。
15	EXIT	OSD メニューを抜ける際に押します。
16	LENS-SHIFT	画面位置を上下左右に移動します。

(\*) OSD が表示されていない時に ENTER ボタンを押すと、レンズ調整画面が表示されます。

## パワーパネル

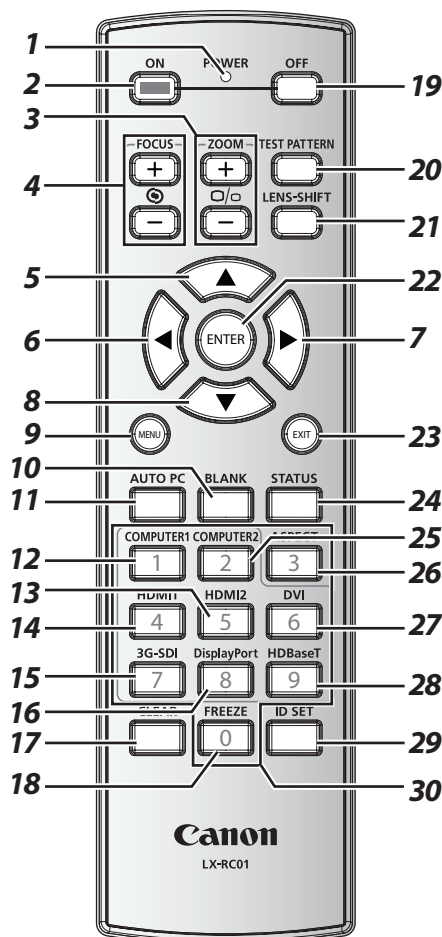


番号	名称	説明
1	VOLTAGE SELECT	電源電圧の切り換えに使用します。ご使用する地域の電圧に合わせてください。 誤った電圧を選択すると故障の原因になります。不明な点は販売店かキャノンお客様相談センターにお問い合わせください。
2	AC 電源スイッチ	プロジェクターの AC 電源を ON、OFF します。
3	電源ソケット	プロジェクターをコンセントと接続し、電力を供給します。必ずフックを取り付けてください。

## リモコンの使い方

リモコンをお使いいただく際の注意

- リモコンは丁寧に扱ってください。
- 極端に高温 / 高湿な環境下に放置しないでください。
- 電池をショートさせたり、加熱や分解しないでください。
- 電池を火の中に入れないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、電池を外してください。
- 電池の極性(+/-) が正しく合っている事を確認してください。
- 新旧の電池や、異なる種類の電池を一緒に使用しないでください。
- お住まいの地域の決まりに従って電池を廃棄してください。



### 正しくお使い頂くために：

1. 明るい蛍光灯がついた状態でプロジェクターを使用しないでください。インバータタイプの蛍光灯の中には、リモコン操作を妨害するものがあります。
2. リモコンとプロジェクター間に障害物がない事を確認してください。
3. プロジェクターコントロールパネルのボタンとキーは、リモコン上の対応するボタンと同じ機能を持ちます。本使用説明書は、リモコンに基づいて機能を説明します。
4. 専用リモコン(LX-RC01)をご使用ください。

番号	名称	説明
1	LED インジケータ	キーが押されると光ります。
2	ON	プロジェクターの電源を ON にする際に押します。
3	ZOOM	投写された画像のサイズを調整する際に押します。
4	FOCUS	投写された画像のピントを調整する際に押します。
5	▲	OSD の設定で上方向を指定します。

番号	名称	説明
6	◀	OSD の設定で左方向を指定します。
7	▶	OSD の設定で右方向を指定します。
8	▼	OSD の設定で下方向を指定します。
9	MENU	一つ前に戻る、または OSD メニューを表示 / 非表示する際に押します。
10	BLANK	映像の表示 / 非表示を切り替えます。
11	AUTO PC	アナログ PC 入力時に、コンピューターの信号に合わせて本機を最適な状態に調整します。
12	COMPUTER1	アナログ PC 信号の入力端子です。
13	HDMI2	入力信号を HDMI に切り替える際に押します。
14	HDMI1	
15	3G-SDI	入力信号を 3G-SDI に切り替える際に押します。
16	DisplayPort	本機に機能はありません。
17	CLEAR	保存された Remote ID を消去します。
18	FREEZE (*1)	投写された画像をフリーズさせる際に押します。
19	OFF	プロジェクターの電源を OFF にする際に押します。
20	TEST PATTERN	テストパターンを表示する際に押し、次のテストパターンへと切り替えるには【▲、▼、◀、▶（上下左右）】ボタンを押します。投写された画像へと戻すには、 <b>EXIT</b> を押します。
21	LENS-SHIFT	画面位置を上下左右に移動します。
22	ENTER (*2)	メニューなどで選んだ項目を確定します。
23	EXIT	OSD メニューを抜ける際に押します。
24	STATUS	サービスメニュー (OSD) を表示する際に押します。
25	COMPUTER2	入力信号をコンピューター 2 に切り替える際に押します。
26	ASPECT	映像の縦横比 (アスペクト) を切り換えます。
27	DVI	入力信号を DVI に切り替える際に押します。
28	HDBaseT	入力信号を HDBaseT に切り替える際に押します。
29	ID SET	Remote ID を設定する際に押します。
30	数字ボタン	Control ID あるいは Remote ID を設定する際に数字を押します。

(\*1) この機能は 2D 信号に適用可能です。

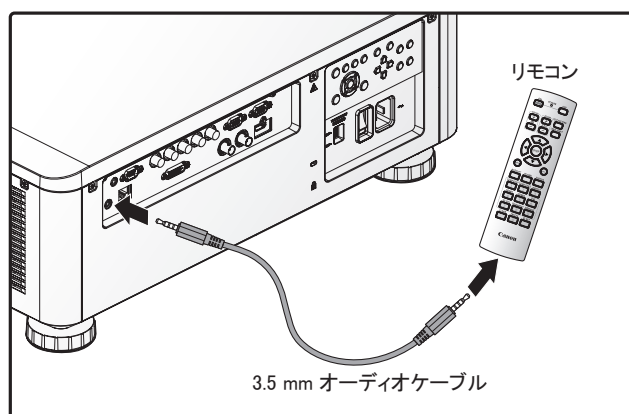
(\*2) OSD が表示されていない時に **ENTER** ボタンを押すと、レンズ調整画面が表示されます。

## ワイヤードリモコン(LX-RC01)の使用

リモコンとプロジェクターをケーブルで接続して使用することができます。

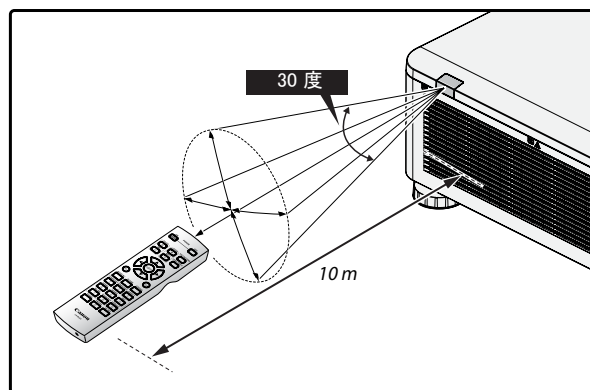
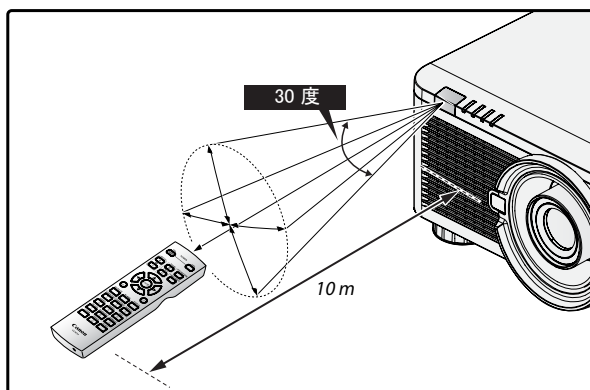
3.5 mm のステレオミニジャックケーブル(別売り)を使用してください。

また、本体、またはリモコンにケーブルを接続している場合は、赤外線での操作ができません。



## リモコン操作範囲

リモコンは、プロジェクターを制御する際に赤外線通信を使用します。リモコンをプロジェクターの正面あるいは背面に対しプロジェクターの上下 30 度、半径 10 メートルの範囲にあれば、リモコンは正しく動作します。プロジェクターがリモコンに反応しない場合は、プロジェクターに近づけてください。



## Remote ID をプロジェクターに設定する

複数のプロジェクターを独立して操作するには、本 ID 機能を設定します。

- 「Remote ID」は、リモコン用です。
- 「Control ID」は、プロジェクター用です。75 ページを参照してください。

複数のプロジェクターを動かす場合に ID の設定を行ってください。詳細については 75 ページを参照してください。

1. ID SET ボタンを 3 秒間押します。リモコン上の LED インジケータが点滅します。
2. Remote ID を指定するには、2 つの数字ボタンを、それぞれ 1 秒以上押し続けてください。処理が完了するまで約 10 秒かかります。

### 注意

工場出荷時の初期設定は「X/X」です。「X」は全ての ID を意味します。左側は「Control ID」であり、右側は「Remote ID」です。75 ページを参照してください。

## Remote ID の削除

ID SET および CLEAR ボタンを 5 秒間押します。リモコンのバックライトが点滅し、ID が消去された事を通知します。

---

## プロジェクターおよびリモコンのボタン

プロジェクターは、リモコンあるいはプロジェクター側面のボタンを使用して操作できます。リモコンはすべての操作が行えますが、プロジェクターのボタンでは実行できる操作は限られています。



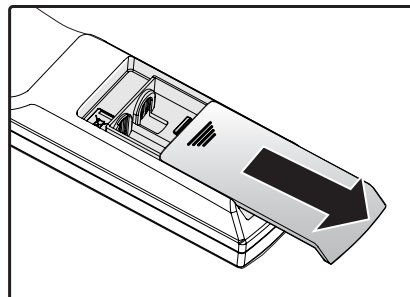
# 設定および操作

## リモコンへの電池の入れ方

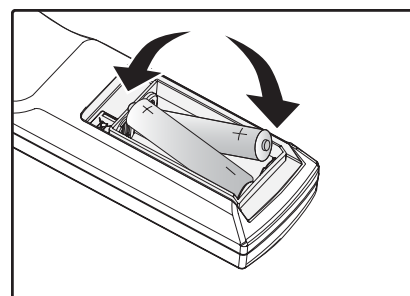
### 注意

- 新旧の電池や、異なる種類の電池を一緒に使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、液漏れなどによる損傷を防ぐために電池を外してください。

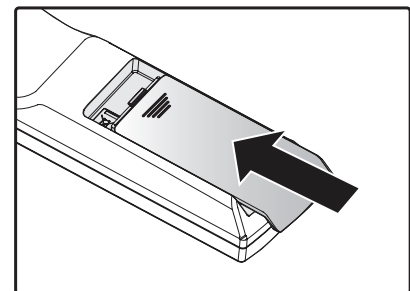
1. 図のように電池カバーを外してください。



2. 2本の単三電池を電池ボックスに入れます。この時、電池と電池ボックスの極性が正しく合っている事を確認してください。

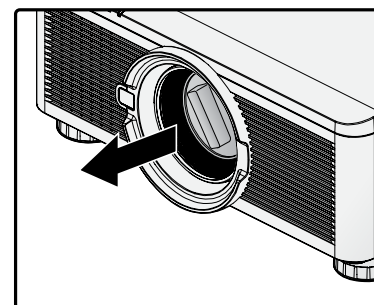


3. 図のように電池カバーを前にスライドしてください。

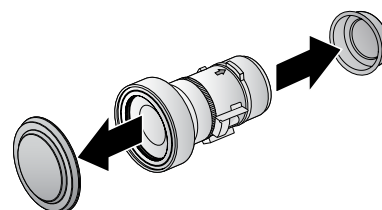


## レンズの取り付け

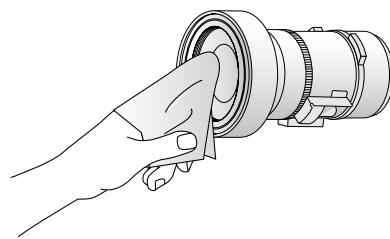
1. レンズを取り付ける際はダストキャップを外してください。



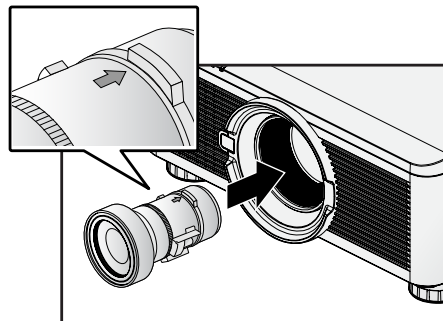
2. 包装から新しいレンズを取り出してください。
3. レンズの前面と背面からレンズカバーを外してください。必ずレンズを本機に取り付ける前に行ってください。



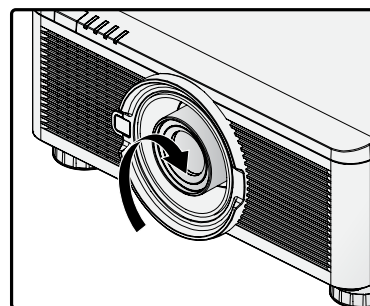
4. 設置前にレンズから汚れを取り除いてください。その際には、レンズの面を傷つける事がないように注意してください。



5. レンズ側面に貼り付けられているラベルの矢印を上向きにし、レンズを本機レンズマウントの突き当たりまでゆっくり押し込んでください。



6. カチッという音がしてレンズが固定されるまで、レンズを時計方向に回してください。



7. レンズを軽く引き、正しい場所に固定されている事を確かめてください。レンズが動かなければ、正しく取り付けられています。

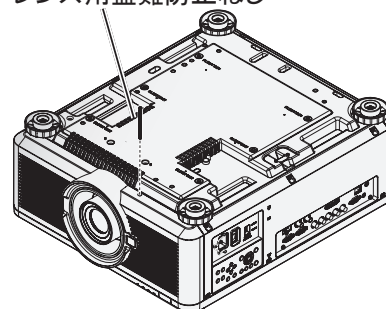
#### 注意

- 本機にはレンズメモリ機能があります。レンズを交換した後は、レンズメモリの再設定が必要です。
- レンズを取り付け、交換した後は必ず「センターレンズ」を実行してください。
- オプションレンズに付属の使用説明書も参照してください。

## レンズ用盗難防止ねじの使用

レンズが意図せずに取り外される事を防ぐため、プロジェクターに付属のレンズ用盗難防止ねじをプロジェクターの底面から締め付けてください。

レンズ用盗難防止ねじ

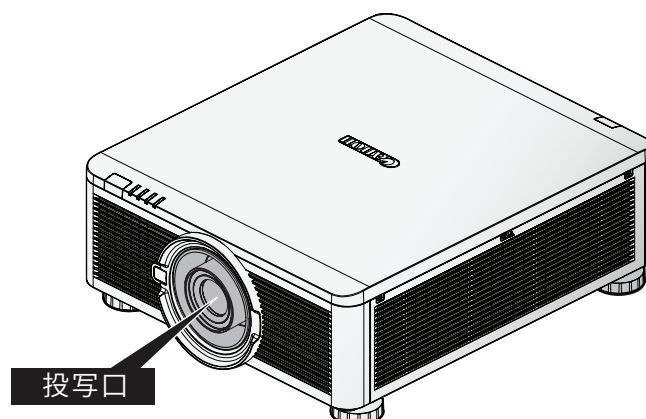


## プロジェクター部品および機能

### 投写口の位置

#### 注意

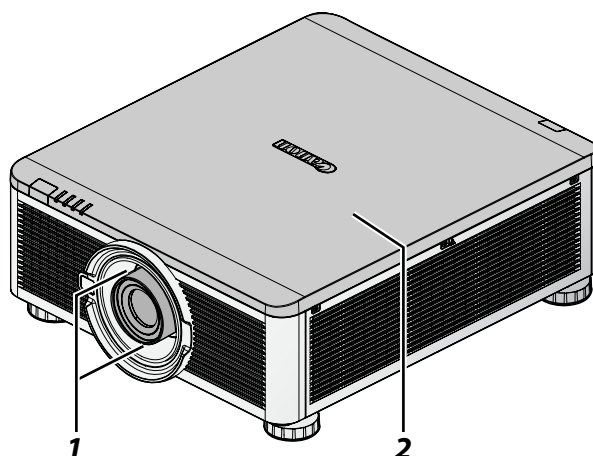
投写口は、以下の図で示される位置にあります。レンズから強い光が出てますので、光源を直接見ないでください。直接光源を見ると目を痛めてしまう恐れがあります。



---

## インターロックスイッチ

本機には不要なレーザーの露出から保護するためインターロックスイッチが 3 箇所（上面カバー 1 箇所、レンズ 2 箇所）があります。



番号	番号説明
1	レンズが取り外されていたり正しく取り付けられていないときに、レンズアラーム機能が自動的に本機の電源を切ります。
2	上面カバーが取り外されてるときに、侵入者アラーム機能が自動的に本機の電源を切ります。

## プロジェクターを設置する際の注意事項

スクリーンには太陽光線や照明等の光が画面に直接当たっていると、映像のコントラストが大きく損なわれ、映像が暗くなり見えにくくなる可能性があります。

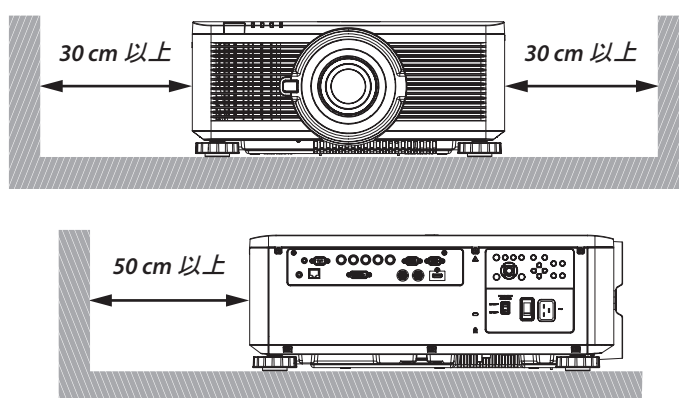
### プロジェクターの設置および設定

利用可能な設置条件は以下の通りです。

- 前面投写：机の上にプロジェクターを設置し、正面に映像を投写します。
- リア投写：プロジェクターをスクリーンの後ろに設置し、スクリーンに映像を投写します。
- 天吊投写：天井にプロジェクターを設置し、正面に映像を投写します。
- リア・天吊投写：プロジェクターをスクリーンの後ろの天井に設置し、スクリーンに映像を投写します。

### 換気に関する注意事項

本プロジェクターは高輝度プロジェクターです。十分な冷却を確保するための吸気口が右側面に存在します。冷却空気を排出するための排気口が、プロジェクターの背面にあります。設置の際には、プロジェクターに必要な冷却要件を満たすために、吸気口と排気口周辺に障害物および可燃物がない事を確認してください。少なくとも吸気口の周囲 30 cm と排気口の周囲 50 cm に障害物が存在しない事を確認してください。



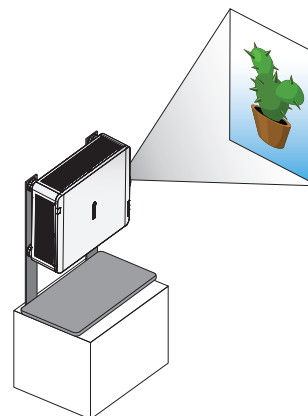
#### 注意

- 冷却が不十分な場合、温度異常によりプロジェクターの動作が停止する場合があります。
- 保証温湿度範囲外で使用し続けていると部品やレーザーの寿命が短くなることがあります。
- 温度異常を防ぐため、吸気口および排気口に障害物がないことを確認してください。

---

## ポータレート投写(縦置き操作)

本機を縦置きに設置することにより、コンピューターの表示をポータレートで投写することができます。



### 注意

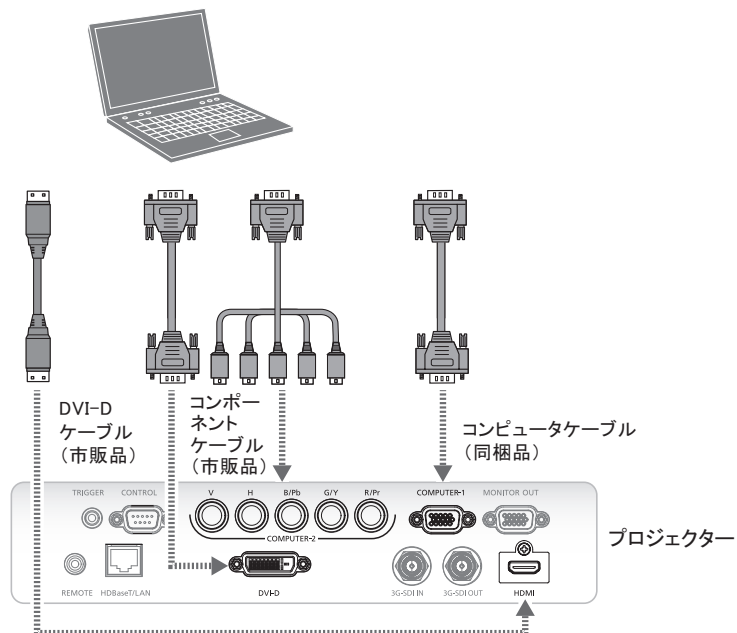
縦置きに設置する場合、以下のことに注意してください。

- プロジェクター単体では縦置きできません。しっかりと固定できるスタンドを準備してください。
- 吸気口を下にした場合、必ず 30cm 以上空間を開けてください。
- 以下の場合、プロジェクターの光学部品の劣化を早めることがあります。
  - レンズが下向きになる投写
  - ポータレート投写で吸気口が下側向きの場合

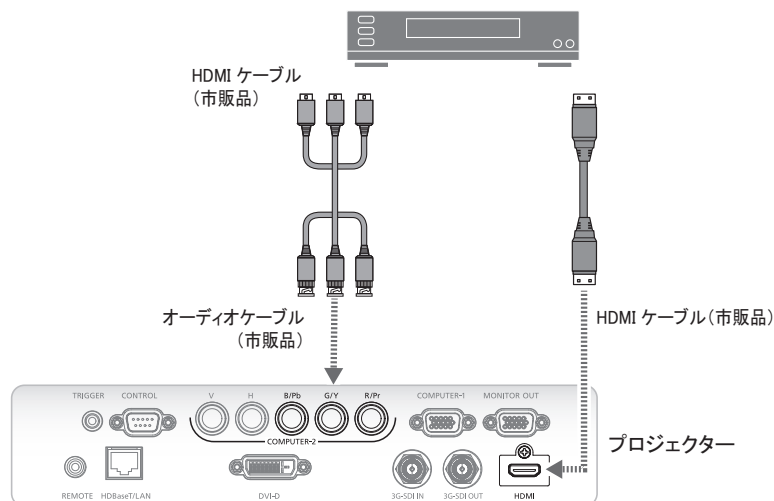
## プロジェクターの接続

### PC と接続

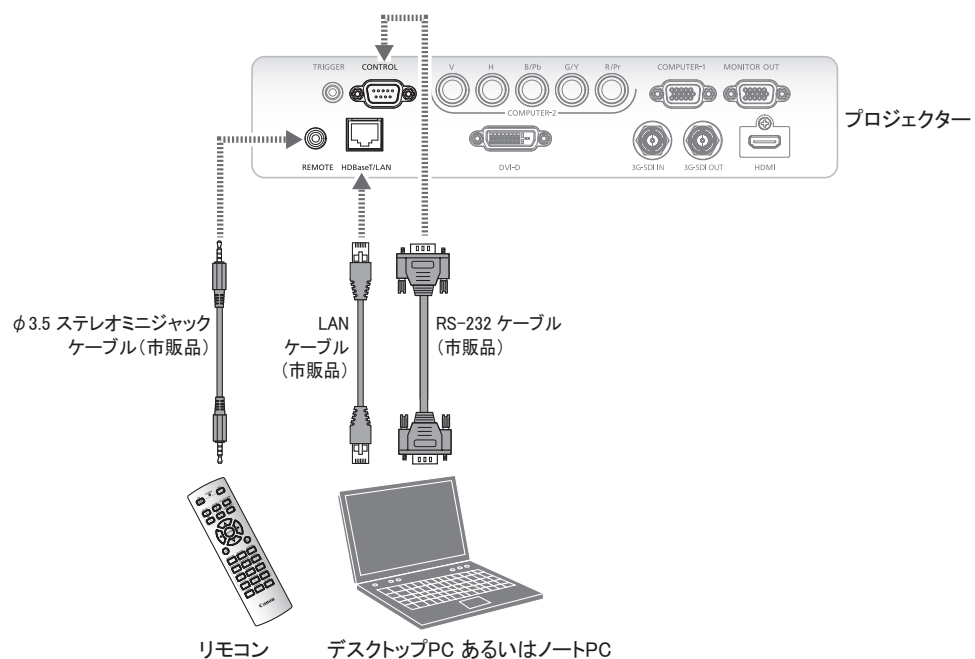
デスクトップ PC あるいはノート PC



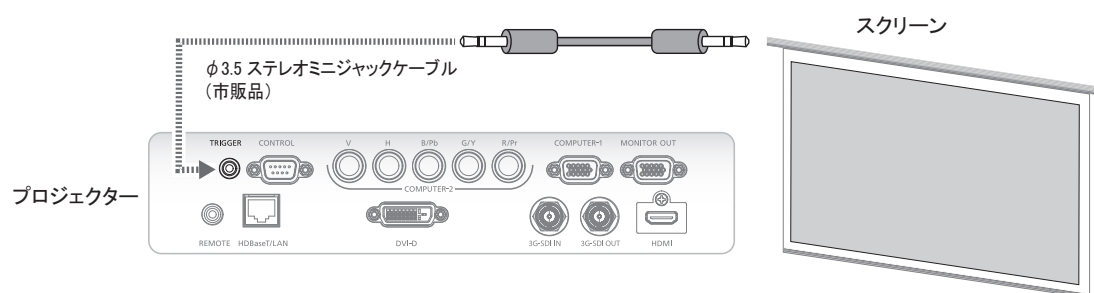
### AV 機器と接続



## 制御装置と接続

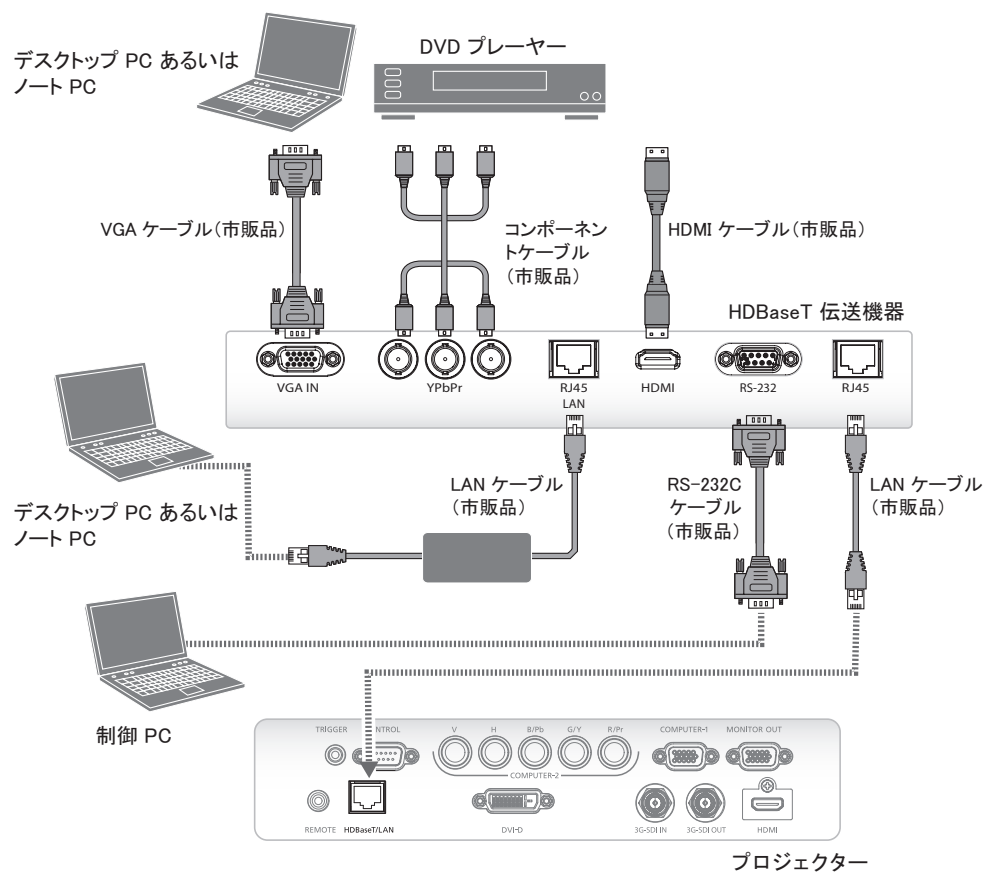


## スクリーントリガーと接続

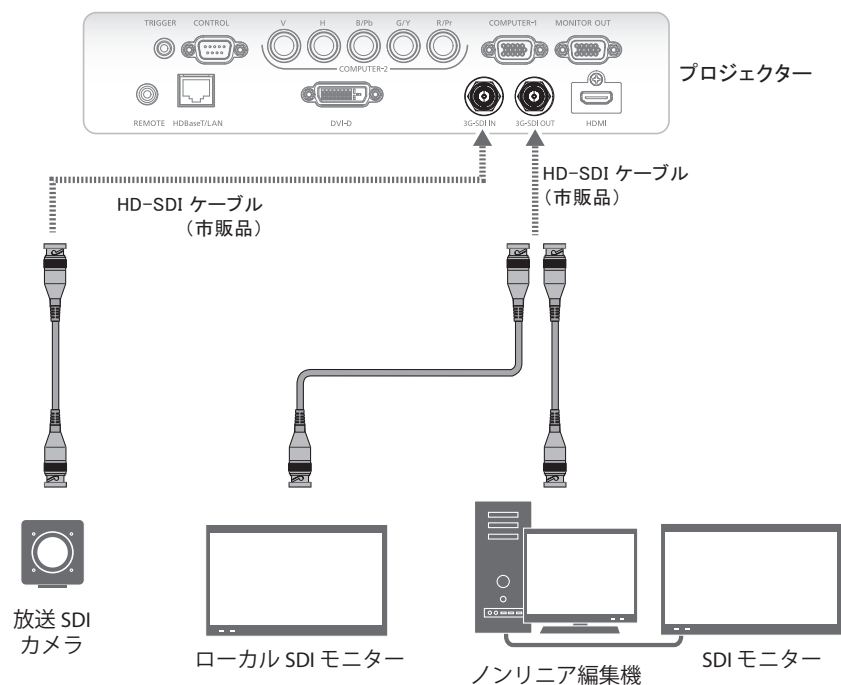




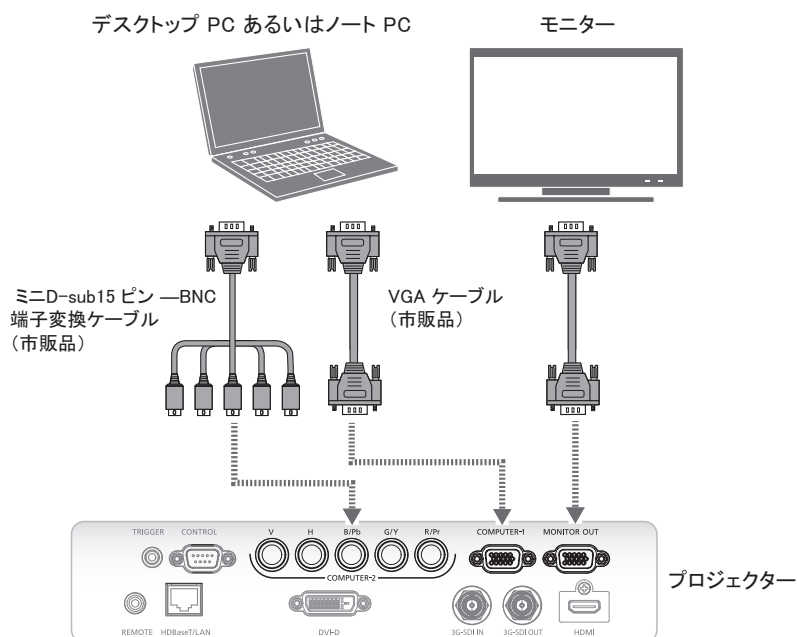
## HDBaseT 伝送機器と接続



## 3G-SDI と接続

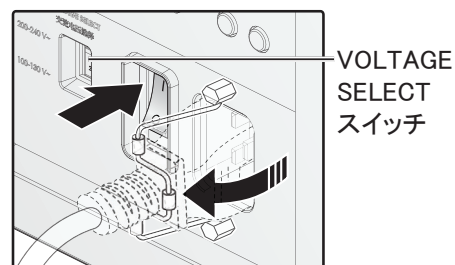
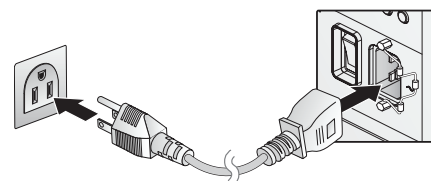


## 外部モニターと接続

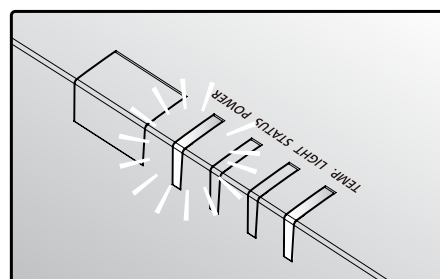


## プロジェクトの電源を入れる / 切る

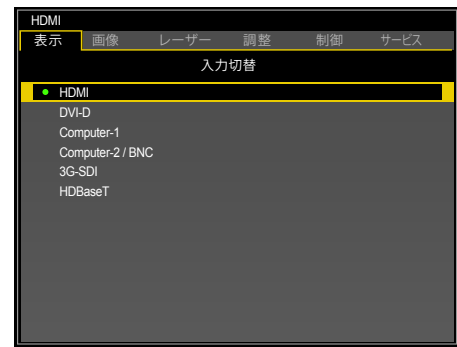
1. VOLTAGE SELECT スイッチが 115V になっていることを必ず確認してください。
2. プロジェクトに電源コードをしっかりと差し込み、本体側は AC 電源フックでプラグを固定してください。逆側のプラグを壁面コンセントに接続してください。
3. 電源スイッチを入れます




4. POWER LED 表示が赤く点灯している事を確認してください。プロジェクトの POWER ボタンかリモコンの ON ボタンを押して、プロジェクトの電源を ON にします。  
99 ページの「POWER インジケータ」を参照してください。



5. リモコンのソースボタンかプロジェクターの INPUT ボタンを押して、入力信号を決定します。



6. プロジェクターの POWER ボタンかリモコンの OFF ボタンを押して、「電源を OFF にしますか？ / 電源をもう一度押してください」を表示します。
7. プロジェクターの POWER ボタンかリモコンの OFF ボタンを押して、プロジェクターの電源を OFF にします。

 プロジェクターを待機状態にしますか？  
もう一度押すと電源オフします

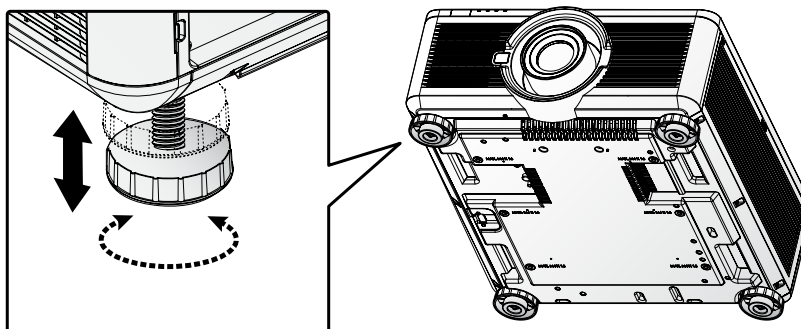
#### 注意

- プロジェクターに付属の電源コードを使用してください。
- コンセントの許容電力が 1KW 以上であることを確認してください。
- プロジェクターの寿命を長く保つため、ご使用にならない場合は本製品の電源をお切り下さい。レーザーの寿命は選択のモード、設置環境、ご使用方法により変わります。時間が経つほど明るさが落ちてきます。
- POWER LED が赤く点灯し、プロジェクターの冷却が完了した事を示すまで、電源コードを抜いたり電源スイッチを切ったりしないでください。

#### プロジェクター高さの調整

本機を設定するときは、以下の点にご注意ください。

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでください。
- スクリーンに対し、垂直になるように設置してください。
- 事故やけがの防止のため、ケーブルでつまづかないよう固定されていることを確認してください。

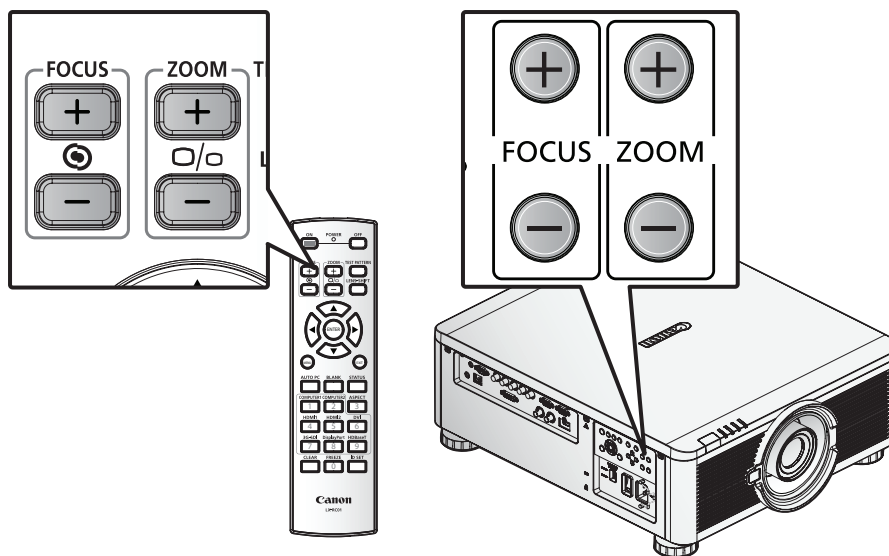


プロジェクターを設置面上で水平にするには、調整脚を使って最大 7° まで上に向けることができます。

調整脚などを使い、傾けて設置すると投写画面が台形にひずみますが、キーストーンの調整(P.34) の操作により補正できます。

## フォーカスとズームの調整

1. プロジェクターあるいはリモコンの FOCUS +/- を押し、投写された画像のピントを調整してください。
2. プロジェクターあるいはリモコンの ZOOM +/- を押し、投写された画像のサイズを調整してください (ZOOM + は、画像サイズを大きくし、ZOOM - は画像サイズを小さくします)。



## キーストーンの調整

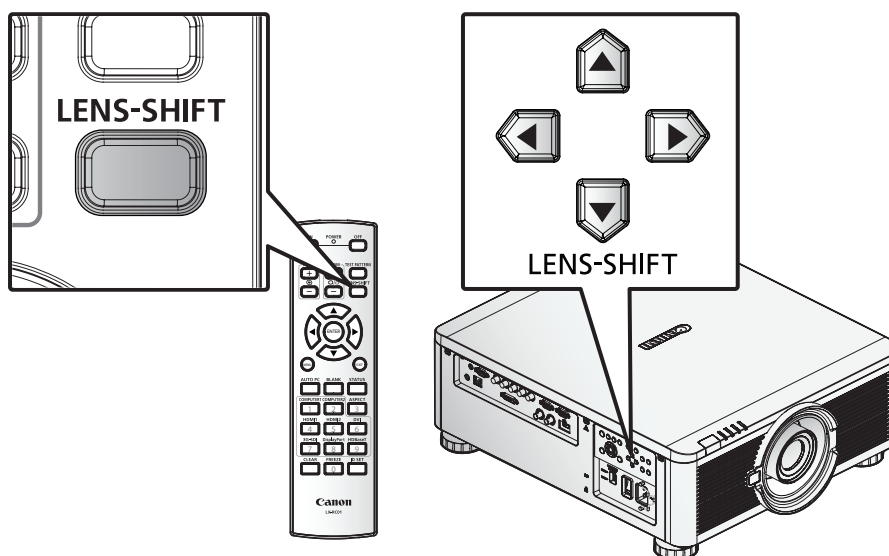
1. MENU を開き、調整タグを選択します。
2. ジオメトリを選択します。
3. キーストーンを選択します。



低解像度モードにおいてアスペクトがリアルに設定された場合、キーストーン調整のレベルによっては OSD が範囲外になる可能性があります。

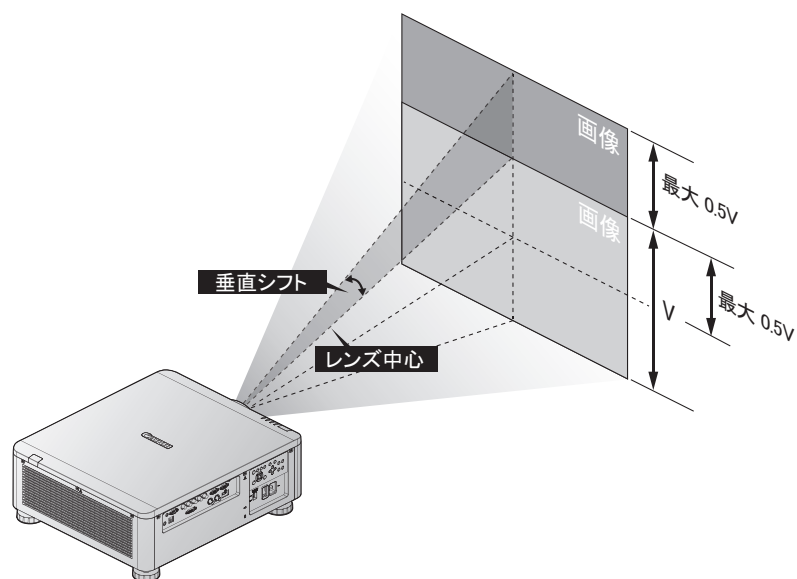
## レンズシフトの調整

レンズシフト機能により、プロジェクターを動かすことなく画像を縦方向と横方向に調整できます。



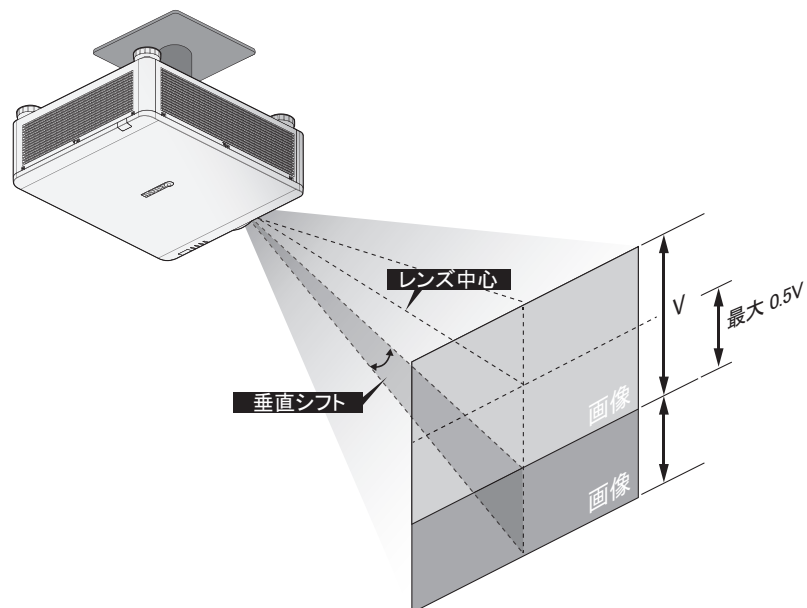
### 垂直レンズシフト

机の上に設置されたプロジェクターのレンズは、上方向へ 0% から 50% まで (0.5 V) 移動できます。



---

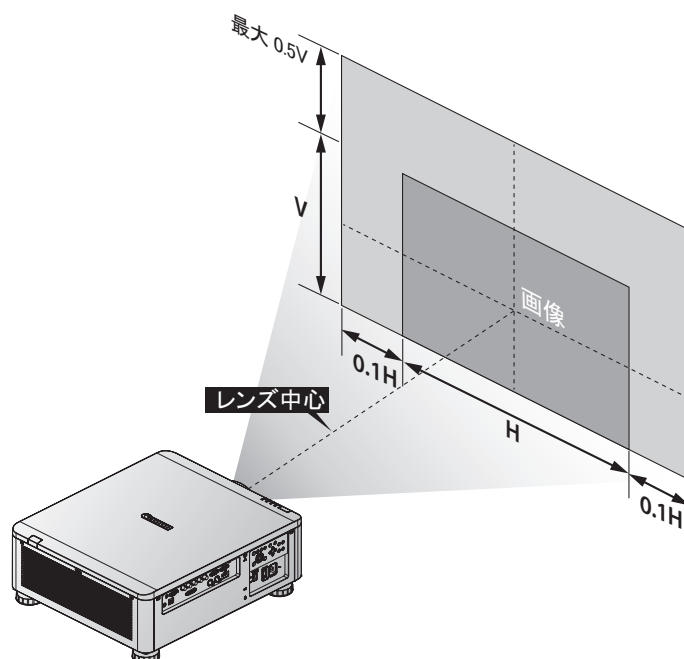
天井に設置されたプロジェクターのレンズは、下方向へ 0% から 50% まで(0.5 V) 移動できます。



- 上記のレンズシフト範囲はLX-IL07WF（短焦点固定レンズ）以外の、LX-IL01UW（超短焦点ズームレンズ）、LX-IL02WZ（短焦点ズームレンズ）、LX-IL03ST（標準ズームレンズ）、LX-IL04MZ（中焦点ズームレンズ）、LX-IL05LZ（長焦点ズームレンズ）、LX-IL06UL（超長焦点ズームレンズ）用です。
- LX-IL07WF（固定短焦点レンズ）の光学性能保証範囲はレンズシフト 0% の位置です。

## 水平レンズシフト

プロジェクターを動かす事なく、画像を横方向へ 10% (0.1 H) 動かす事ができます。

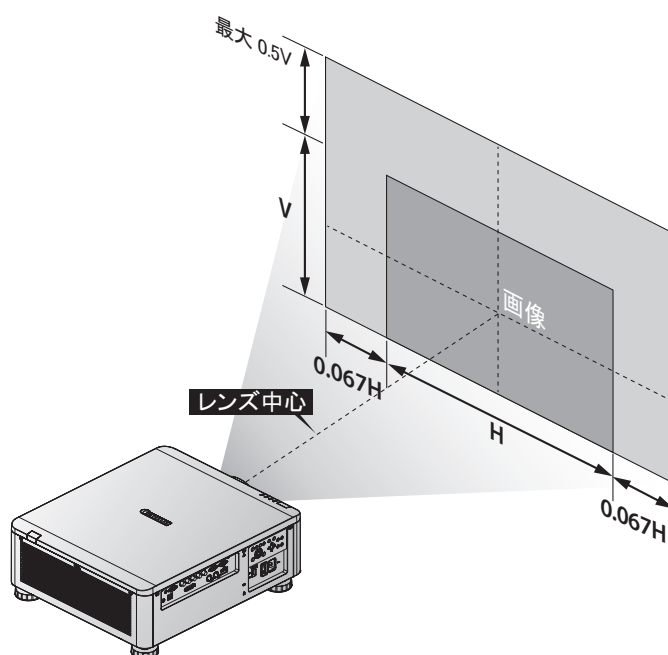


レンズシフト仕様	垂直		水平	
	上	下	左	右
レンズシフト調整範囲	60%	30%	10%	20%
レンズシフト光学性能保証範囲	50%	0%	10%	10%

- 上記のレンズシフト範囲は、LX-IL02WZ（短焦点ズームレンズ）、LX-IL03ST（標準ズームレンズ）、LX-IL04MZ（中焦点ズームレンズ）、LX-IL05LZ（長焦点ズームレンズ）、LX-IL06UL（超長焦点ズームレンズ）用です。
- LX-IL07WF（固定短焦点レンズ）の光学性能保証範囲はレンズシフト 0% の位置です。

## LX-IL01UW（超短焦点ズームレンズ）についての水平レンズシフト

プロジェクターを動かす事なく、画像を横方向へ 6.70%（0.067 H）動かす事ができます。



レンズシフト仕様	垂直		水平	
	上	下	左	右
レンズシフト調整範囲	60%	30%	10%	20%
レンズシフト光学性能保証範囲	50%	0%	6.7%	6.7%



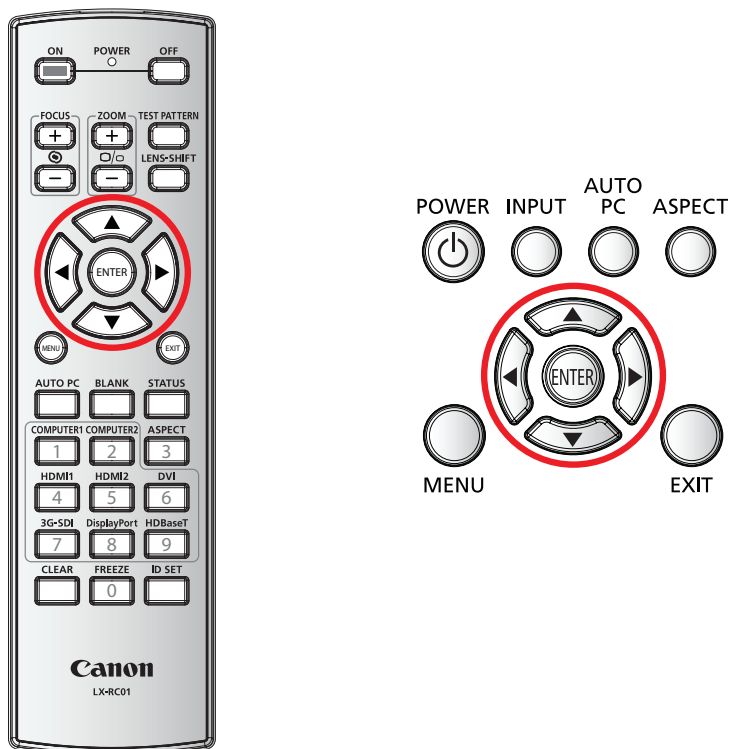
# メニューの設定

## OSD メニューコントロール

本機には、各種調整や設定をおこなうためのオンスクリーンディスプレイメニュー（以下 OSD メニュー）があります。

### OSD メニューのナビゲート

リモコンの ▲、▼、◀、▶ キーまたはプロジェクター本体のコントロールパネルを操作してメニュー設定することができます。



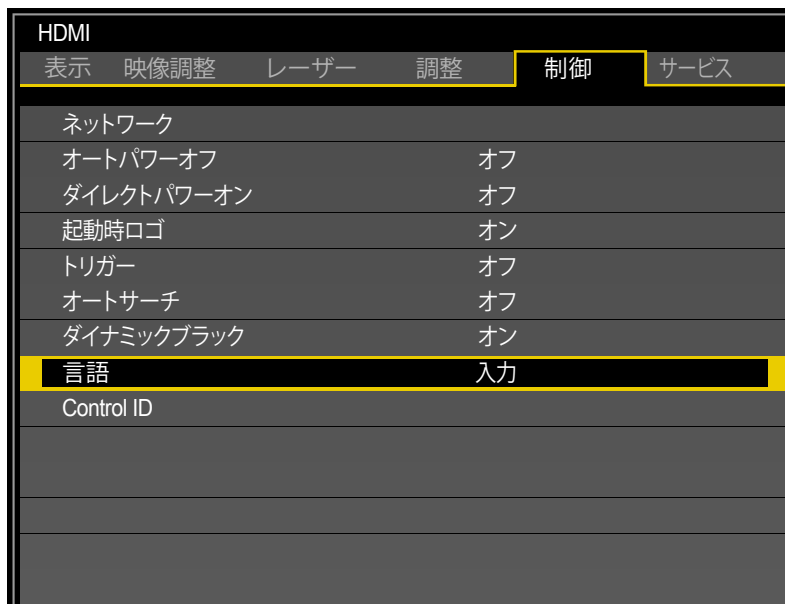
1. プロジェクターかリモコンの【MENU】ボタンを押し、OSD メニューを表示します。
2. 6 種類のメニューがあります。【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押し、メニューを選択します。
3. 【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押し、メニュー内を上下します。
4. 【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押し、選択した設定の数値を変更します。
5. 【MENU】ボタンを押すと、OSD 画面を閉じるか、一つ前のメニューに戻ります。

HDMI					
表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス
入力切替					
テストパターン					
3D					
カラースペース			オート		
バックグラウンド			ロゴ		
オートPC					

## OSD 言語の設定

OSD メニューを使用する前に、以下の手順で使用する言語を設定してください。（初期設定は英語になっています。）

1. プロジェクターリモコンの【MENU】ボタンを押します。【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、【制御】メニューを選択します。
2. 【言語】が選択されるまで【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押し、【ENTER】ボタンを押します。



3. 【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押して、使用する言語を選択し、【ENTER】ボタンを押します。



4. 【MENU】ボタンを 3 回押して OSD メニューを閉じます。

# OSD メニュー一覧

メインメニュー	サブメニュー	設定	
表示	入力切替	<b>HDMI</b> / DVI-D/ Computer-1/ Computer-2/BNC/ 3G-SDI/ HDBaseT	
	テストパターン	白 / 黒 / 赤 / 緑 / 青 / チェッカーボード / クロスハッチ / V 拡大 / H 拡大 / カラーバー	
	3D	3D 方式	オフ / <b>オート</b> / サイドバイサイド (ハーフ) / トップ / ボトム / フレームシーケンシャル
		DLP Link	<b>オフ</b> / オン
		3D 同期	<b>ノーマル</b> / 逆転
	カラスペース	<b>オート</b> / REC709/ REC601/ RGB PC/ RGB Video	
	バックグラウンド	<b>ロゴ</b> / 黒 / 青 / 白	
	オート PC	Enter	
映像調整	ピクチャーモード	<b>プレゼンテーション</b> / スタンダード / ビデオ	
	明るさ	0 ~ <b>100</b> ~ 200	
	コントラスト	0 ~ <b>100</b> ~ 200	
	彩度	0 ~ <b>100</b> ~ 200	
	色相	0 ~ <b>100</b> ~ 200	
	ガンマ	1.0/ 1.8/ 2.0/ <b>2.2</b> / 2.35/ 2.5	
	色	色相	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄
		彩度	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄
		ゲイン	赤 / 緑 / 青 / シアン / マゼンタ / 黄
		白ゲイン	赤 / 緑 / 青
	色温度	5400K/ 6500K/ 7500K/ 8200K/ 9300K/ <b>ネイティブ</b>	
	ホワイトバランス	赤オフセット / 緑オフセット / 青オフセット / 赤ゲイン / 緑ゲイン / 青ゲイン	
	シャープネス	0 ~ 15	
	ノイズリダクション	0 ~ 3	
	VGA セットアップ	V 開始ライン / H 開始ドット / トラッキング / 総ドット数	
レーザー	パワー	エコ / <b>ノーマル</b> / カスタム	
	電力レベル	LX-MU800Z: 20% ~ 100% LX-MU600Z: 35% ~ 100%	
	高地モード	<b>オート</b> / 固定	

工場出荷時設定は太字です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
調整	投写モード	前面投写 / 天吊投写 / リア投写 / リア・天吊投写	
	レンズ制御	メニューをポップアップ表示してズーム、フォーカス、シフトの調整ができます	
	レンズ メモリ	メモリー 1/ メモリー 2/ メモリー 3/ メモリー 4/ メモリー 5/ メモリー 6/ メモリー 7/ メモリー 8	
	センター レンズ	センター レンズ ?	OK/ キャンセル
	ジオメトリ	アスペクト比	5:4/ 4:3/ 16:10/ 16:9/ 1.88/ 2.35/ レターボックス / オート / リアル
		オーバースキャン	オフ / クロップ / ズーム
		デジタルアライメント	デジタルズーム / デジタルパン / デジタルスキャン / リセット
		キーストーン	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -600 < X < 600、-400 < Y < 400
		回転	-100 ~ 100
		ピンクッション / バレル	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -150 < X < 300、-150 < Y < 300
		左上コーナー	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -192 < X < 192、-120 < Y < 120
		右上コーナー	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -192 < X < 192、-120 < Y < 120
		左下コーナー	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -192 < X < 192、-120 < Y < 120
		右下コーナー	メニューをポップアップ表示して X 軸と Y 軸の調整ができます。 -192 < X < 192、-120 < Y < 120
		リセット	Enter
		ブランキング	上 / 下: 0 ~ 360 左 / 右: 0 ~ 534
	ブレンディング	ブレンディング	オフ / オン
		調整ライン表示	オフ / オン
		ブレンディング幅	上 / 下 / 左 / 右: 0, 100 ~ 500
		黒レベル	上 / 下 / 左 / 右: 0 ~ 32 オール / 赤 / 緑 / 青: 0 ~ 255
		リセット	Enter

工場出荷時設定は太字です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
制御	ネットワーク	ネットワークモード	プロジェクター制御 / サービス
		待機電源	オフ / オン
		DHCP	オフ / オン
		IP	192.168.0.100 (【ENTER】を押すと修正 できます)
		サブネットマスク	255.255.255.0 (【ENTER】を押すと修正 できます)
		ゲートウェイ	0.0.0.0 (【ENTER】を押すと修正できます)
		DNS	0.0.0.0 (【ENTER】を押すと修正できます)
		MAC	00:18:23:2c:eb:8a ( 例 )
	オートパワーオフ	オフ / オン	
	ダイレクトパワーオン	オフ / オン	
	起動時ロゴ	オフ / オン	
	トリガー	オフ / オン	
	オートサーチ	オフ / オン	
	ダイナミックブラック	オフ / オン	
	言語	English/ Français/ Español/ Deutsch/ Português/ Nederlands/ Italiano/ русский / 简体中文 / 繁體中文 / 한국어 / 日本語	
	Control ID	Control ID Enable	オフ / オン
Control ID Number		1 ～ 99	
Remote ID Number		1 ～ 99 (赤外線リモコンのボタンを一 度押してください)	
サービス (LX-MU800Z 用)	モデル	LX-MU800Z	
	シリアル番号	DDD300001A	
	ソフトウェアバージョン 1	MM01-SD07-FD19	
	ソフトウェアバージョン 2	LD06-22-RP02-3092	
	Control/ Remote ID	X / X	
	入力ソース	HDMI	
	信号形式	1920×1200 60Hz RB	
	ピクセルクロック	154.00 MHz	
	H/ V リフレッシュレート	74.038 KHz / 59.95 Hz	
	レーザー使用時間	000100 HRS	
	温度情報	吸気温度	25 / 25 (℃)
		DMD 温度	32 (℃)
		レーザー温度	33 / 30 (℃)
		ウォーターポンプ (RPM)	3900
		ファン 1-3 スピード	1400 / 1400 / 1400
		ファン 4-6 スピード	1400 / 1200 / 1200
		ファン 7-9 スピード	1200 / 1400 / 1400
		ファン 10-12 スピード	0 / 3000 / 3000
		ファン 13-15 スピード	3000 / 3000 / 3000
工場出荷設定	すべてリセットします か？	OK/ キャンセル	

工場出荷時設定は太字です。

メインメニュー	サブメニュー	設定	
サービス (LX-MU600Z 用)	モデル	LX-MU600Z	
	シリアル番号	DEE500001A	
	ソフトウェアバージョン 1	MM01-SD07-FD19	
	ソフトウェアバージョン 2	LD06-22-RP02-3092	
	Control/ Remote ID	X / X	
	入力ソース	HDMI	
	信号形式	1920x1200 60Hz RB	
	ピクセルクロック	154.00 MHz	
	H/ V リフレッシュレート	74.038 KHz / 59.95 Hz	
	レーザー使用時間	000100 HRS	
	温度情報	吸気温度	25 / 25 (°C)
		DMD 温度	32 (°C)
		レーザー温度	33 / 30 (°C)
		ウォーターポンプ(RPM)	3900
		ファン 1-3 スピード	1400 / 1400 / 1400
		ファン 4-6 スピード	1400 / 1200 / 1200
		ファン 7-9 スピード	1200 / 1400 / 1400
		ファン 10-12 スピード	0 / 3000 / 3000
		ファン 13-15 スピード	3000 / 3000 / 3000
		ファン 16 スピード	3000
	工場出荷設定	すべてリセットしますか？	OK/ <b>キャンセル</b>

工場出荷時設定は太字です。

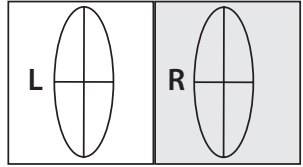
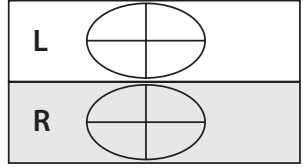
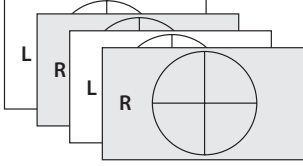
## 表示メニュー

HDMI					
表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス
入力切替					
テストパターン					
3D					
カラスペース				オート	
バックグラウンド				ロゴ	
オートPC					

機能	説明
入力切替	入力信号を切り替えます。
テストパターン	【ENTER】ボタンを押して、プロジェクター設置チェックに使用する様々なテストパターンを表示することができます。テストパターンを終了するには、【TEST PATTERN】ボタンまたは【EXIT】ボタンを押します。
3D	<p>【ENTER】ボタンを押して、[3D] メニューを開きます。詳しくは 46 ページの「3D メニュー」を参照してください。</p> <p><b>注意：</b> 3D 設定を調整する場合には、あらかじめ入力信号の有無を確認してください。</p>
カラスペース	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、カラスペースを調節します。</p> <p>[ オート ]、[ REC709 ]、[ REC601 ]、[ RGB PC ]、[ RGB Video ]</p>
バックグラウンド	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、信号が無い場合に表示する背景を選択します。</p> <p>[ ロゴ ]、[ 黒 ]、[ 青 ]、[ 白 ]</p>
オート PC	【ENTER】ボタンを押して、入力信号を自動調整します。

## 3D メニュー



機能	説明
3D 方式(*)	<p>【ENTER】ボタンを押して、3D 形式画面を開きます。【▲/▼(上 / 下)】ボタンを押して、3D 形式を選択します。選択できるオプションは、<b>オフ</b>、<b>オート</b>、<b>サイドバイサイド (ハーフ)</b>、<b>トップ / ボトム</b>、<b>フレームシーケンシャル</b>です。</p> <p><b>サイドバイサイド (ハーフ)</b>：別個の画像を左右隣り合わせに送信します。画像の水平解像度は半分になります。</p> <p><b>トップ / ボトム</b>：左右別個の画像を上下に重ねて送信します。画像の垂直解像度は半分になります。</p> <p><b>フレームシーケンシャル</b>：左右別個の画像を順番に送信し、一つの映像ストリームとして出力します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p><b>サイドバイサイド (ハーフ)</b></p>  <p><b>トップ、ボトム</b></p>  <p><b>フレームシーケンシャル</b></p> </div> </div>
DLP Link	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、DLP リンク同期のオンとオフを切り替えます。
3D 同期	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、3D メガネを使って視聴する 3D 映像のステータスを選択します。</p> <p>[ ノーマル ]、[ 逆転 ]</p>

(\*)

- 3D 投写中、フリーズ操作はできません。
- 3D 方式がオートに設定されていても 3D 信号が正常に検出されない場合、もう一度オートを選択するか、既知の 3D 方式を選択してください。



## 映像調整メニュー

HDMI					
表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス
ピクチャーモード		プレゼンテーション			
明るさ		100			
コントラスト		100			
彩度		100			
色相		100			
ガンマ		2.2			
色					
色温度		ネイティブ			
ホワイトバランス					
シャープネス		10			
ノイズリダクション		0			
VGA セットアップ					

機能	説明
ピクチャーモード(*1)	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、ピクチャーモードを選択します。</p> <p>[ プレゼンテーション ]、[ スタンダード ]、[ ビデオ ]</p> <p>[ プレゼンテーション ] 文字を中心とした明るい映像</p> <p>[ スタンダード ] コンピューターの画面や映像ソフト(動画)</p> <p>[ ビデオ ] ビデオカメラの映像</p>
明るさ(*2)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、映像の明るさを調整します。
コントラスト	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、映像のコントラストを調整します。
彩度(*3)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、色の濃さを調整します。
色相(*3)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、色合いを調整します。
ガンマ	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、映像のガンマ補正を調整します。</p> <p>[1.0]、[1.8]、[2.0]、[2.2]、[2.35]、[2.5]</p>
色	【ENTER】ボタンを押して、[ 色 ] メニューを開きます。詳しくは 48 ページの「 <a href="#">色メニュー</a> 」を参照してください。
色温度	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、色温度を調整します。</p> <p>[ ネイティブ ]、[5400K]、[6500K]、[7500K]、[8200K]、[9300K]</p>
ホワイトバランス	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、[ ホワイトバランス ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶ (上下左右)】ボタンを押して、ホワイトバランスを調整します。</p>
シャープネス	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、シャープネスを調整します。
ノイズリダクション	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、映像のノイズリダクションを調整します。
VGA セットアップ(*4)	【ENTER】ボタンを押して、[VGA セットアップ] メニューを開きます。詳しくは 49 ページの「 <a href="#">VGA セットアップメニュー</a> 」を参照してください。

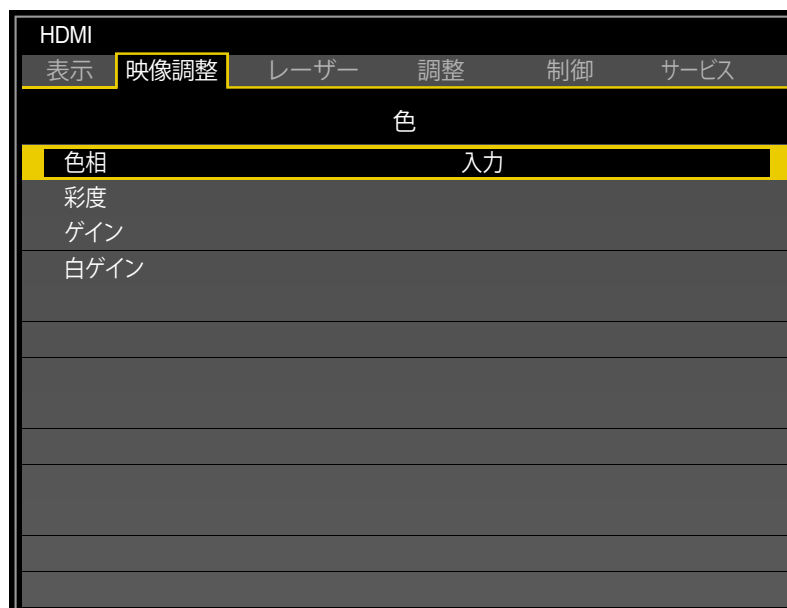
(\*1) 3D 投写においては、ピクチャーモードがスタンダードで設定されています。

(\*2) 明るさを変更するとレーザーの明るさが変わりますが、明るさの最大値はわかりません。

(\*3) ビデオ信号の映像を投写しているときのみ調整することができます。

(\*4) コンピューターからの信号が Computer-1 および Computer-2/BNC を通じて入力されている場合のみ、調整可能です。

## 色メニュー



機能	説明
色相	色合いを調整します。【ENTER】ボタンを押して、[ 色相 ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】ボタンを押して設定を調整します。
彩度	色の濃さを調整します。【ENTER】ボタンを押して、[ 彩度 ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】ボタンを押して設定を調整します。
ゲイン	【ENTER】ボタンを押して、[ ゲイン ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】ボタンを押して設定を調整します。
白ゲイン	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、[ 白ゲイン ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】ボタンを押して設定を調整します。

## VGA セットアップメニュー

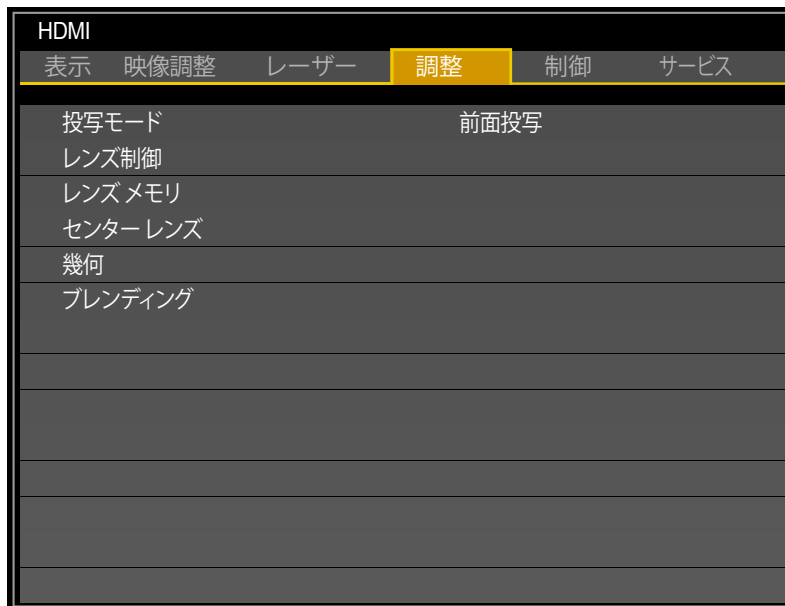
HDMI			
表示	映像調整	レーザー	調整 制御 サービス
VGA セットアップ			
V 開始ライン	<	100	>
H 開始ドット		100	
トラッキング		100	
総ドット数		100	

機能	説明
V 開始ライン	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、Computer-1/Computer-2/BNC 信号表示の V スタート値を調整します。
H 開始ドット	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、Computer-1/Computer-2/BNC 信号表示の H スタート値を調整します。
トラッキング	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、Computer-1/Computer-2/BNC 信号表示の H フェイズ値を調整します。
総ドット数	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、Computer-1/Computer-2/BNC 信号表示の H トータル値を調整します。

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	サービス
パワー	ノーマル
電力レベル	-----
高地モード	オート

機能	説明
パワー	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、電源モードを選択します。 [ エコ ]、[ ノーマル ]、[ カスタム ]
電力レベル	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、カスタム電源レベルを選択します。この機能は、 [ パワー ] が [ カスタム ] に設定されている場合にのみ有効です。
高地モード	高地モードは「オート / 固定」があります。 オート: 外気温、気圧によってファンの回転数を自動調整します。 固定: ファンの回転数を最大で回転させます。 【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して高地モードオートと固定を切り替えます。 <b>注意:</b> 以下の条件では高地モードを固定に設定する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 海拔 1219m (4000 フィート) 以上で使用する場合</li> <li>■ チルト角度が ± 15 度を超過して設置する場合</li> </ul>

## 調整メニュー

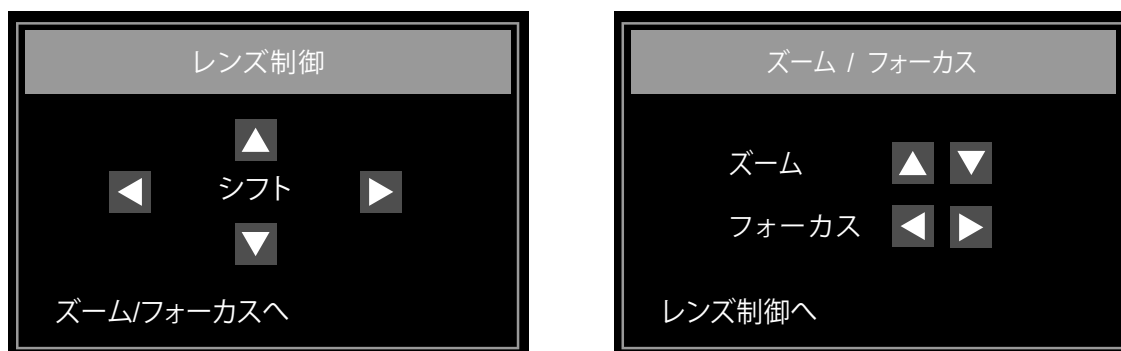


機能	説明
投写モード	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、投写モードを選択します。 [ 前面投写 ], [ 天吊投写 ], [ リア投写 ], [ リア・天吊投写 ]
レンズ制御	【ENTER】ボタンを押して、[ レンズ制御 ] メニューを開きます。詳しくは 52 ページの「 <a href="#">レンズ制御メニュー</a> 」を参照してください。
レンズ メモリ	【ENTER】ボタンを押して、[ レンズメモリ ] メニューを開きます。詳しくは 53 ページの「 <a href="#">レンズ メモリ メニュー</a> 」を参照してください。
センターレンズ	<p>【ENTER】ボタンを押して、レンズの中心位置を初期化します。</p> <div data-bbox="769 1182 1181 1301"> <p>センターレンズ ?</p> <p>OK キャンセル</p> </div> <p><b>注意 :</b> レンズを交換した後は必ず「センターレンズ」を実行してください。</p>
ジオメトリ	【ENTER】ボタンを押して、[ ジオメトリ ] メニューを開きます。詳しくは 54 ページの「 <a href="#">ジオメトリメニュー</a> 」を参照してください。
ブレンディング	【ENTER】ボタンを押して、[ ブレンディング ] メニューを開きます。詳しくは 60 ページの「 <a href="#">ブレンディングメニュー</a> 」を参照してください。

---

## レンズ制御メニュー

ENTER ボタンを押すと、**レンズシフトとズーム / フォーカス**メニューを切り替えられます。

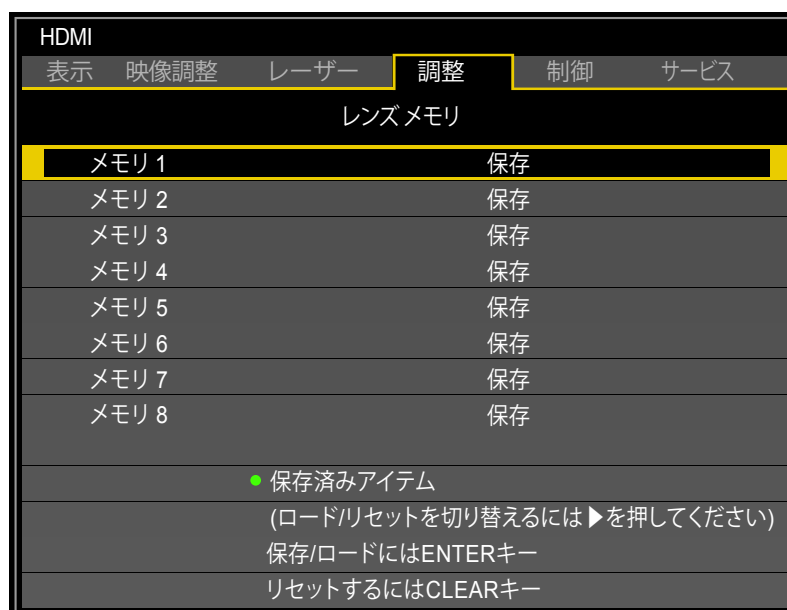


「Enter ボタン」を押してレンズシフト、ズーム / フォーカスのメニューを切り替えます。

機能	説明
ズーム	【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押して、レンズのズームを調整します。
フォーカス	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、レンズのピントを調整します。
垂直レンズシフト	【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押して、レンズの垂直方向位置を調整します。
水平レンズシフト	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、レンズの水平方向位置を調整します。

## レンズ メモリ メニュー

レンズ位置の情報を保存する事ができます。レンズ情報（フォーカス、ズーム、レンズシフト設定を含む）は 1 ～ 8 まで保存でき、復元することができます。



機能	説明
メモリー 1 - 8	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して選択、[ENTER] を押して設定の確定とキーボードの表示ができます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】および【ENTER】を押して設定の選択や確定ができます。</p> <div data-bbox="695 1068 1248 1424"></div> <p>【▶（右）】ボタンを押して [Reset] スイッチの選択、また【CLEAR】を押してメモリー名のリセットができます。</p> <p><b>注意：</b> 文字、数字、シンボル、スペースが入力可能です。最大入力文字数は 9 文字です。</p>

### 注意

- 保存されたレンズ位置を復元した際に、画像が保存された位置とは若干異なって投写される場合があります。
- 正確な位置決めが求められる場合は、レンズシフト、ズーム、フォーカス機能を使用して調整してください。

## ジオメトリメニュー

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	サービス
幾何	
アスペクト比	オート
オーバースキャン	オフ
デジタルアライメント	
キーストーン	
回転	0
ピンクッション / バレル	
左上コーナー	
右上コーナー	
左下コーナー	
右下コーナー	
リセット	
プランキング	

機能	説明
アスペクト比	<p>【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、投写画像のアスペクトを調整します。</p> <p><b>5:4:</b> 入力信号をアスペクト比 5:4 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 5:4 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>4:3:</b> 入力信号をアスペクト比 4:3 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 4:3 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>16:10:</b> 入力信号をアスペクト比 16:10 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 16:10 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>16:9:</b> 入力信号をアスペクト比 16:9 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 16:9 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>1.88:</b> 入力信号をアスペクト比 1.88:1 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 1.88:1 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>2.35:</b> 入力信号をアスペクト比 2.35:1 で投写します。  <b>オートモード</b>でアスペクト比 2.35:1 の画像が正しく投写されない場合に選択します。</p> <p><b>レターボックス:</b> レターボックス信号の画像は、画面に合わせて水平方向・垂直方向双方に均等に引き延ばされます。画像は上下の端が一部トリミングされるため表示されません。</p> <p><b>オート:</b> 画像は入力信号のアスペクト比で投写されます。  通常画像投写の際はこのモードを選択します。</p> <p><b>リアル:</b> 画像は入力信号の元解像度で投写されます。WUXGA 以下の解像度のコンピューター表示をキレイに投写するにはこのモードを選択します。</p>



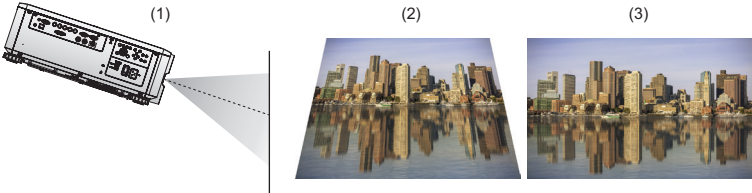
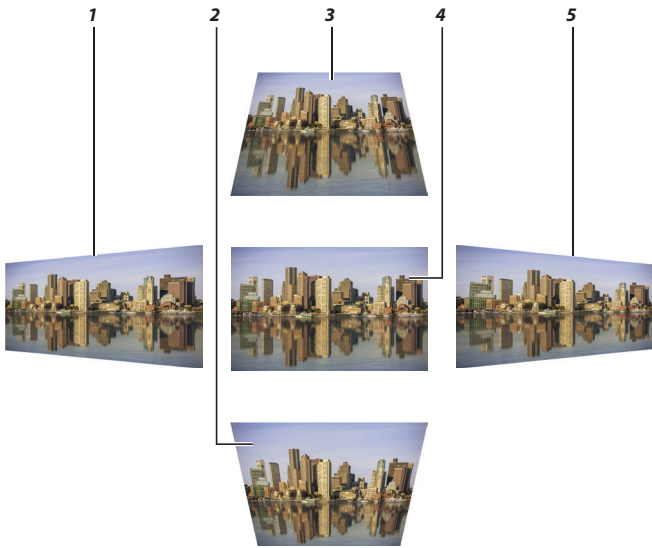
機能	説明
オーバースキャン(*1) (*2)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、映像周辺部の乱れを除去して投写します。 [ オフ ]、[ クロップ ]、[ ズーム ]
デジタルアライメント(*2)	【ENTER】ボタンを押して、[ デジタルアライメント ] メニューを開きます。詳しくは 59 ページの「 <a href="#">デジタルアライメントメニュー</a> 」を参照してください。

(\*1) コンポーネント入力時に、昔のテレビ信号等でアンダースキャン部分が映像として出力される場合があります。オーバースキャン設定を [ クロップ ] にすることで周辺部をカットして正しく表示できます。

(\*2) 3D 投写時には、本機能はグレーで表示され使用できません。また、3D 投写が ON になった時に、2D 投写の設定はリセット(0 へ変更) されます。






#### 注意

デジタルアライメント、キーストーン、回転、ピンクッション / バレル、4 コーナーの調整は同時に行えません。

機能	説明
<p>キーストーン</p>	<p>【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押して、投写の向きによる水平方向と垂直方向のゆがみを補正できます。</p> <p><b>キーストーンの例</b></p> <p>(1) プロジェクターが斜めに設置された場合、(2) 投写画像に歪みが発生しています。(3) キーストーンにより画像を補正します</p>  <ol style="list-style-type: none"> <li>右が長い投写画面の場合 プロジェクターがスクリーンに対して左に置かれています。 補正するには【▶（右）】ボタンを押しプラスの水平キーストーンを使用します。</li> <li>上が長い投写画面の場合 プロジェクターがスクリーンに対して低い位置に上向きで置かれています。 補正するには【▲（上）】ボタンを押しプラスの垂直キーストーンを使用します。</li> <li>下が長い投写画面の場合 プロジェクターがスクリーンに対して下向き角度で置かれています。 補正するには【▼（下）】ボタンを押しマイナスの垂直キーストーンを使用します。</li> <li>正常な投写画面の場合 プロジェクターがスクリーンに対して縦横とも直角に置かれています。補正は必要ありません。</li> <li>左が長い投写画面の場合 プロジェクターがスクリーンに対して右に置かれています。 補正するには【◀（左）】ボタンを押しマイナスの水平キーストーンを使用します。</li> </ol>  <p style="text-align: center;"><b>水平方向・垂直方法キーストーン補正</b></p>

**注意**

デジタルアライメント、キーストーン、回転、ピンクッション / バレル、4 コーナーの調整は同時に行えません。

機能	説明
回転	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、投影画面を回転し所望の回転位置に調整してください。</p>
ピンクッション / バレル	<p>【ENTER】ボタンを押して、[ ピンクッション / バレル ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押してピンクッション（糸巻き型）やバレル（樽型）の画面ゆがみを修正してください。</p> <p><b>上下方向の調整例</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p><b>左右方向の調整例</b></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
左上コーナー	<p>必要に応じて水平方向 / 垂直方向の補正を行ない、画像を長方形に調整します。【ENTER】ボタンを押して、[ 左上コーナー ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押してゆがみを修正してください。</p> <p><b>左上コーナーの例</b></p> <div style="text-align: center;">  <p><b>左上コーナー補正</b></p> </div>
右上コーナー	<p>【ENTER】ボタンを押して、[ 右上コーナー ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押してゆがみを修正してください。</p>
左下コーナー	<p>【ENTER】ボタンを押して、[ 左下コーナー ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押してゆがみを修正してください。</p>

#### 注意

デジタルアライメント、キーストーン、回転、ピンクッション / バレル、4 コーナーの調整は同時に行えません。




機能	説明
右下コーナー	【ENTER】ボタンを押して、[右下コーナー]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押してゆがみを修正してください。
リセット	【ENTER】ボタンを押して、元の位置に戻します。
ブランキング	【ENTER】ボタンを押して、[ブランキング]メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押して画像表示範囲を直してください。【◀/▶（左 / 右）】を押してリセットが選択でき、【ENTER】を押して設定をデフォルト値に戻せます。

#### 注意

デジタルアライメント、キーストーン、回転、ピンクッション / バレル、4 コーナーの調整は同時に行えません。

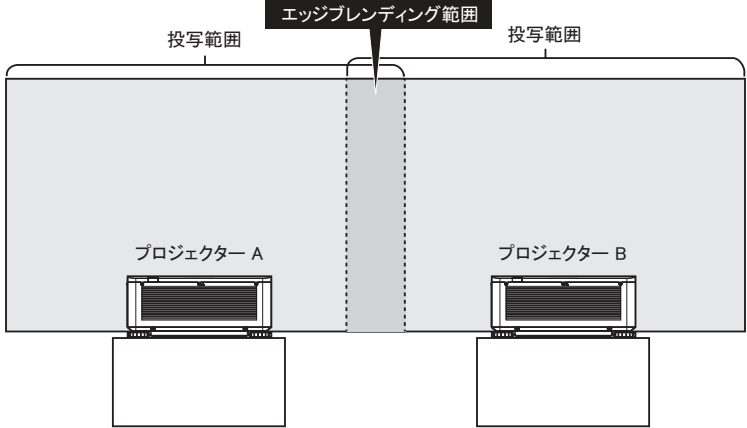
## デジタルアライメントメニュー

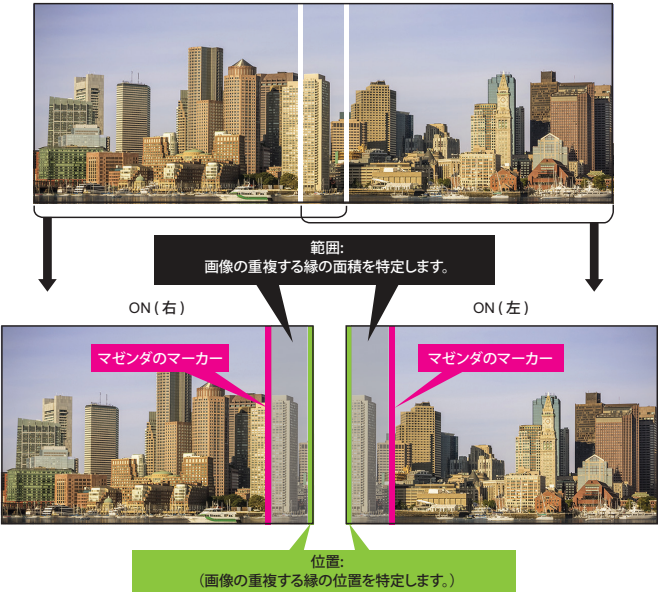
HDMI			
表示	映像調整	レーザー	調整
制御			
サービス			
デジタルアライメント			
デジタルズーム	<	0	>
デジタルパン		0	
デジタルスキャン		0	
リセット			

機能	説明
デジタルズーム	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、投写画像を拡大します。</p> 
デジタルパン	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、投写画像を水平方向に移動します。この機能は画像を拡大した場合のみ使用できます。</p> 
デジタルスキャン	<p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、投写画像を垂直方向に移動します。この機能は画像を拡大した場合のみ使用できます。</p> 
リセット	<p>【ENTER】ボタンを押して、元のサイズに戻します。</p>

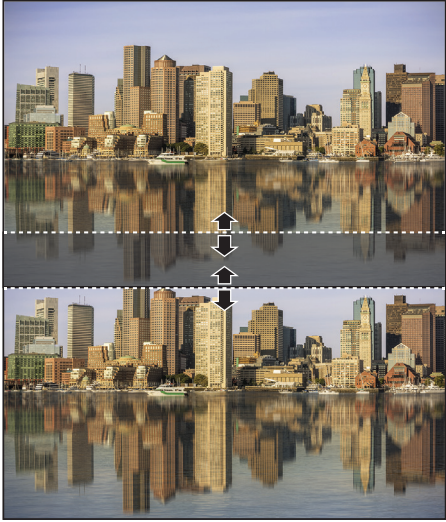

## ブレンディングメニュー

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	
サービス	
ブレンディング	
ブレンディング	オフ
調整ライン表示	オフ
ブレンディング幅	
黒レベル	
リセット	

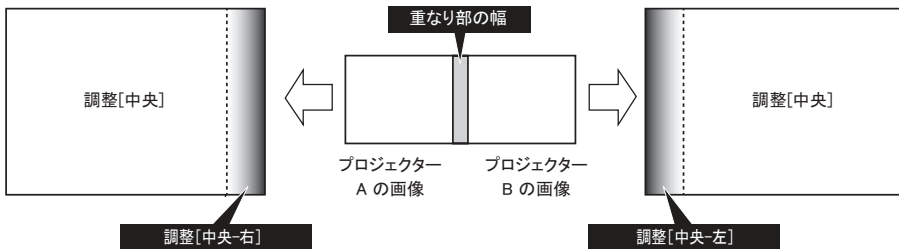
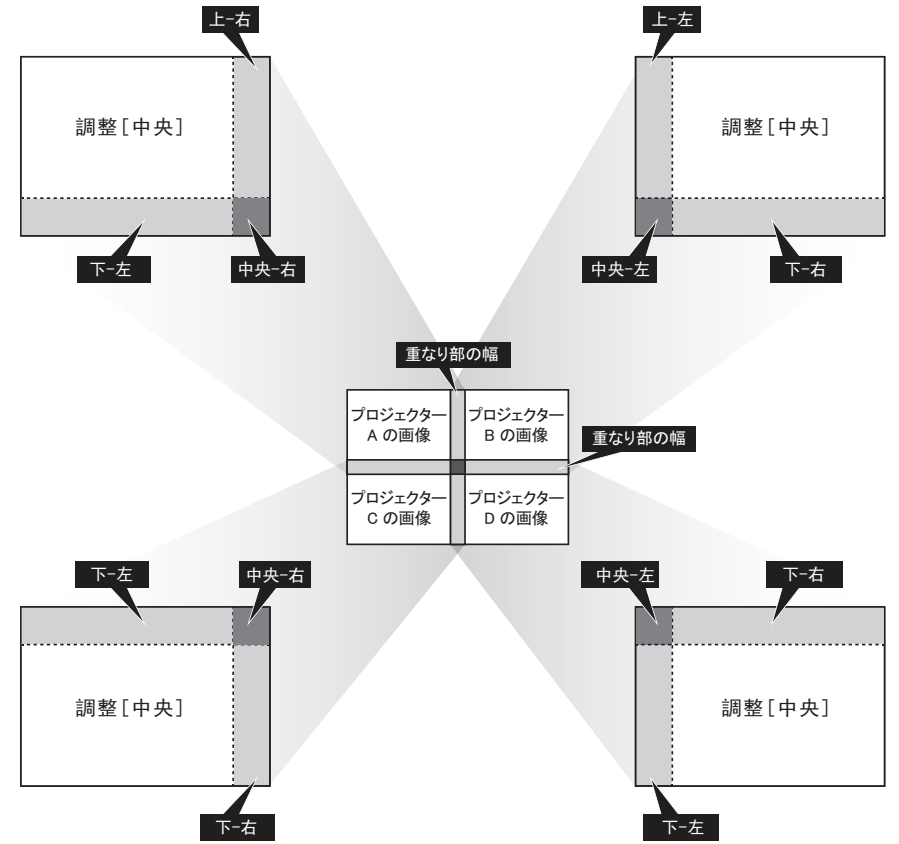
機能	説明
ブレンディング	<p>エッジブレンディング機能を使用して複数のプロジェクターを組み合わせることにより、さらに大きなスクリーンに高解像度映像を投写できます。</p> <p>【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押してエッジブレンディング機能を有効 / 無効にしてください。</p> <p><b>左右隣り合わせにプロジェクターを 2 台配置</b></p> 

機能	説明
調整ライン表示	<p>重複部分をより鮮明に表示して、プロジェクターの配列の調整をします。  【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して調整パターンの機能を有効 / 無効にしてください。</p> 

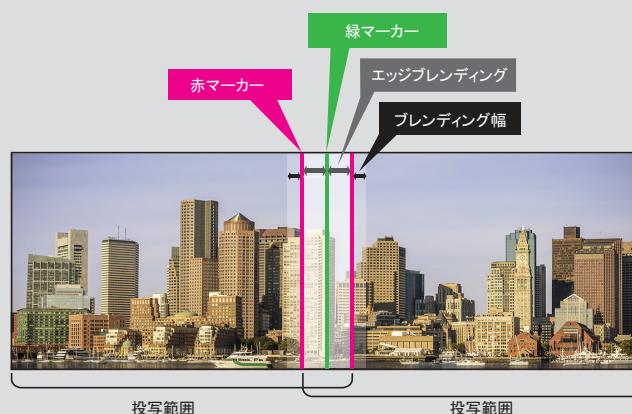


機能	説明
ブレンディング幅	<p>【ENTER】ボタンを押して、[ ブレンディング幅 ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押して設定を調整してください。</p> <p>プロジェクターを2台隣り合わせに配置した際の黒レベルを調整します。</p> <p><b>上下方向の調整例</b></p>  <p><b>左右方向の調整例</b></p> 



機能	説明
黒レベル	<p>【ENTER】ボタンを押して、[ 黒レベル ] メニューを開きます。【▲、▼、◀、▶（上下左右）】を押して設定を調整してください。</p> <p><b>プロジェクターを 2 台並べて設置したときの黒レベルの調整</b></p>  <p><b>プロジェクターを 4 台並べて設置したときの黒レベルの調整</b> (角に合わせたブレンディング)</p> 
	<p><b>リセット</b></p> <p>【ENTER】ボタンを押して、元の位置に戻します。</p>

## 注意



## ジオメトリとエッジブレンディングの使用可能な組み合わせ

ジオメトリとエッジブレンディングの設定を組み合わせ使用できない機能があります。可能な組み合わせは下表の通りです：

			ワープ					ブレンディング	
			キーストーン	回転	ピンクッション / バレル	4 コーナー	ブランキング	白レベル	黒レベル
								上 / 下または左 / 右のみ	調整
ワープ	キーストーン			X	X	X	O	O	O
	回転		X		X	X	O	O	O
	ピンクッション / バレル		X	X		X	O	O	O
	4 コーナー		X	X	X		O	O	O
	ブランキング		O	O	O	O		O	O
ブレンディング	白レベル	上 / 下または左 / 右のみ	O	O	O	O	O		O
	黒レベル	調整	O	O	O	O	O	O	

O：組み合わせ可能

X：組み合わせ不可能

## 制御メニュー

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	サービス
ネットワーク	
自動電源オフ	オフ
ダイレクト電源オン	オフ
起動時ロゴ	オン
トリガー	オフ
自動検索	オフ
ダイナミックブラック	オフ
言語	
Control ID	

機能	説明
ネットワーク	【ENTER】ボタンを押して、[ ネットワーク ] メニューを開きます。詳しくは 66 ページの「 <a href="#">ネットワークメニュー</a> 」を参照してください。
オートパワーオフ	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、15 分以上信号が受信されない場合にプロジェクターをオフにするかどうかを指定します。
ダイレクトパワーオン	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、AC 電源が接続された場合にプロジェクターをオンにするかどうかを指定します。
起動時ロゴ	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、起動ロゴのオンとオフを切り替えます。
トリガー	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、プロジェクターの電源がオンの場合にスクリーンをオンにするかオフにするかを選択します。
オートサーチ	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、オートサーチのオンとオフを切り替えます。
ダイナミックブラック(*)	【◀/▶（左 / 右）】ボタンを押して、ダイナミックブラック機能のオンとオフを切り替えます。映像の輝度情報を基に、自動的に光量を調整し、明るいシーンや暗いシーン毎にコントラストを最適化します。 映像が非常に暗い場合、数秒でレーザー出力が OFF になります。
言語	【ENTER】ボタンを押して、[ 言語 ] メニューを開きます。【▲/▼（上 / 下）】ボタンを押して、OSD メニューの言語を選択します。English、Français、Español、Deutsch、Português、Nederlands、Italiano、русский、简体中文、繁體中文、한국어、日本語 です。
Control ID	【ENTER】ボタンを押して、[Control ID] メニューを開きます。詳しくは 75 ページの「 <a href="#">Control ID メニュー</a> 」を参照してください。

(\*) 入力信号から明るさデータに基づいて自動的にレーザー出力を調節することで、各々の場面の明瞭さに応じて、コントラストを最適化します。

### 注意

ダイナミックブラックをオンに設定した場合、暗いコンテンツを投写した際に画面が消えることがあります。暗いコンテンツを長時間投写する際はダイナミックブラックをオフにすることを推奨します。

## ネットワークメニュー

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	サービス
ネットワーク	
ネットワークモード	< プロジェクター制御 >
待機電源	オフ
DHCP	オフ
IP	192.168.0.100
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	0.0.0.0
DNS	0.0.0.0
MAC	00:18:23:2c:eb:8a

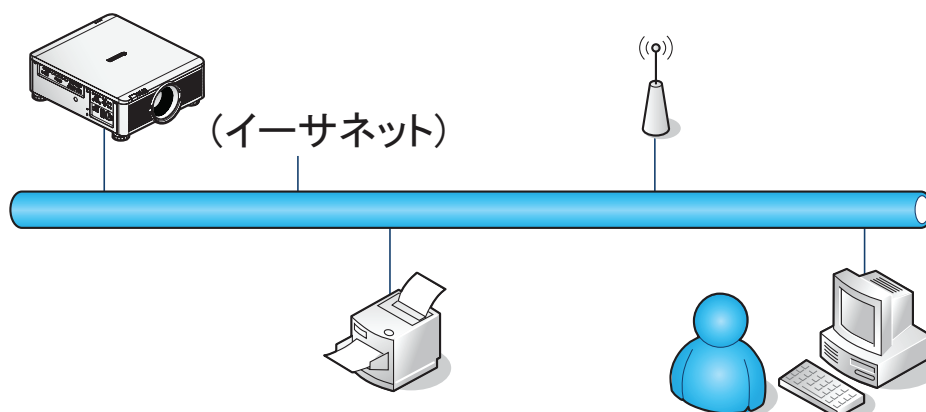
機能	説明																																
ネットワークモード	【ENTER】ボタンを押してネットワーク制御が選べます。 [ プロジェクター制御 ]、[ サービス ]																																
待機電源(*1)	【ENTER】ボタンを押してスタンバイ電源をオン / オフできます。																																
DHCP (*2)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、DHCP 設定のオンとオフを切り替えます。																																
IP	<p>【ENTER】を押して設定を調整してください。【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押してアドレスの桁を選択し、【▲/▼ (上 / 下)】ボタンを押し各数字を変更します。</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">HDMI</td></tr> <tr> <td>表示</td><td>映像調整</td></tr> <tr> <td>レーザー</td><td>調整</td></tr> <tr> <td>制御</td><td>サービス</td></tr> <tr> <td colspan="2">ネットワーク</td></tr> <tr> <td>ネットワークモード</td><td>プロジェクター制御</td></tr> <tr> <td>待機電源</td><td>オフ</td></tr> <tr> <td>DHCP</td><td>オフ</td></tr> <tr> <td>IP</td><td>&lt; 92.168.0.100 &gt;</td></tr> <tr> <td>サブネットマスク</td><td>255.255.255.0</td></tr> <tr> <td>ゲートウェイ</td><td>0.0.0.0</td></tr> <tr> <td>DNS</td><td>0.0.0.0</td></tr> <tr> <td>MAC</td><td>00:18:23:2c:eb:8a</td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td></tr> </table>	HDMI		表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス	ネットワーク		ネットワークモード	プロジェクター制御	待機電源	オフ	DHCP	オフ	IP	< 92.168.0.100 >	サブネットマスク	255.255.255.0	ゲートウェイ	0.0.0.0	DNS	0.0.0.0	MAC	00:18:23:2c:eb:8a						
HDMI																																	
表示	映像調整																																
レーザー	調整																																
制御	サービス																																
ネットワーク																																	
ネットワークモード	プロジェクター制御																																
待機電源	オフ																																
DHCP	オフ																																
IP	< 92.168.0.100 >																																
サブネットマスク	255.255.255.0																																
ゲートウェイ	0.0.0.0																																
DNS	0.0.0.0																																
MAC	00:18:23:2c:eb:8a																																
サブネットマスク	サブネットマスクを設定します。入力方法は IP アドレスと同様です。																																
ゲートウェイ	ゲートウェイを設定します。入力方法は IP アドレスと同様です。																																
DNS	【ENTER】を押して DNS の設定をします。入力方法は IP アドレスと同じです。																																
MAC	現在の MAC アドレスが表示されます。																																

(\*1) スタンバイ中に LAN または HDBaseT を通してプロジェクターを制御するときは、[ オン ] にセットしてください。また、スタンバイ中に制御できるコマンドは、[ Power On ] のみです。

(\*2) [ ネットワークモード ] が [ プロジェクター制御 ] のときのみ使用できます。

プロジェクターの操作性を高めるために、本機には様々なネットワークメニュー機能およびリモート管理機能が搭載されています。

本機の LAN/RJ45 機能では、ネットワークメニュー経由でプロジェクターの電源オン / オフ、明るさ、コントラストなどを設定可能です。また、ビデオソース、などといったプロジェクターステータス情報を操作することもできます。



本機の LAN/RJ45 ポートに接続されたコンピューターやその他の機器を使用してプロジェクターを操作することができます。

有線 LAN ターミナル機能有線 LAN に接続されたコンピューターからプロジェクターを操作したり動作をモニターしたりすることもできます。対応する Crestron/AMX (Device Discovery) /Extron コントロールボックスを使用することで、ネットワークメニュー上の複数のプロジェクターを管理したり、コンピューターのブラウザ画面でプロジェクターの管理を実行することができます。

- Crestron は、米国 Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は、米国 Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は、米国 AMX LLC の登録商標です。

#### 注意

ネットワークを介して電源 ON コマンドを送信すると、8 秒以上経過してから実行されます。

#### 対応外部機器

本機は Crestron Electronics コントローラーおよび対応ソフトウェア (例: RoomView®) のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

本機は AMX (Device Discovery) に対応しています。

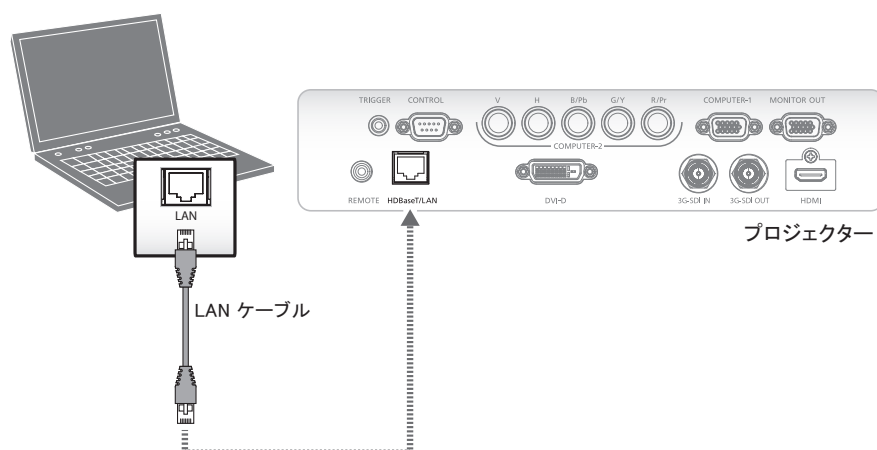
<http://www.amx.com/>

本機は Extron 製品による参照に対応しています。

<http://www.extron.com/>

## LAN RJ45

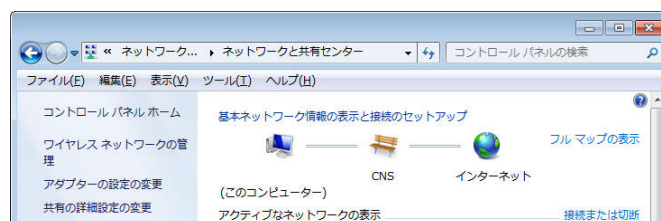
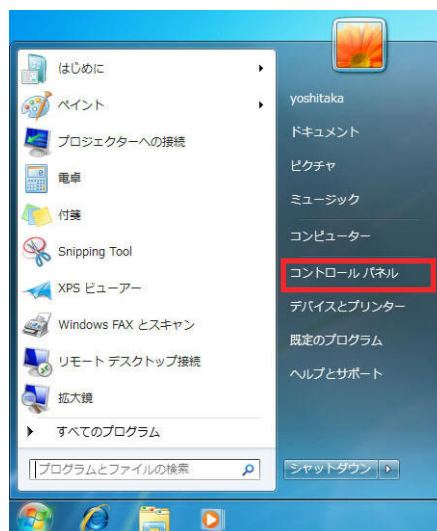
1. LAN ケーブルをプロジェクターとコンピューターの RJ45 ポートに接続してください。



互換性のあるブラウザは以下の通りです。

Adobe Flash Player 9.0 もしくはそれ以降に対応している Microsoft Internet Explorer 9。

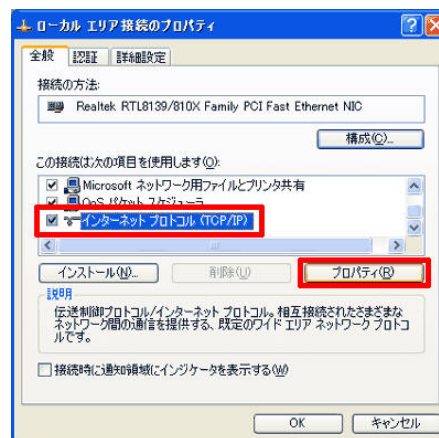
2. コンピューターの [ スタートメニュー ] で [ コントロールパネル ] を開き、[ ネットワークメニューとインターネット ] をクリックします。



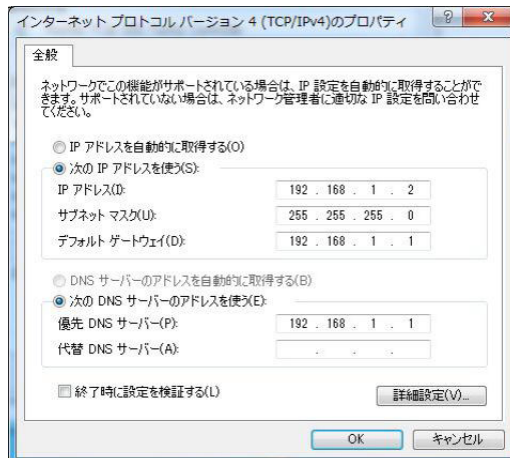
3. [ ローカルエリア接続 ] を右クリックして [ プロパティ ] を開きます。



4. [ プロパティ ] 画面で [ ネットワーキング ] タブを選択し、[ インターネットプロトコル(TCP/IP) ] を選びます。  
5. [ プロパティ ] をクリックします。

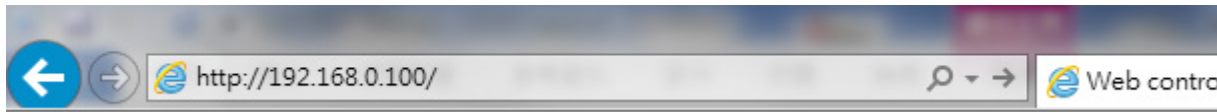


6. [ 次の IP アドレスを使う ] を選択し、IP アドレスとサブネットマスクを設定します。設定が終わったら [ OK ] ボタンをクリックします。



7. プロジェクターの【Menu】ボタンを押してください。  
8. [ コントロール ] から [ ネットワークメニュー ] を選択します。  
9. [ ネットワークメニュー ] で次の情報を入力します。
- IP アドレス: 192.168.0.100
  - サブネットマスク: 255.255.255.0
  - ゲートウェイ: 0.0.0.0
  - DHCP : オフ

10. 【OK】を押して設定を保存します。
11. インターネットブラウザ(Adobe Flash Player 9.0 以上がインストールされた Microsoft Internet Explorer など)を起動します。
12. ブラウザのアドレスバーに次の IP アドレスを入力します。192.168.0.100。
13. 【OK】を押します。



これでプロジェクターをリモート管理する準備が整いました。LAN/RJ45 機能画面には以下の情報が表示されます。

Web ページの [ ツール ] タブに表示される [ ネットワークメニュー ] 画面で設定できる最大入力可能文字数は以下の表のとおりです。(スペースおよびその他の句読点を含みます。)

機能	項目	最大入力可能文字数
Crestron Control	IP アドレス	15
	IP ID	3
	ポート	5



機能	項目	最大入力可能文字数
プロジェクター	プロジェクター名	25
	Location	25
	Assigned To	25
ネットワーク メニューコンフィ グレーション	DHCP (有効)	(N/A)
	IP アドレス	15
	サブネットマスク	15
	デフォルトゲートウェイ	15
	DNS サーバー	15
ユーザーパスワード	有効	(N/A)
	新パスワード	18
	OK	18
管理者パスワード	有効	(N/A)
	新パスワード	18
	OK	18

詳しくは <http://www.crestron.com/> を参照してください。

---

## RS232 Telnet 機能

専用 RS232 コマンド操作でプロジェクターを RS232 インターフェイスに「ハイパーターミナル」通信を用いて接続する他にも、LAN/RJ45 インターフェイス経由で「RS232 TELENET」接続するコマンド操作方法があります。

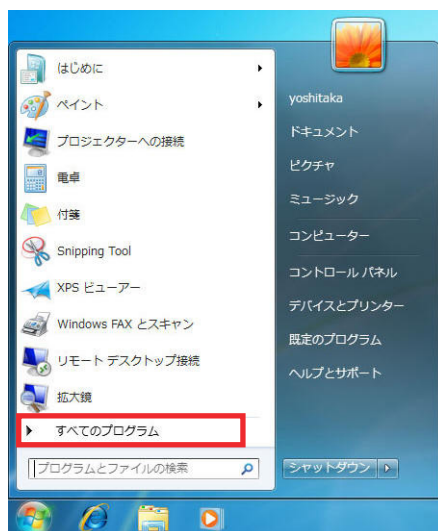
### 「RS232 Telnet」クイックスタートガイド

OSD メニューから、プロジェクターの IP アドレスを確認します。

コンピューターのブラウザからプロジェクターのページにアクセスできることを確認してください。

「TELNET」機能がフィルターされている場合には、コンピューターの「Windows ファイアウォール」設定から無効化してください。

[ スタート ] から [ すべてのプログラム ] を選択し、[ アクセサリー ] から [ コマンドプロンプト ] をクリックします。



コマンドプロンプトに以下のコマンドを入力します。

telnet ttt.xxx.yyy.zzz 7000 ([Enter] キーを押します)

(ttt.xxx.yyy.zzz: プロジェクターの IP アドレスを入力します)

Telnet 接続が起動すると、RS232 コマンド入力 + 【Enter】キーで RS232 コマンドを送信することができます。

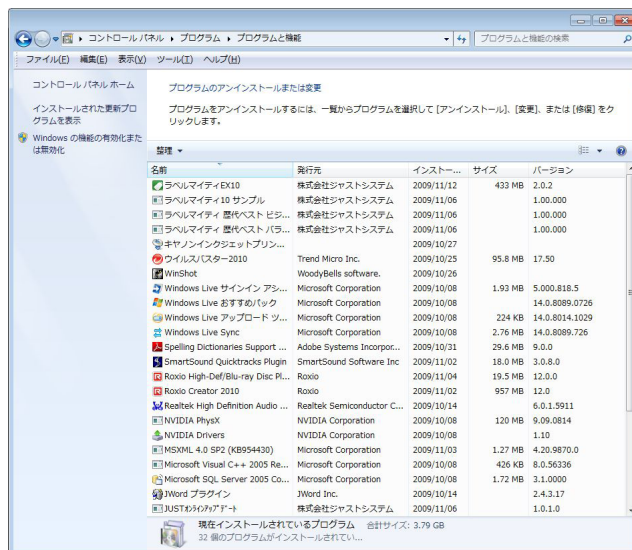
## Windows Vista/7 で TELNET を有効にする

Windows VISTA の通常インストールには、「TELNET」機能が含まれていません。この機能は、「Windows の機能を有効化または無効化する」を使って有効化することができます。

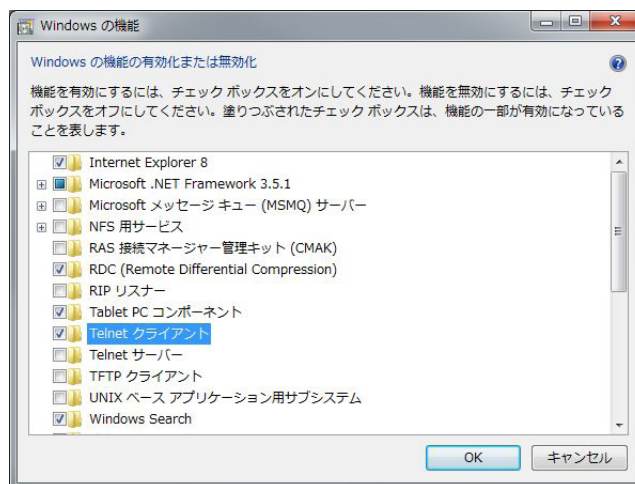
1. Windows VISTA で [ コントロールパネル ] を開きます。



2. [ プログラム ] をクリックします。



3. [Windows の機能を有効化または無効化する] を開きます。
4. [Telnet クライアント] をチェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



---

## 「RS232 by TELNET」の仕様一覧

- Telnet : TCP
- Telnet ポート: 7000
- Telnet ユーティリティ: Windows「TELNET.exe」(コンソールモード)
- 通常 RS232 by Telnet 接続切断: TELNET 接続後に Windows Telnet ユーティリティを閉じる
- Telnet-Control 制限事項 1 : プロジェクター 1 台あたりに 1 つの Telnet-Control 接続のみ。  
Telnet-Control 制限事項 2 : Telnet-Control アプリケーションの連続ネットワークメニューペイロードは 50 バイト以下。  
Telnet-Control 制限事項 3 : Telnet-Control では、各 RS232 コマンドあたりの最大サイズは 26 バイト。  
Telnet-Control 制限事項 4 : 各 RS232 コマンド間の最小遅延は 200 (ms)。  
(\* Windows の内蔵「TELNET.exe」ユーティリティでは、[Enter] を押すと「キャリッジリターン」「改行」が出力されます。)

## Control ID メニュー



機能	説明
Control ID Enable (*)	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、Control ID のオンとオフを切り替えます。
Control ID Number	【◀/▶ (左 / 右)】ボタンを押して、プロジェクターのコントロール番号を設定します。 この機能は、[Control ID Enable] が [ オン ] に設定されている場合にのみ有効です。 <div>Control ID Number 10</div>
Remote ID Number	ひとつのリモコンで複数台のプロジェクターを同時に使用するとき、操作するプロジェクターを使い分けのためリモコンのチャンネル設定をします。

(\*) 複数のプロジェクターを独立して操作するには、本 ID 機能を設定してください。

- 「Control ID」は、プロジェクター用です。
- 「Remote ID」は、リモコン用です。21 ページを参照してください。

## サービスメニュー

LX-MU800Z

HDMI					
表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス
モデル				LX-MU800Z	
シリアル番号				DDE300001A	
ソフトウェアバージョン				MM01-SD07-FD19	
ソフトウェアバージョン 2				LD06-22-RP02-3092	
Control / Remote ID				X / X	
入力ソース				HDMI	
信号形式				1920x1200 60Hz RB	
ピクセルクロック				154.00 MHz	
H/V リフレッシュレート				74.038 KHz / 59.95 Hz	
レーザー使用時間				000100 HRS	
温度情報					
ファクトリーリセット					

機能	説明
モデル	プロジェクターの型名を表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。
ソフトウェアバージョン 1	プロジェクターにインストールされているソフトウェア（パート 1）のバージョンを表示します。
ソフトウェアバージョン 2	プロジェクターにインストールされているソフトウェア（パート 2）のバージョンを表示します。
Control / Remote ID	Control ID/Remote ID を表示します。
入力ソース	接続されている入力信号を表示します。
信号形式	接続されている入力信号の信号方式を表示します。
ピクセルクロック	接続されている入力信号のクロック周波数を表示します。
H / V リフレッシュレート	投写イメージの H/V リフレッシュレートを表示します。
レーザー使用時間	使用時間の累積が表示されます。
温度情報	【ENTER】ボタンを押して、[ 温度情報 ] メニューを開きます。詳しくは 78 ページの「 <a href="#">温度情報メニュー</a> 」を参照してください。
工場出荷設定	<p>【ENTER】ボタンを押して、OSD 設定を初期化します。</p> <p><b>注意：</b> 下記の項目は工場出荷設定時にリセットされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高地モード</li> <li>■ 投写モード</li> <li>■ センターレンズ</li> <li>■ ネットワーク</li> <li>■ 言語</li> <li>■ レーザー使用時間</li> </ul>

HDMI					
表示	映像調整	レーザー	調整	制御	サービス
モデル				LX-MU600Z	
シリアル番号				DEE300001A	
ソフトウェアバージョン				MM01-SD07-FD19	
ソフトウェアバージョン 2				LD06-22-RP02-3092	
Control / Remote ID				X / X	
入力ソース				HDMI	
信号形式				1920x1200 60Hz RB	
ピクセルクロック				154.00 MHz	
H/V リフレッシュレート				74.038 KHz / 59.95 Hz	
レーザー使用時間				000100 HRS	
温度情報					
ファクトリーリセット					

機能	説明
モデル	プロジェクターの型名を表示します。
シリアル番号	プロジェクターのシリアル番号を表示します。
ソフトウェアバージョン 1	プロジェクターにインストールされているソフトウェア(パート 1) のバージョンを表示します。
ソフトウェアバージョン 2	プロジェクターにインストールされているソフトウェア(パート 2) のバージョンを表示します。
Control / Remote ID	Control ID/Remote ID を表示します。
入力ソース	接続されている入力信号を表示します。
信号形式	接続されている入力信号の信号方式を表示します。
ピクセルクロック	接続されている入力信号のクロック周波数を表示します。
H / V リフレッシュレート	投写イメージの H/V リフレッシュレートを表示します。
レーザー使用時間	使用時間の累積が表示されます。
温度情報	【ENTER】ボタンを押して、[ 温度情報 ] メニューを開きます。詳しくは 78 ページの「 <a href="#">温度情報メニュー</a> 」を参照してください。
工場出荷設定	<p>【ENTER】ボタンを押して、OSD 設定を初期化します。</p> <p><b>注意：</b></p> <p>下記の項目は工場出荷設定時にリセットされません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高地モード</li> <li>■ 投写モード</li> <li>■ センターレンズ</li> <li>■ ネットワーク</li> <li>■ 言語</li> <li>■ レーザー使用時間</li> </ul>

## 温度情報メニュー

HDMI	
表示	映像調整
レーザー	調整
制御	サービス
温度情報	
吸気温度	25 / 25 ( C )
DMD 温度	32 ( C )
レーザー温度	33 / 30 ( C )
ウォーターポンプ (RPM)	3900
ファン1-3スピード	1400 / 1400 / 1400
ファン4-6スピード	1400 / 1200 / 1200
ファン7-9スピード	1200 / 1400 / 1400
ファン10-12スピード	0 / 3000 / 3000
ファン13-15スピード	3000 / 3000 / 3000
ファン16スピード	3000

機能	説明
吸気温度	吸気温度が表示されます。
DMD 温度	DMD 温度が表示されます。
レーザー温度	レーザーの温度が表示されます。
ウォーターポンプ (RPM)	ウォーターポンプの回転数が表示されます。
ファン 1-3 スピード	ファン 1-3 のスピードが表示されます。
ファン 4-6 スピード	ファン 4-6 のスピードが表示されます。
ファン 7-9 スピード	ファン 7-9 のスピードが表示されます。
ファン 10-12 スピード	ファン 10-12 のスピードが表示されます。
ファン 13-15 スピード	ファン 13-15 のスピードが表示されます。
ファン 16 スピード	ファン 16 のスピードが表示されます。



# メンテナンスおよびセキュリティー

## レンズの交換

必ず、本製品用の専用レンズを取り付けてご使用ください。

専用レンズにはズームリング部に以下のような記載があります。

詳しくは 98 ページの「[レンズシリーズ](#)」を参照してください。

DLP PROJECTION LENS Throw Ratio = (例) 1.73-2.27:1 (WUXGA)

レンズユニットの取り付け、取り外しはお客様自身で行わず、必ず設置業者または販売店に依頼してください。

## プロジェクターのお手入れ

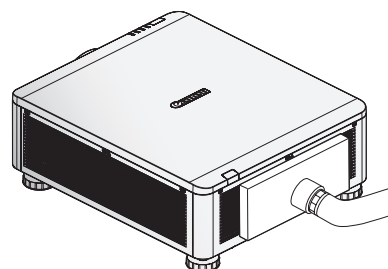
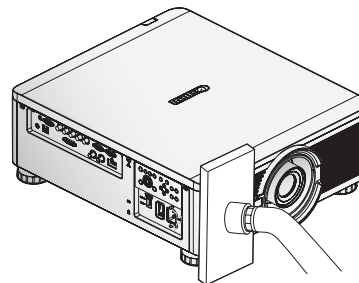
プロジェクターの正常な動作のために、ほこりや汚れを取り除いてください。

### 警告：

電源を切ってから電源プラグをコンセントから抜いてください。そうしないと、

- 予想外の投写光で目を傷めます。
- 感電の原因となります。

1. お手入れの前にプロジェクターの電源を切ります。
2. 掃除機で内部のホコリを吸い取ります。
3. プロジェクターに付いたホコリは、乾いた軟らかい布で拭き取ってください。



### 注意

プロジェクター本体をきれいにしたあとに電源を入れてください。

## レンズのお手入れ

カメラ用に市販されている光学レンズクリーナーを使用してください。プロジェクターのレンズの清掃については、以下を参照してください。

### 注意

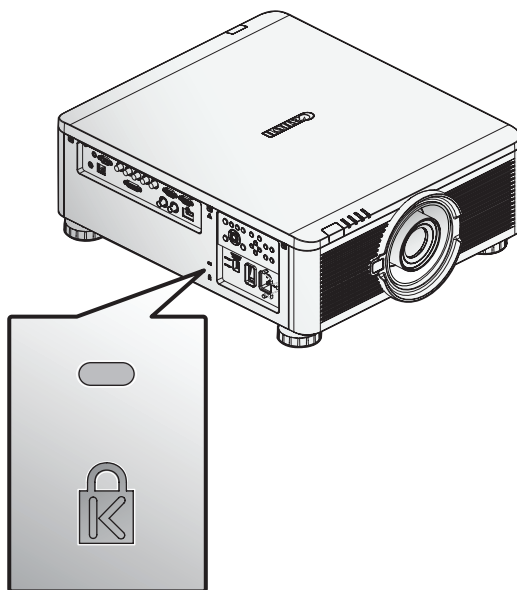
1. 研磨剤や溶剤などを使用しないでください。
2. 変色や色あせの原因になりますので、プロジェクター本体にクリーナーを付着させないよう注意してください。

1. 清掃前にプロジェクターの電源を切ってください。
2. 少量の光学レンズクリーナーを柔らかい布に塗布します。  
(クリーナーをレンズに直接付着させないでください。)
3. レンズ表面に円を描くように軽く拭き取ります。

---

## Kensington® ロックの使用

盗難等の可能性がある場合には、プロジェクター本体の Kensington ポートに盗難防止ワイヤーを取り付け、家具などに固定することができます。



### 注意

取り付けが可能な Kensington ケーブルなどについては、販売店にお問い合わせください。

# 天井取り付け金具の組み立て方

本製品は、プロジェクターを天井から吊り下げて使用するための設置器具です。天井取り付け治具を組み立てて取り付ける際には、次の手順で行ってください。

## 部品の構成

天吊り金具 品番：RS-CL15 別売品

### 警告

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。火災や感電またはケガの原因になります。



注 意

- 取り付け作業は足場の安全を確保してから行ってください。
- プロジェクターの電源プラグやコネクターは、根元まで確実に差し込んでください。また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
- 天吊り金具のねじは確実に締め、ゆるめたり取り外したりしないでください。
- プロジェクターの投写の調整中は強い光が出ていますので、レンズをのぞかないでください。目を傷める恐れがあります。
- プロジェクターの動作中に、レンズの前に物をおかないでください。



禁 止

### 注意

設置および取り扱い上、以下の点にご注意ください。

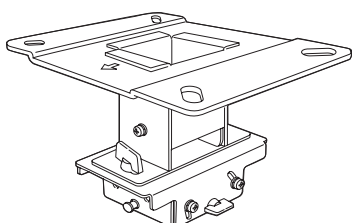


注 意

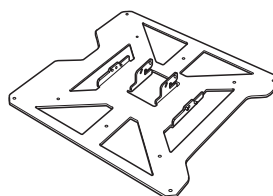
- 設置工事は必ず設置業者または販売店に依頼してください。工事の不備により、事故の原因となることがあります。

天吊り金具 RS-CL15 は、LX-MU800Z/LX-MU600Z で使用できます。

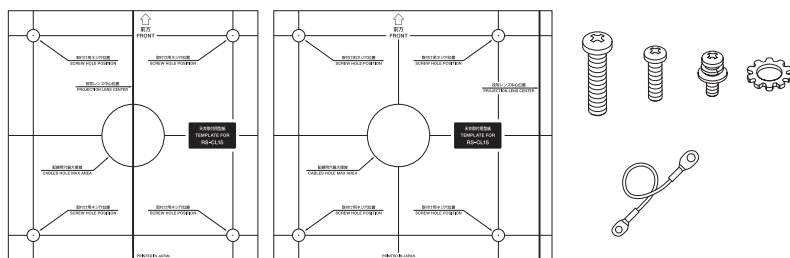
## 同梱品



天井取り付け金具および連結金具 \*



本体取り付け金具



#### RS-CL15

M6 ねじ(25 mm) : 4 本

M5 ねじ(12 mm) : 4 本

M4 ねじ(15 mm) : 10 本

落下防止ワイヤー: 2 本

ワッシャー(歯付座金): 1 枚

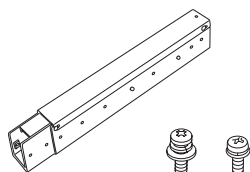
組立・設置説明書(冊子): 1 冊

天井取り付け穴用テンプレート: 2 枚

\* 作業工程の中で天井取り付け金具と連結金具はいったん分離させる必要があります。

#### 延長用パイプ RS-CL08/RS-CL09 (別売)

天井の高さに合わせて、別売の延長用パイプ(RS-CL08/RS-CL09)をご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。



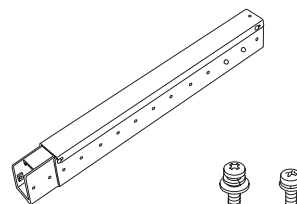
#### RS-CL08

外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー

M5 ねじ(12 mm) : 4 本

M3 ねじ(10 mm) : 1 本

延長量は 35 ~ 55 cm で、5 cm ごとに調整できます。



#### RS-CL09

外側 / 内側パイプ、外側 / 内側カバー

M5 ねじ(12 mm) : 4 本

M3 ねじ(10 mm) : 1 本

延長量は 55 ~ 95 cm で、5 cm ごとに調整できます。

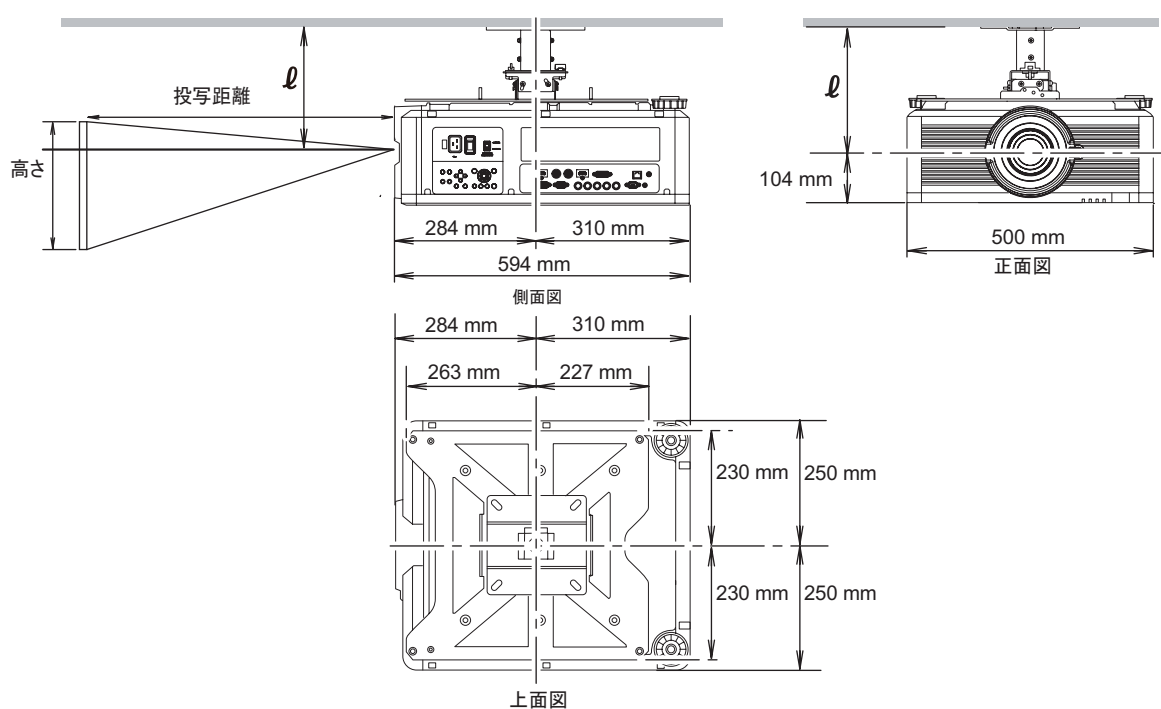
## 取り付け位置

プロジェクターはスクリーンの正面に設置してください。ただし、レンズシフトを使って画面の位置を補正することができます。

### 注意

- 設置の前に必ず天井の強度を確認してください。設置部分の天井は、プロジェクターと天吊り金具（および延長パイプ）の質量を支える十分な強度が必要です。天井が強度不足のときは、十分な補強を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。
- 取り付け作業は2人以上で行い、落下、指はさみなどに十分注意して作業を行ってください。
- 地震や振動などによる落下を防止するため、設置の際はワイヤーなどによる落下防止の対策を行ってください。プロジェクターが落下しケガの原因となることがあります。
- プロジェクターの吸気口から壁までは 50 cm 以上、排気口から壁までは 70 cm 以上離して設置してください。排気の影響で故障の原因となることがあります。

## 取り付け寸法

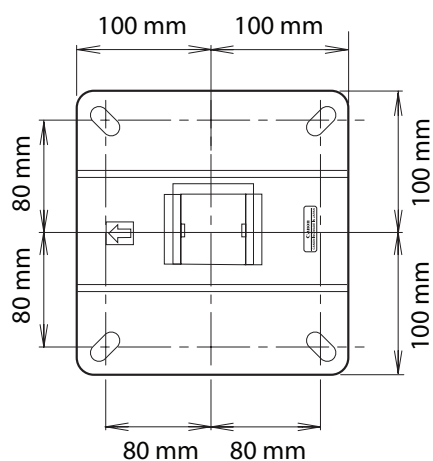


## 天井からレンズ中心までの距離( $\ell$ )

RS-CL15	RS-CL08 を使用	RS-CL09 を使用
26.2 cm	61.2 cm ~ 81.2 cm	81.2 cm ~ 121.2 cm

スクリーンの寸法や投写の距離などのより詳細な情報は、95 ページの「寸法図」を参照してください。

## 天井取り付け金具



### 組み立てと設置

#### 普通の天井への取り付け

##### 準備:

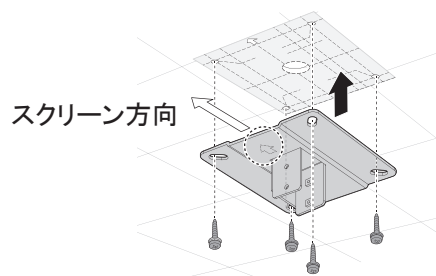
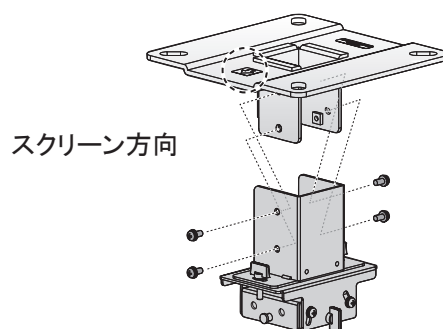
連結金具の M5 ねじ(A) 4 本を外し、天井取り付け金具と連結金具を分離します。

1. 天井取り付け金具の固定用とケーブル類の配線用の穴を開けます。

##### 注意

- ご使用のプロジェクターにより、設置位置が異なります。必ずお使いのプロジェクターにあったテンプレート紙(A)をご使用ください。
- 穴の位置を決めるときは、付属のテンプレート紙(A)をご使用ください。
- テンプレート紙(A) にはスクリーンの方向が記載されています。

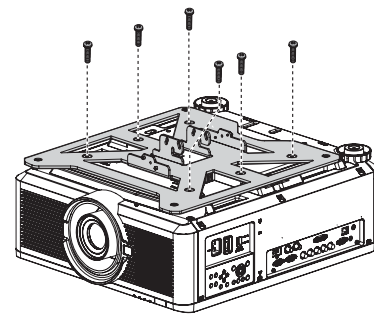
2. 金具の矢印をスクリーンに向け、M13 ねじ 4 本で天井に固定します。
  - 金具の取り付け前にテンプレート紙(A) ははがしてください。
  - M13 ねじは同梱していません。天井の構造に適したねじをご用意ください。



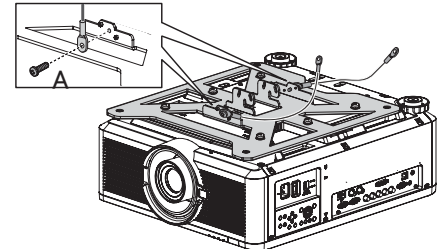
3. プロジェクターの底面を上にし、前面の調整脚 2 本を外します。
4. 本体取り付け金具のねじ取り付け部 6 箇所を付属の M4 ねじで固定します。

#### 注意

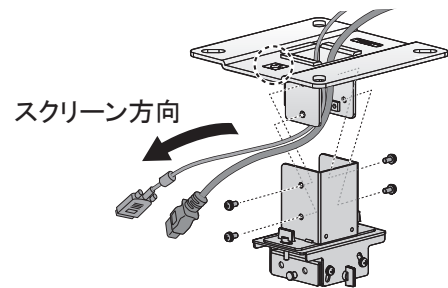
- プロジェクター前面の取り付けは、調整脚を外してご使用ください。
- 取り外した調整脚は、紛失しないよう保管してください。



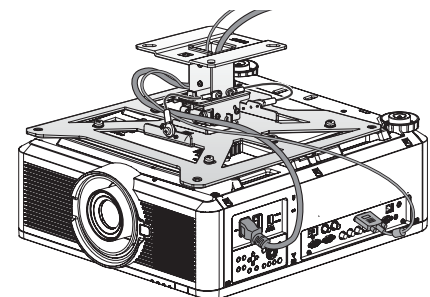
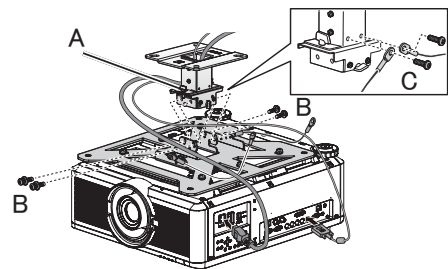
5. 落下防止ワイヤーのターミナル金具を本体取り付け金具の (A) の位置に付属の M4 ねじで固定します。  
ねじは、緩みのないようにしっかり締め付け固定してください。



6. 天井の穴からケーブル類を出す。
  - 図のように天井取り付け金具の穴からケーブル類を出します。
  - ケーブル類が太い場合、天井取り付け金具の穴とは別の箇所から穴をあけてケーブルを通してください。



7. 準備のときに外した M5 ねじ(A) 4 本で固定します。
8. 連結金具の突起(A) に引っ掛け、同梱の M5 ねじ(B) 4 本で仮止めします
9. 落下防止ワイヤーのもう一方のターミナル金具を連結金具(C) に留め、連結金具のワイヤー取り付け部に M4 ねじで固定します。
  - ケーブル類を引き出してください。
  - ねじ(B) は 89 ページの「投写角度の調整」を参照してください、しっかり締めて固定してください。
10. プロジェクターにケーブル類を接続します。  
設置が終わったら、投写角度を調整してください。(P.89)

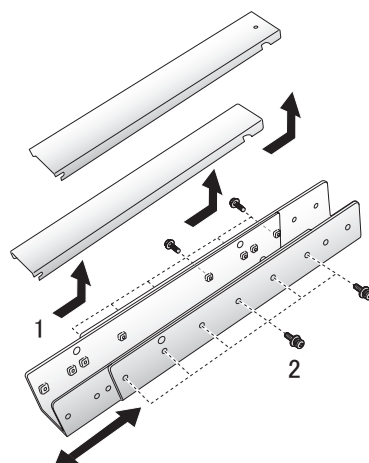


## 高い天井への取り付け

天井が高いときは、別売の延長用パイプ RS-CL08 または RS-CL09 を使用します。

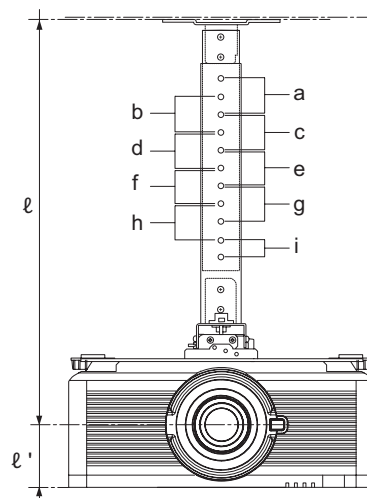
### 準備：

1. 外側パイプと内側パイプのカバーを図のように少しずらし、取り外します。
2. 側面の M5 ねじ 4 本をいったん外し、プロジェクターを取り付ける高さに合わせてから固定し直します。  
2 のねじは、連続した 2 穴ではなく、間を 1 穴空けて固定してください。ただし、最も延長したときは、連続した 2 穴で固定してください。



延長用パイプを取り付けたときの延長量(レンズシフト量が 0% のとき)

取り付け穴の位置	天井からレンズ光軸までの距離 (ℓ)	
	RS-CL08	RS-CL09
a	61.2 cm	81.2 cm
b	66.2 cm	86.2 cm
c	71.2 cm	91.2 cm
d	76.2 cm	96.2 cm
e	81.2 cm	101.2 cm
f	—	106.2 cm
g	—	111.2 cm
h	—	116.2 cm
i	—	121.2 cm

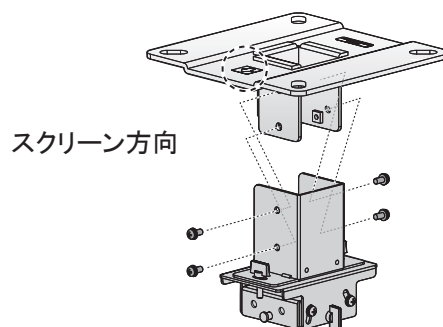


\* 延長用パイプを最長の長さで使用する場合は、連続した 2 穴で固定してください。

$$\ell' = 10.4 \text{ cm}$$

### 準備：

連結金具の M5 ねじ(A) 4 本を外し、天井取り付け金具と連結金具を分離します。



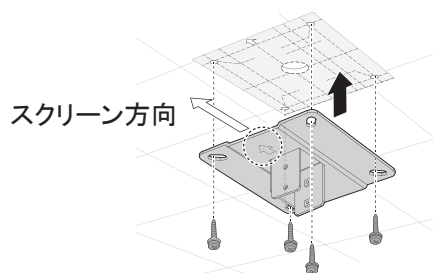


1. 天井取り付け金具の固定用とケーブル類の配線用の穴を開けます。

#### 注意

- ご使用のプロジェクターにより、設置位置が異なります。必ずお使いのプロジェクターにあったテンプレート紙(A)をご使用ください。
- 穴の位置を決めるときは、付属のテンプレート紙(A)をご使用ください。
- テンプレート紙(A) にはスクリーンの方向が記載されています。

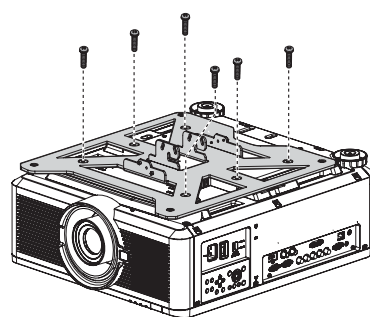
2. 金具の矢印をスクリーンに向け、M13 ねじ 4 本で天井に固定します。
  - 金具の取り付け前にテンプレート紙(A) ははがしてください。
  - M13 ねじは同梱していません。天井の構造に適したねじをご用意ください。



3. プロジェクターの底面を上にし、前面の調整脚 2 本を外します。
4. 本体取り付け金具のねじ取り付け部 6 箇所を付属の M4 ねじで固定します。

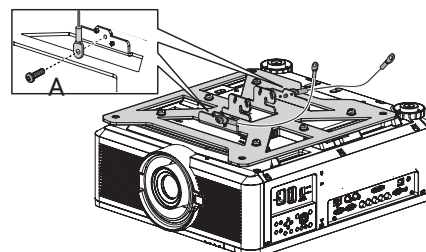
#### 注意

- プロジェクター前面の取り付けは、調整脚を外してご使用ください。
- 取り外した調整脚は、紛失しないよう保管してください。

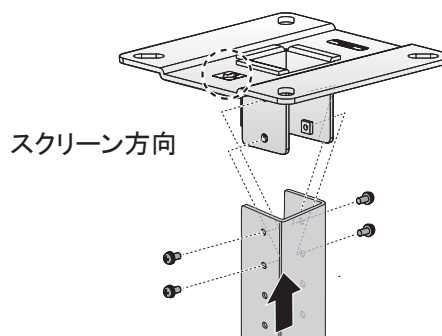
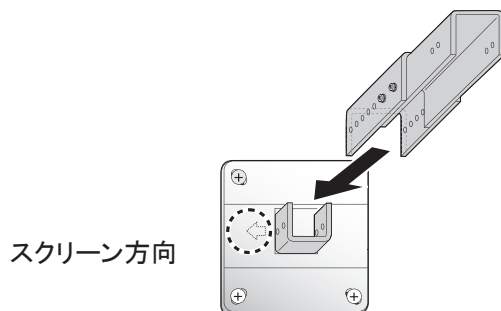


5. ターミナル金具を本体取り付け金具の(A)の位置に付属の M4 ねじで固定します。

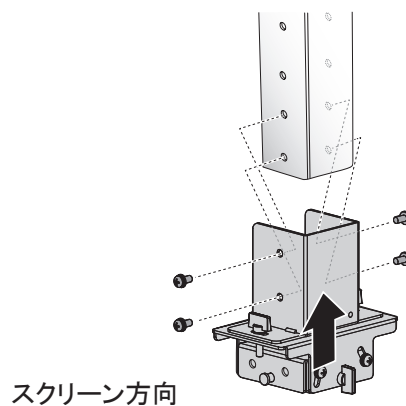
ねじは、緩みのないようにしっかり締め付け固定してください。



6. 延長用パイプに付属の M5 ねじ 4 本で固定します。  
図のようにパイプの開放部は天井取り付け金具の開放部に対して 180 度になる向きで取り付けます。

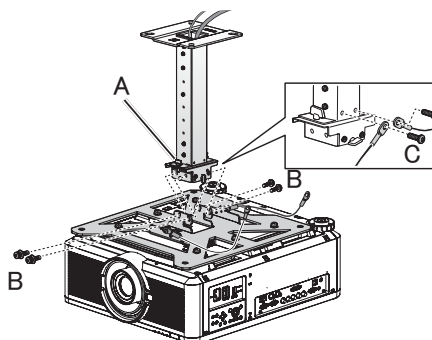


7. 準備のときに天井取り付け金具から外しておいた M5 ねじ (A) 4 本で固定します。

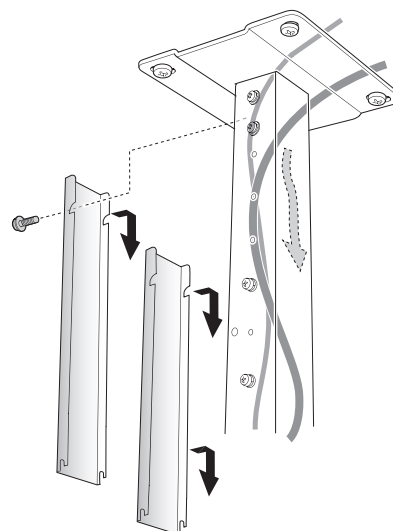


8. 連結金具の突起(A) に引っ掛け、付属の M5 ねじ(B) 4 本で仮止めします。
9. 落下防止ワイヤーのもう一方のターミナル金具を連結金具(C) に留め、連結金具のワイヤー取り付け部に M4 ねじで固定します。

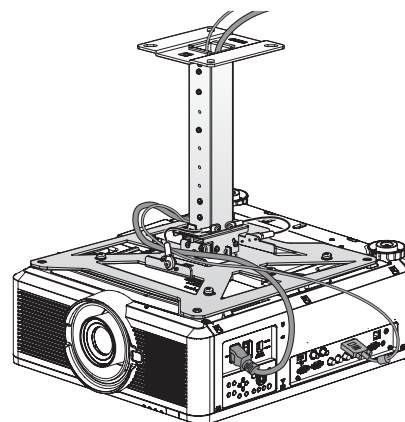
- ケーブル類を引き出してください。
- ねじ(B) は 89 ページの「投写角度の調整」を参照してくださいを参照し、しっかり締めて固定してください。



10. 天井の穴からケーブル類を引き出します。
11. パイプの内側にケーブル類を収納します。
12. パイプのカバーを内側、外側の順で閉め、延長用パイプに付属の M3 ねじ 1 本で固定します。
13. ケーブル類をプロジェクターに接続します。



設置が終わったら、投写角度を調整してください。(P.89)



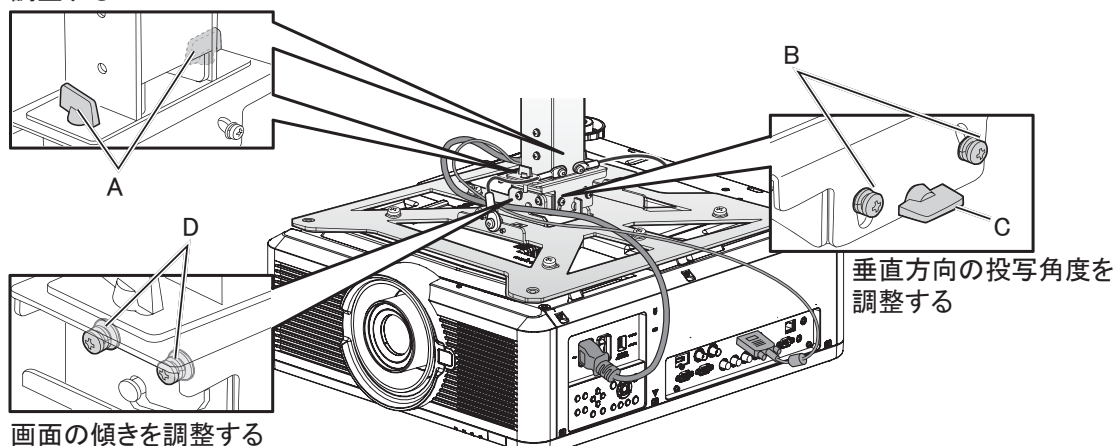
## 投写角度の調整

プロジェクターの電源を入れ、画像を投写して投写角度および画面の傾きを調整してください。

### 注意

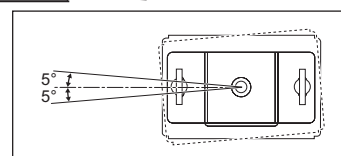
- 調整後はそれぞれのねじをしっかりと締め、各金具が確実に固定されていることを確認してください。
- 各金具を確実に固定するまでは、プロジェクターが落下しないように支えてください。

水平方向の投写角度を  
調整する



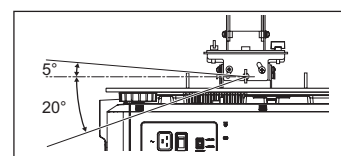
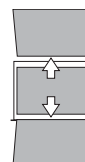
### 水平方向の投写角度(ひずみ)を調整する

1. 蝶ねじ(A) 2本をゆるめ、本体を左右に動かして水平方向の投写角度を調整します。
2. 位置が決まったら、蝶ねじを締めて固定します。



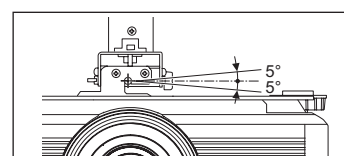
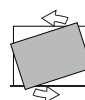
### 垂直方向の投写角度(ひずみ)を調整する

1. ねじ(B) 4本、蝶ねじ(C) 2本の順にゆるめ、本体を上下に動かして垂直方向の投写角度を調整します。
2. 位置が決まったら、蝶ねじ(C)、ねじ(B)の順に締めて固定します。



### 画面の傾きを調整する

1. ねじ(D) 4本をゆるめ、本体の傾きを調整します。
2. 位置が決まったら、ねじ(D)を締めて固定します。



---

## 仕様

### RS-CL15

調整範囲	水平方向の投写角度	左右各 5°
	垂直方向の投写角度	上向き 5° 、下向き 20°
	画面の傾き	± 5 °
組立外形寸法(突起物含まず) (W x D x H)		460 x 490 x 152.6 mm
質量(天吊り金具のみ)		6.9 kg

# 困ったときには

## 映像に関する問題

### 症状：映像が投写されない。

1. コンピューターや AV 機器と正しく接続されているか確認してください。
2. 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
3. 初めにプロジェクターの電源をを切り、次にコンピューターの電源を切ってから再度電源を入れてください。

### 症状：映像が鮮明でない。

1. フォーカスを調整してください。
2. リモコンの【AUTO PC】ボタンを押してください。
3. プロジェクターとスクリーンの距離が指定された範囲内にあることを確認してください。
4. プロジェクターのレンズがきれいか確認してください。

### 症状：映像の上側または下側が広がっている。（キーストーン歪み）

1. プロジェクターを出来る限り水平に設置してください。
2. OSD の [ 調整 ] メニューの [ キーストーン ] の調整を行ってください。

### 症状：映像が反転している。

OSD の [ 調整 ] メニューから [ 投写モード ] 設定を確認してください。

### 症状：映像に縞状の線が入る。

1. OSD の [ 映像調整 ] メニューの [ VGA 設定 ] の調整を行ってください。
2. PC のビデオカードが原因でないことを確認するために、異なるコンピューターに接続してください。

### 症状：映像にメリハリが少なく明暗がない。

OSD の [ 映像調整 ] メニューから [ コントラスト ] 設定を調整してください。

### 症状：投写イメージが元々のイメージと異なっている。

1. OSD の [ 映像調整 ] メニューから [ ガンマ ] 設定を調整してください。
2. OSD の [ 映像調整 ] メニューから [ 色温度 ] 設定を調整してください。

## リモコンに関する問題

### 症状：リモコン操作にプロジェクターが反応しない。

1. プロジェクター本体のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。
2. リモコンとリモコン受光部の間に障害物が無いようにしてください。
3. 室内の蛍光灯を切ってください。
4. 電池の極性を確認してください。
5. 電池を交換してください。
6. 周囲にある赤外線機器を切ってください。
7. リモコンの修理を依頼してください。

---

## 保証とアフターサービス

### ■ この商品には保証書がついています

保証書は、本機に付属しています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることをお確かめの上、内容をお読みいただき、大切に保管してください。

### ■ 修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、裏表紙のキヤノンお客様相談センターにご相談ください。

### ■ 修理を依頼される前に

91 ページの「困ったときには」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

### ■ 修理方法

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先にプロジェクターを引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により代替機の貸出サービスを準備しております。

＜修理料金＞

保証期間内	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

※ 上記、引取サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサービスをご利用いただいた場合に適用されます。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

### ■ 修理を依頼されるときにご連絡いただきたいこと

- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の機種名およびシリアルナンバー
- 故障の内容(できるだけ詳しく)

### ■ 補修用性能部品について

保守サービスの為に必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後 7 年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

# 仕様

## 製品仕様

型名		LX-MU800Z	LX-MU600Z
表示方式		1-CHIP DLP ™	
表示 素 子	形式	DMD	
	サイズ / アスペクト比	0.67”x1 / 16:10	
	駆動方式	DLP ™ x 1 チップ	
	画素数 / 総画素数	2,304,000 (1920 x 1200) x 1 枚 / 2,304,000	
投 写 レ ン ズ (*2)	ズーム比 / 焦点距離 / F 値	1.3 x / f = 26 ～ 34mm / F = 1.64 ～ 1.86	
	ズーム / フォーカス	電動 / 電動	
	レンズシフト	調整範囲(電動) : V (下: 30% ～上: 60%)、H (左: 10% ～右: 20%) 光学性能保証範囲: V (下: 0% ～上: 50%)、H (左: 10% ～右: 10%)	
キーストーン補正		水平: ± 60° (水平レンズシフトが 0% の場合)	
		垂直: ± 40° (で垂直レンズシフトが 50% の場合) (*4)	
光源		レーザーダイオード	
画面サイズ(投写距離)		50 ～ 300 ( 1.83-14.9 m / 6 ～ 49)	
再現色数		10 億 7000 万色	
明るさ(*1) (*2) (*3)		8000 ルーメン	6800 ルーメン
コントラスト比([ ダイナミックブラック ] が [ オン ] に設定されている場合) (*1) (*2)		10500 : 1 (全白: 全黒、ダイナミックブラック ON、プレゼンテーションモード時)	
対応走査周波数		H : 15-108 kHz、V : 24-120 Hz	
最大入力解像度		1920 x 1200 ドット	
映 像 信 号	デジタル PC 入力	WUXGA (RB) / WSXGA+ / UXGA / SXGA+ / WXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA	
	アナログ PC 入力	WUXGA (RB) / WSXGA+ / UXGA / SXGA+ / WXGA+ / WXGA / SXGA / XGA / SVGA / VGA	
	デジタルビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p	
	コンポーネントビデオ入力	1080p / 1080i / 720p / 576p / 480p / 576i / 480i	
	HDBaseT	デジタル PC/ デジタルビデオ	
	3G-SDI	デジタル PC/ デジタルビデオ	

型名		LX-MU800Z	LX-MU600Z
入力端子	HDMI	デジタル PC/ デジタルビデオ	
	DVI-D	デジタル PC/ デジタルビデオ	
	RJ45	HDBaseT/ ネットワーク	
	5BNC	アナログ PC/ コンポーネントビデオ	
	Dsub15	アナログ PC	
	Dsub15 (出力)	アナログ RGB 入力付きディスプレイと接続	
	3G-SDI	シリアルデジタルインターフェイスデバイスと BNC ケーブルで接続	
	3G-SDI (出力)	ディスプレイ直列デジタルインターフェイス入力と接続	
	Dsub9	RS-232 (シリアル接続)	
	ミニピン端子	有線リモコンに接続します	
	ミニピン端子	12 V 出力(スクリーン操作を起動)	
騒音 (ノーマル / エコ)		40dB / 37dB	
使用温度範囲		5 °C ~ 40 °C、相対湿度 10 ~ 85%	
電源		AC 100-130V	
最大消費電力		890W/845W (100V/240V)	725W/695W (100V/240V)
スタンバイ消費電力		ECO: < 0.5W (ただしリモート / パワーボタンの場合のみ) ネットワーキング: < 6W (ただしリモート / パワーボタン / LAN の場合のみ)	
寸法 (W x D x H)		500 x 594 x 216 mm (突起部含む)	
重量 (レンズ含まず)		28 kg	
付属品		リモコン、リモコン用アルカリ電池 (単三形) 2 個、電源ケーブル、コンピューターケーブル、ダストキャップ、レンズ用盗難防止ねじ、重要なお知らせ、使用説明書 (CD-ROM)、かんたんガイド、保証書	

(\*1) 出荷時における本プロジェクター全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2015 データプロジェクターの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書 B に基づいています。

(\*2) LX-IL03ST (標準ズームレンズ) を使用する場合。

(\*3) 高温環境で使用する場合は、自動で明るさを制御する機能があります。

(\*4) LX-IL01UW/LX-IL07WF 装着時は ± 33° となります。

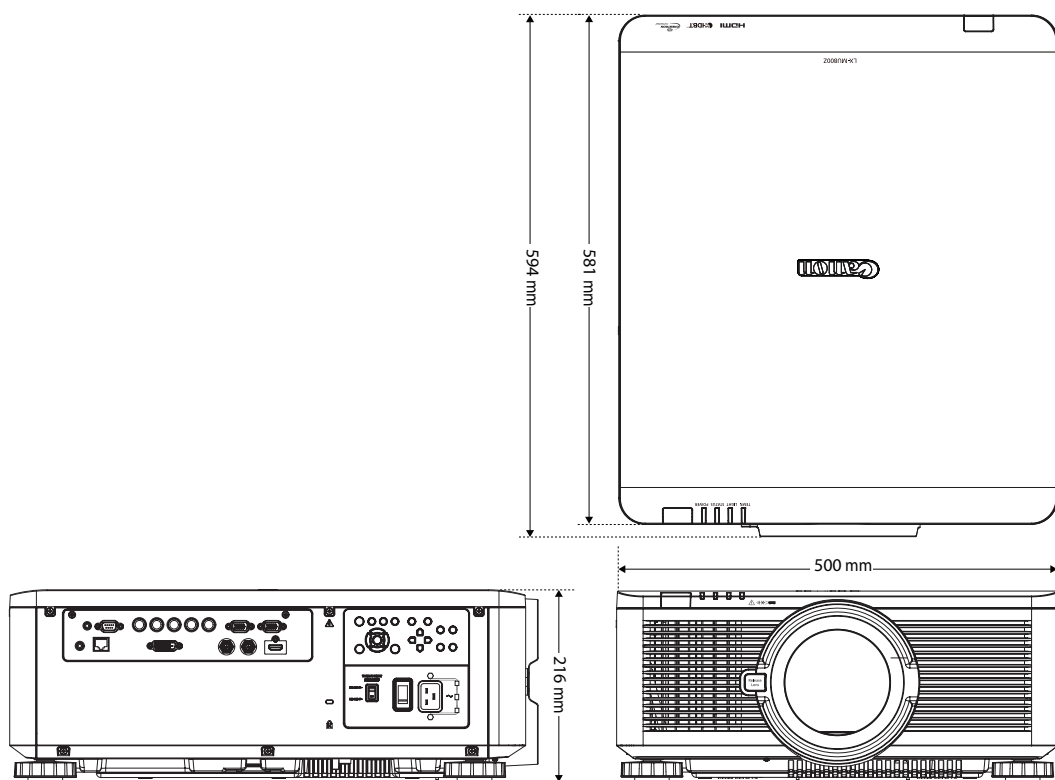
※ 本機は JIS C 61000-3-2 適合品です。

※ 製品の仕様及び外観の一部を予告なく変更することがあります。

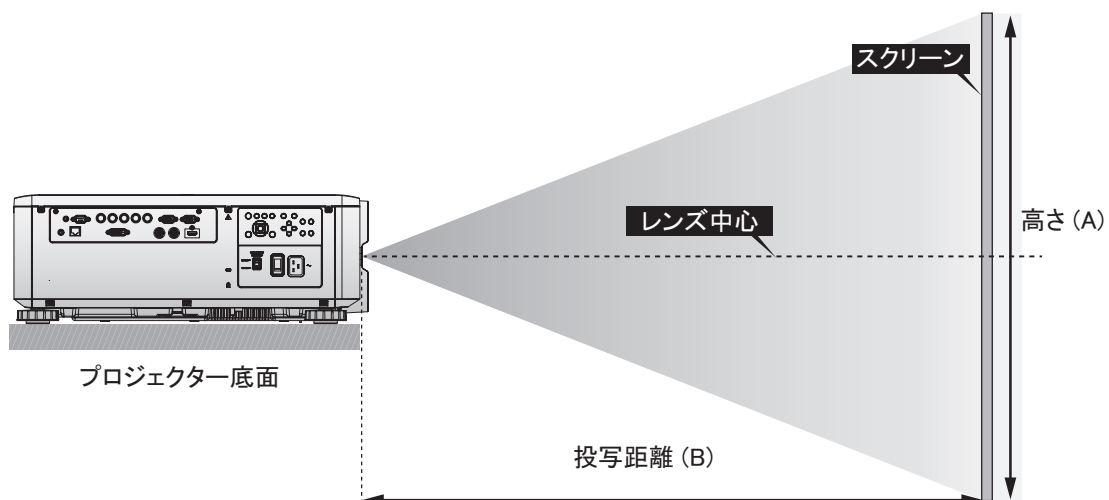


## 寸法図

LX-MU800Z/LX-MU600Z



## 画像サイズと投影距離の関係



レンズ型名						LX-IL01UW				LX-IL02WZ			
レンズタイプ						超短焦点ズームレンズ				短焦点ズームレンズ			
投写比						0.75 ～ 0.93 : 1				1.25 ～ 1.79 : 1			
投写画面の大きさ						投写距離 (B)							
対角		幅		高さ (A)		Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	24.5	0.62	31.1	0.79	41.4	1.05	59.9	1.52
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.1	0.79	39.2	1.00	52.3	1.33	75.4	1.92
60	1.52	51	1.29	32	0.81	37.6	0.96	47.4	1.20	63.1	1.60	90.9	2.31
80	2.03	68	1.72	42	1.08	50.8	1.29	63.8	1.62	84.9	2.16	121.8	3.09
100	2.54	85	2.15	53	1.35	63.9	1.62	80.2	2.04	106.6	2.71	152.7	3.88
120	3.05	102	2.58	64	1.62	77.1	1.96	96.6	2.45	128.4	3.26	183.6	4.66
150	3.81	127	3.23	79	2.02	96.8	2.46	121.1	3.08	161.0	4.09	230.0	5.84
180	4.57	153	3.88	95	2.42	116.5	2.96	145.7	3.70	193.6	4.92	276.4	7.02
200	5.08	170	4.31	106	2.69	129.7	3.29	162.1	4.12	215.3	5.47	307.3	7.81
300	7.62	254	6.46	159	4.04	195.4	4.96	244.0	6.20	324.0	8.23	461.9	11.73
400	10.16	339	8.62	212	5.38	261.2	6.63	325.9	8.28	432.7	10.99	616.6	15.66
500	12.70	424	10.77	265	6.73	326.9	8.30	407.7	10.36	541.5	13.75	771.2	19.59

\* 表は投写可能範囲を示していますが、光学性能保証範囲は 50 ~ 300 インチです。

レンズ型名						LX-IL03ST				LX-IL04MZ			
レンズタイプ						標準ズームレンズ				中焦点ズームレンズ			
投写比						1.73 ~ 2.27 : 1				2.22 ~ 3.67 : 1			
投写画面の大きさ						投写距離 (B)							
対角		幅		高さ (A)		Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	57.2	1.45	75.8	1.93	73.6	1.87	124.1	3.15
50	1.27	42	1.08	26	0.67	72.1	1.83	95.5	2.42	92.9	2.36	155.9	3.96
60	1.52	51	1.29	32	0.81	87.1	2.21	115.1	2.92	112.1	2.85	187.8	4.77
80	2.03	68	1.72	42	1.08	117.0	2.97	154.3	3.92	150.5	3.82	251.4	6.39
100	2.54	85	2.15	53	1.35	147.0	3.73	193.5	4.92	188.9	4.80	315.0	8.00
120	3.05	102	2.58	64	1.62	176.9	4.49	232.8	5.91	227.6	5.78	378.6	9.62
150	3.81	127	3.23	79	2.02	221.8	5.63	291.6	7.41	285.0	7.24	474.1	12.04
180	4.57	153	3.88	95	2.42	266.7	6.77	350.5	8.90	342.6	8.70	569.5	14.47
200	5.08	170	4.31	106	2.69	296.6	7.53	389.7	9.90	381.0	9.68	633.1	16.08
300	7.62	254	6.46	159	4.04	446.3	11.34	585.9	14.90	573.2	14.56	951.2	24.16
400	10.16	339	8.62	212	5.38	595.9	15.14	782.3	19.87	765.3	19.44	1269.7	32.25
500	12.70	424	10.77	265	6.73	745.6	18.94	978.3	24.85	957.4	24.32	1587.8	40.33

レンズ型名						LX-IL05LZ				LX-IL06UL			
レンズタイプ						長焦点ズームレンズ				超長焦点ズームレンズ			
投写比						3.58 ~ 5.38 : 1				5.31 ~ 8.26 : 1			
投写画面の大きさ						投写距離 (B)							
対角		幅		高さ (A)		Wide		Tele		Wide		Tele	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	118.7	3.01	181.0	4.60	173.9	4.42	277.7	7.05
50	1.27	42	1.08	26	0.67	149.7	3.80	227.6	5.78	220.2	5.59	350.0	8.89
60	1.52	51	1.29	32	0.81	180.7	4.59	274.1	6.96	266.6	6.77	422.3	10.73
80	2.03	68	1.72	42	1.08	242.7	6.16	367.3	9.33	359.4	9.13	567.0	14.40
100	2.54	85	2.15	53	1.35	304.3	7.73	460.4	11.70	452.1	11.48	711.6	18.07
120	3.05	102	2.58	64	1.62	366.7	9.31	553.6	14.06	544.9	13.84	856.2	21.75
150	3.81	127	3.23	79	2.02	459.4	11.67	693.3	17.61	684.0	17.37	1073.1	27.26
180	4.57	153	3.88	95	2.42	552.4	14.03	833.0	21.16	823.1	20.91	1290.1	32.77
200	5.08	170	4.31	106	2.69	614.7	15.60	926.4	23.53	915.9	23.26	1434.7	36.44
300	7.62	254	6.46	159	4.04	924.0	23.47	1392.1	35.36	1379.6	35.04	2157.8	54.81
400	10.16	339	8.62	212	5.38	1233.9	31.34	1857.9	47.19	1843.3	46.82	2880.9	73.18
500	12.70	424	10.77	265	6.73	1543.7	39.21	2323.6	59.02	2307.1	58.60	3604.0	91.54

\* 表は投写可能範囲を示していますが、光学性能保証範囲は 50 ~ 300 インチです。

レンズ型名						LX-IL07WF	
レンズタイプ						短焦点固定レンズ	
投写比						0.76 : 1	
投写画面の大きさ						投写距離 (B)	
対角		幅		高さ (A)		N/A	
(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)	(インチ)	(m)
40	1.02	34	0.86	21	0.54	25.1	0.64
50	1.27	42	1.08	26	0.67	31.8	0.81
60	1.52	51	1.29	32	0.81	38.5	0.98
80	2.03	68	1.72	42	1.08	52.0	1.32
100	2.54	85	2.15	53	1.35	65.5	1.66
120	3.05	102	2.58	64	1.62	78.9	2.01
150	3.81	127	3.23	79	2.02	99.1	2.52
180	4.57	153	3.88	95	2.42	119.3	3.03
200	5.08	170	4.31	106	2.69	132.8	3.37
300	7.62	254	6.46	159	4.04	200.1	5.08
400	10.16	339	8.62	212	5.38	267.4	6.79
500	12.70	424	10.77	265	6.73	334.8	8.50

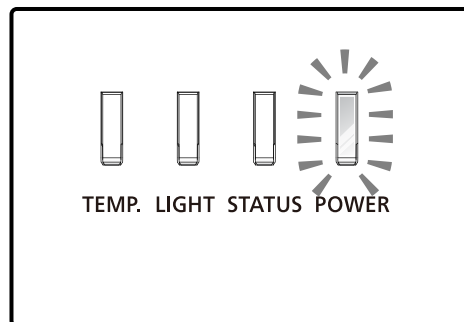
\* 表は投写可能範囲を示していますが、光学性能保証範囲は 50 ～ 300 インチです。

## レンズシリーズ

型番	レンズ名称	F ナンバー	焦点距離	ズーム比	スクリーン サイズ	投写距離
LX-IL01UW	超短焦点ズームレンズ	1.96-2.3	11.3-14.1mm	1.25:1	40"~500"	0.75-0.93:1
LX-IL02WZ	短焦点ズームレンズ	1.85-2.5	18.7-26.5mm	1.41:1	40"~500"	1.25-1.79:1
LX-IL03ST	標準ズームレンズ	1.7-1.9	26-34mm	1.3:1	40"~500"	1.73-2.27:1
LX-IL04MZ	中焦点ズームレンズ	1.86-2.48	32.9-54.2mm	1.65:1	40"~500"	2.22-3.67:1
LX-IL05LZ	長焦点ズームレンズ	1.85-2.41	52.8-79.1mm	1.5:1	40"~500"	3.58-5.38:1
LX-IL06UL	超長焦点ズームレンズ	1.85-2.48	78.5-121.9mm	1.55:1	40"~500"	5.31-8.26:1
LX-IL07WF	短焦点固定レンズ	1.85	11.6mm	—	40"~500"	0.76:1

\* 表は投写可能範囲を示していますが、光学性能保証範囲は 50 ～ 300 インチです。

## LED インジケータの表示について



### POWER インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況
オフ		電源オフ。
点滅	緑	電源を入れています。
	オレンジ	プロジェクター冷却中です。
オン	赤	スタンバイモード。
	緑	プロジェクターがオンになっています。

### STATUS インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況
オフ		問題なし。
点滅	赤(サイクル 1)	カバーおよびレンズスイッチに関する問題。
	赤(サイクル 4)	ファンの異常。
オン	赤	システムエラー。

### LIGHT インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況
オフ		レーザーがオフのまま。
点滅	緑	レーザーを光らせるための準備。
	赤(サイクル 6)	レーザーの点灯がうまくいかない。
オン	緑	レーザーの点灯。

### TEMP インジケータ

LED 表示		プロジェクターの状況
オフ		問題なし。
点滅	赤	温度の異常。

## 対応入力信号

### コンピューター

信号種類	解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	クロック (MHz)	BNC - RGBHV	BNC - YUV	HD15 - RGBHV	HD15 - YUV	DVI-D (EIA タイミング)	HDMI RGB (EIA タイミング)	HDMI YUV (EIA タイミング)	HDBaseT
PC	640*480-60	31.47	59.93	25.175	○	-	○	-	○	○	-	○
	640*480-75	37.5	75	31.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	640*480-85	43.27	85.01	36	○	-	○	-	○	○	-	○
	800*600-60	37.88	60.32	40	○	-	○	-	○	○	-	○
	800*600-75	46.88	75	49.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	800*600-85	53.67	85.06	56.25	○	-	○	-	○	○	-	○
	848*480-60	31.02	60	33.75	○	-	○	-	○	○	-	○
	1024*768-60	48.36	60	65	○	-	○	-	○	○	-	○
	1024*768-75	60.02	75.03	78.75	○	-	○	-	○	○	-	○
	1024*768-85	68.88	85.03	94.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*720-60	44.69	59.91	74.37	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*768-60	47.8	59.87	79.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*800-60	49.702	59.81	83.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*960-60	60	60	108	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*1024-60	63.98	60.02	108	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*1024-75	79.98	75.02	135	○	-	○	-	○	○	-	○
	1280*1024-85	91.15	85.02	157.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1366*768-60	47.71	59.79	85.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1440*900-60	55.935	59.887	106.5	○	-	○	-	○	○	-	○
	1400X1050-60	65.517	59.98	121.75	○	-	○	-	○	○	-	○
	1600*1200-60	75	60	162	○	-	○	-	○	○	-	○
SDTV	1440x1050-59.94	65.179	59.94	146	○	-	○	-	○	○	-	○
	1920*1200RB-60	74.04	59.95	154	○	-	○	-	○	○	-	○
	1440x480i	15.73	60	27	-	-	-	-	-	○	○	○ (HDMI)
	1440x576i	15.62	50	27	-	-	-	-	-	○	○	○ (HDMI)
EDTV	480i	15.734	59.94	13.5	-	○	-	○	-	-	-	-
	576i	15.625	50	13.5	-	○	-	○	-	-	-	-
	480p	31.47	59.94	27	○	○	○	○	○	○	○	○
	576p	31.25	50	27	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080i	28.13	50	74.25	-	○	-	○	○	○	○	○
	1080i	33.75	60	74.25	-	○	-	○	○	○	○	○
	720p	37.5	50	74.25	○	○	○	○	○	○	○	○
	720p	45	60	74.25	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	27	24	74.25	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	28.13	25	74.25	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	33.72	29.97	74.175	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	33.75	30	74.25	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	56.25	50	148.5	○	○	○	○	○	○	○	○
	1080p	67.5	60	148.5	○	○	○	○	○	○	○	○

### 3D 信号入力モード

タイミング方式	水平周波数	垂直周波数	画素	H	H	H	H	H	V	V	V	V	V	注
	(KHz)	(Hz)	クロック (MHz)	合計画素	表示画素	フロントポーチ	シンク	バックポーチ	トータルライン	ディスプレイライン	フロントポーチ	シンク	バックポーチ	オート
720p_50	37.5	50	74.25	1980	1280	440	40	220	750	720	5	5	20	OK
720p_60	45	60	74.25	1650	1280	110	40	220	750	720	5	5	20	OK
1080i_50	28.125	25	74.25	2640	1920	528	44	148	562	540	2	5	15	OK
1080i_60	33.75	30	74.25	2200	1920	88	44	148	562	540	2	5	15	OK
1080p_24	27	24	74.25	2750	1920	638	44	148	1125	1080	4	5	36	OK
1080p_50	56.25	50	148.5	2640	1920	528	44	148	1125	1080	4	5	36	OK
1080p_60	67.5	60	148.5	2200	1920	88	44	148	1125	1080	4	5	36	OK

\* 以下のタイミング形式は、HDMI あるいは HDBaseT ソースからの InfoFrame パケット (HDMI 1.4a 規格に基づく) を運ぶ 3D 形式を必要とします。

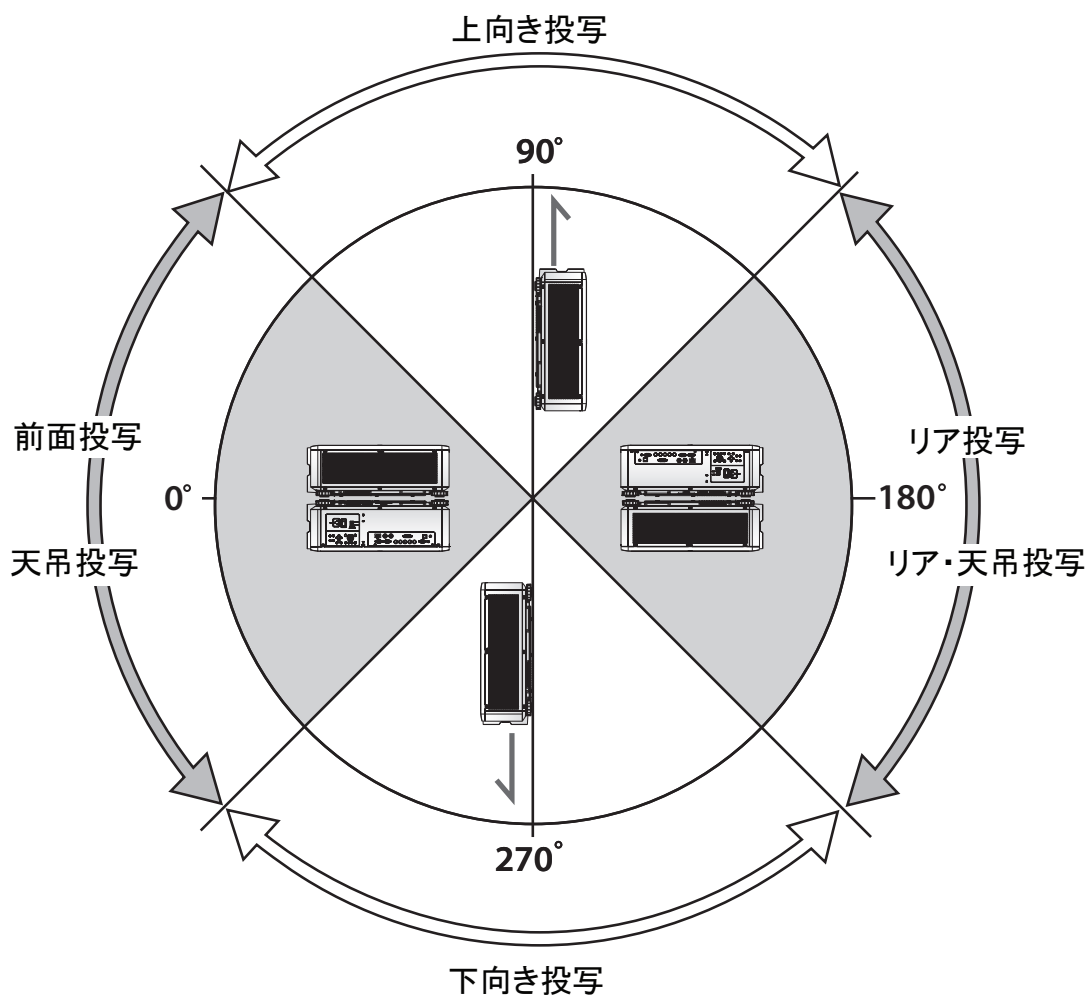
タイミング方式 3D	形式サポート		
	FP	SBS	TAB
720p_50	✓	✓	✓
720p_60	✓	✓	✓
1080i_50		✓	
1080i_60		✓	
1080p_24	✓	✓	✓
1080p_50		✓	✓
1080p_60		✓	✓

### 3G-SDI

タイミング	SDI リンクモード	信号規格	色のエンコード	サンプリング構造	ビット深度	注記
NTSC	SD	SMPTE 259M-C 270Mbps SD	YCbCr	4:2:2	10	128M
PAL	SD	SMPTE 259M-C 270Mbps SD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1035i60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080i59	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080i60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P30	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P25	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080i50	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P24	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
720P60	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
720P50	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080Sf25	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080Sf30	HD	SMPTE 292M 1.5Gbps HD	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P50	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P59	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P60	3G Level A	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P50	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P59	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M
1080P60	3G Level B	SMPTE 424M 3Gbps	YCbCr	4:2:2	10	128M

## 投写モードの説明

1. 下図を参照にして、[調整]メニューから[投写モード]を選択してください。**前面投写**、**リア投写**、**天吊投写**、**リア・天吊投写**が選択できます。
2. プロジェクターに $\pm 15^\circ$  を超える傾斜で設置されている場合は、[レーザー]メニューから**高地**機能をオンにしてください。この機能では高地環境用にファンの回転スピードを高くします。



### 注意

- 以下の場合、プロジェクターの光学部品の劣化を早めることがあります。
  - プロジェクターの投写レンズを下向きに設置されている場合。
  - プロジェクター側面の吸気口がポートレート投写で下側向きの場合。



# 付録

## Canon LX-MU800Z / LX-MU600Z プロトコルコマンド

### インターフェイスおよび要件 (Ver 1.0)

#### シリアル (RS-232) インターフェイス

RS-232 コマンドでは、Windows HyperTerminal などの一般的なターミナルで入力される ASCII 表記のみを使用することができます。

使用することができる設定は次の通りです。

ビット / 秒: 9600 bps

データビット: 8

パリティ: なし

ストップビット: 1

フローコントロール: なし

各キャラクターは MCU によってターミナル上で繰り返されるため、ターミナル設定でローカルエコーを「オン」にする必要はありません。

#### TCP/IP インターフェイス

オペレーションコマンドは、Telnet プロトコルを通じて利用可能です。設定については 69 ページを参照してください。

#### HDBaseT によるシリアルおよび TCP/IP インターフェイス

1 秒あたりのシリアルビットは、HDBaseT により 9600 に固定されています。その他の設定は上記と同じです。

#### システムオペレーションコマンド

この操作コマンドはプロジェクターに動作指示を出します。全てのコマンドは 2 文字で始まります。「OP」の後にスペース [SP] を入力し、その後に操作コマンドと希望する数値を入力します。全てのコマンドは、以下にて [CR] と表記されているキャリッジリターン (ASCII hex 0D) で終了する必要があります。操作コマンドのシンタックスは以下の通りです。

op[SP]< 操作コマンド >[SP]< 設定数値 >[CR]

Execute ファンクションを除き、プロジェクターからのレスポンスはコマンド + 「=<value>」となり、<value> は現在の数値、または該当が無い場合には「NA」(-) となります。Execute ファンクションの場合には、レスポンスは同じコマンドです。全てのレスポンスは CAPS で送信されます。コマンド一覧と使用例は以下の表を参照してください。

#### システムオペレーションコマンド

操作	操作	数値
Set	= <value>	数値を適用します。
Get	?	現在の数値を問合せます。
Increment	+	現在の数値に 1 を追加します。
Decrement	-	現在の数値から 1 を減らします。
Execute	(none)	リセットなどの動作を実行します。

#### Get オペレーションコマンドの例

Input: op bright ? [CR]

System response: OP BRIGHT = 100

#### Increase & Decrease オペレーションコマンドの例

Input: op bright + [CR]

System response: OP BRIGHT = 101

Input: op bright - [CR]

System response: OP BRIGHT = 126

## Set オペレーションコマンドの例

Input: op bright = 127 [CR]

System response: OP BRIGHT = 127

## Execute コマンドの例

Input: op auto.img [CR]

System response: OP AUTO.IMG

LX-MU800Z/LX-MU600Z 有効な操作コマンドは以下の表の通りです。

### 1. 入力

項目	操作	コマンド	数値	注
1-1	Input.sel	= ?	0 = HDMI 1 = DVI-D 2 = Computer-1 3 = Computer-2 / BNC 5 = HDBaseT 6 = 3G-SDI	注 1 (no item4 because no DP source)
1-2	pattern	= ?	0 =Off 1 = White 2 = Black 3 = Red 4 = Green 5 = Blue 6 = Checkboard 7 = Cross Hatch 8 = V Burst 9 = H Burst 10 = Color Bar	注 1
1-3	color.space	= ?	0 = Auto 1 = RE709 2 = RE601 3 = RGB PC 4 = RGB Video	注 2
1-4	no.signal	= ?	0 = Logo 1 = Black 2 = Blue 3 = White	注 1
1-5	auto.img (Auto PC)	(execute)		注 2

### 2. ピクチャー

項目	操作	コマンド	数値	注
2-1	pic.mode	= ?	0 = Presentation 1 = Standard 2 = Video	注 2
2-2	contrast	= ? + -	0 - 200	注 2
2-3	bright	= ? + -	0 - 200	注 2
2-4	saturat	= ? + -	0 - 200	注 2、注 3
2-5	tint	= ? + -	0 - 200	注 2、注 3

項目	操作	コマンド	数値	注
2-6	gamma	= ?	0 = 1.0 1 = 1.8 2 = 2.0 3 = 2.2 4 = 2.35 5 = 2.5	注 2
2-7-1	hsg.r.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-2	hsg.g.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-3	hsg.b.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-4	hsg.c.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-5	hsg.m.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-6	hsg.y.hue	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-7	hsg.r.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-8	hsg.g.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-9	hsg.b.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-10	hsg.c.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-11	hsg.m.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-12	hsg.y.sat	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-13	hsg.r.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-14	hsg.g.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-15	hsg.b.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-16	hsg.c.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-17	hsg.m.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-18	hsg.y.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-19	hsg.wr.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-20	hsg.wg.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-7-21	hsg.wb.gain	= ? + -	0 - 200	注 2
2-8	color.temp	= ?	0 = 5400K 1 = 6500K 2 = 7500K 3 = 8200K 4 = 9300K 5 = Native	注 2
2-9-1	red.offset	= ? + -	0 - 200	注 2
2-9-2	green.offset	= ? + -	0 - 200	注 2
2-9-3	blue.offset	= ? + -	0 - 200	注 2
2-9-4	red.gain	= ? + -	20 - 200	注 2
2-9-5	green.gain	= ? + -	20 - 200	注 2
2-9-6	blue.gain	= ? + -	20 - 200	注 2
2-10	sharp	= ? + -	0 - 15	注 2
2-11	nr	= ? + -	0 - 3 (Noise Reduction)	注 2
2-12-1	v.pos	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4
2-12-2	h.pos	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4
2-12-3	h.phase	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4
2-12-4	h.total	= ? + -	0 - 200	注 2、注 4

### 3. LASER

項目	操作	コマンド	数値	注
3-1	laser.mode	= ?	0 = Eco 1 = Normal 2 = Custom	注 1
3-2	laser.cust.pow	= ?	20 - 100	注 1
3-3	altitude (High Altitude)	= ?	2 = High 3 = Auto	注 1
3-4	laser.hours	?	<string>	

### 4. アラインメント

項目	操作	コマンド	数値	注
4-1	proj.mode	= ?	0 = Front Table 1 = Front Ceiling 2 = Rear Table 3 = Rear Ceiling	注 1
4-2-1	zoomio	+ -	+ => Zoom out - => Zoom in	注 1
4-2-2	focus	+ -	+ => Focus Near - => Focus Far	注 1
4-2-3	vert.offset	+ -	+ => Up - => Down	注 1
4-2-4	horiz.offset	+ -	+ => Right - => Left	注 1
4-3-1	lens.load	=	0-7 set of lens memory (Load)	注 1
4-3-2	lens.save	=	0-7 set of lens memory (Save)	注 1
4-3-3	lens.clear	=	0-7 set of lens memory (Clear)	注 1
4-4	lens.center	(execute)	Mid-position shift	注 1
4-5-1	aspect.ratio	= ?	0 = 5:4 1 = 4:3 2 = 16:10 3 = 16:9 4 = 1.88 5 = 2.35 6 = Letterbox 7 = Auto 8 = True Size	注 1
4-5-2	zoom (Overscan)	= ?	0 = Off 1 = Crop 2 = Zoom	注 2
4-5-3-1	h.keystone	= ?	-600 - 600	注 1
4-5-3-2	v.keystone	= ?	-400 - 400	注 1
4-5-4	rotation	= ?	-100 - 100	注 1
4-5-5-1	h.pin.barrel	= ?	-150 - 300	注 1
4-5-5-2	v.pin.barrel	= ?	-150 - 300	注 1
4-5-6-1	4corner.ulx	= ?	-192 - 192	注 1
4-5-6-2	4corner.uly	= ?	-120 - 120	注 1
4-5-6-3	4corner.urx	= ?	-192 - 192	注 1
4-5-6-4	4corner.ury	= ?	-120 - 120	注 1

項目	操作	コマンド	数値	注
4-5-6-5	4corner.llx	= ?	-192 - 192	注 1
4-5-6-6	4corner.lly	= ?	-120 - 120	注 1
4-5-6-7	4corner.lrx	= ?	-192 - 192	注 1
4-5-6-8	4corner.lry	= ?	-120 - 120	注 1
4-5-7	warp.reset	(execute)		注 1
4-5-8-1	blanking.top	= ?	0 - 360	注 1
4-5-8-2	blanking.bottom	= ?	0 - 360	注 1
4-5-8-3	blanking.left	= ?	0 - 534	注 1
4-5-8-4	blanking.right	= ?	0 - 534	注 1
4-5-8-4	blanking.reset	(execute)		注 1
4-6-1	eb.stat	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
4-6-2	eb.adl	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
4-6-3-1	eb.top	= ?	0, 100 - 500	注 1
4-6-3-2	eb.bottom	= ?	0, 100 - 500	注 1
4-6-3-3	eb.left	= ?	0, 100 - 800	注 1
4-6-3-4	eb.right	= ?	0, 100 - 800	注 1
4-6-4-1	eb.blu.top	= ?	0 - 32	注 1
4-6-4-2	eb.blu.bottom	= ?	0 - 32	注 1
4-6-4-3	eb.blu.left	= ?	0 - 32	注 1
4-6-4-4	eb.blu.right	= ?	0 - 32	注 1
4-6-4-4	eb.all	+ -	0 - 32	注 1
4-6-4-4	eb.red	= ?	0 - 255	注 1
4-6-4-4	eb.green	= ?	0 - 255	注 1
4-6-4-4	eb.blue	= ?	0 - 255	注 1
4-6-5	eb.reset	(execute)		注 1

## 5. コントロール

項目	操作	コマンド	数値	注
5-1-1	net.mode	= ?	0 = Projector Control 1 = Service	注 1
5-1-2	net.power	= ?	0 = Off (< 0.5W) 1 = On (< 6W)	
5-1-3	net.mac	= ?	<string>	注 1
5-1-4	net.ipaddr	= ?	<string>	注 1
5-1-5	net.subnet	= ?	<string>	注 1
5-1-6	net.gateway	= ?	<string>	注 1
5-1-7	net.dhcp	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-1-8	net.dns	= ?	<string>	注 1
5-2	auto.powoff	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-3	auto.powon	= ?	0 = Off 1 = On	注 1

項目	操作	コマンド	数値	注
5-4	startup.logo	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-5	trig.1	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-6	auto.src	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-7	dblack	= ?	0 = Off 1 = On	注 1
5-8	lang	= ?	0 = English 1 = French 2 = Spanish 3 = German 4 = Portuguese 5 = Dutch 6 = Italian 7 = Russian 8 = Chinese Simplified 9 = Chinese Traditional 10 = Korean 11 = Japanese	注 1
5-9	remote.set	= ?	Set/Get ID SET number of IR remote 0 = Off 1 ~ 99 = Set ID	注 1

## 6. サービス

項目	操作	コマンド	数値	注
6-1	model	?	<string>	注 1
6-2	ser.no	?	<string>	注 1
6-3	sw.ver	?	<string>	注 1
6-4	signal	?	<string>	注 2
6-5	pixel.clock	?	<string>	注 2
6-6-1	h.refresh	?	<string>	注 2
6-6-2	v.refresh	?	<string>	注 2
6-7	laser.hours	?	<string>	注 1
6-8	fact.reset	(execute)		注 1

## 7. サービス

項目	操作	コマンド	数値	注
7-1	power.on	(execute)		
7-2	power.off	(execute)		
7-3	status	?	1 = warm up 2 = imaging 3 = cooling 4 = error	

注 1 : スタンバイモードでは適用無し。

注 2 : スタンバイモードまたは入力信号が無い場合には適用無し。

注 3 : YUV がソースの場合にのみ適用。

注 4 : ソースが Computer-1 および Computer-2/BNC の場合のみ適用。

●長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

（熱、湿気、ホコリなどの影響や使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には、安全性を損なって事故につながることもあります。）

このような  
症状は  
ありませんか

- 電源スイッチを入れても映像が出ない。
- 映像が時々消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像が消えない。
- 内部に水や異物が入った。
- その他異常や故障がある。



ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

お客様メモ

品 番

お買い上げ年月日

年 月 日

お買い上げ店名



**Canon**

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90071

〔受付時間〕〈平日〉9:00～17:00

（土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は、043-211-9348をご利用ください。

※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。